

地域自治システム評価アンケート調査

報 告 書 (全 体 版)

地域自治システム評価アンケート調査報告書（全体版）

目 次

1. 目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査方法と回収結果.....	2
4. 集計方法.....	3
5. 調査地区区分図.....	3
6. 市全体の集計結果.....	4
7. クロス集計.....	12
7-1. 目的.....	12
7-2. 方法.....	12
7-3. 居住地域によるクロス集計結果.....	13
7-4. 年齢によるクロス集計結果.....	49
7-5. 居住年数によるクロス集計結果.....	72
7-6. 地域会議、わくわく事業及び地域予算提案事業の認知度によるクロス集計結果.....	73

1. 目的

豊田市では、都市内分権を実現するため、地域自治条例（平成17年に制定）に基づき、各地域に「地域会議」を設置するとともに、一連の仕組みとして地域自治システムを構築している。地域自治システムは、「わくわく事業」と「地域予算提案事業」の2つの施策からなり、「わくわく事業」は地縁組織や市民活動団体などが、住みやすい地域づくりに向けて主体的に取り組む事業に対し補助金を交付する補助制度であり、「地域予算提案事業」は地域で共通認識された課題解決策を市の施策に反映させ効果的に地域課題を解消するための仕組みである。

本調査は、市民の地域自治システムに対する評価とこれからの地域づくりに対するニーズや意識を統計的に把握し、地域自治システムの改善と地域づくりの推進にあたっての基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査項目

調査項目	目的
(1)個人属性	回答者の属性を把握する
問1 性別	性別などの個人属性を把握する
問2 年齢	
問3 居住自治区	
問4 居住年数	
(2)地域のまちづくり全般について	地域のまちづくりに対する市民の考えを把握する
問5 10年後にどのようなまちになればよいと思うか	まちの姿に関するニーズを把握する
問6 地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無	地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無を把握する
問7 地域での暮らしの満足度	地域での暮らしの満足度を把握する
問8 住民参加型でのまちづくりを進められていると思うか	住民参加型でのまちづくりの推進について考えを把握する
問9 地域の課題や問題点	地域の課題や問題点を把握する
問10 地域の具体的な課題や問題点	
(3)地域会議について	地域会議に対する市民の考えを把握する
問11 「地域会議」の認知度	地域会議の認知度を把握する
問12 「地域会議」が地域のまちづくりについての意見を集約できていると思うか	地域会議が意見の集約ができているかを把握する
問13 地域会議の意見が市の事業に反映されていると思うか	地域会議の意見が市の事業に反映されているかを把握する
(4)わくわく事業について	わくわく事業に対する市民の考えを把握する
問14 「わくわく事業」の認知度	わくわく事業の認知度を把握する
問15 「わくわく事業」への参加意向	わくわく事業への参加の意向を把握する
問16 「地域のわくわく事業」の活動の認知度	各地域で行っている活動の認知度を把握する
問17 「地域のわくわく事業」の活動が地域のためになっていると思うか	各地域で行っている活動が地域のためになっているかを把握する
(5)地域予算提案事業について	地域予算提案事業に対する市民の考えを把握する
問18① 「地域予算提案事業」の活動の認知度	「地域予算提案事業」の認知度を把握する
問18② 「地域予算提案事業」の活動が地域のためになっていると思うか	地域予算提案事業の活動が地域のためになっているかを把握する
問19 「地域予算提案事業」が地域の課題解決に効果的・効率的と思うか	地域予算提案事業が課題解決に効果的・効率的と思うかを把握する

3. 調査方法と回収結果

(1)調査対象

平成 26 年 9 月末時点における豊田市在住 3 か月以上の満 20 歳以上の約 6,500 人を対象とする。

(2)抽出方法

豊田市の住民基本台帳を基に 6,000 人を無作為抽出した後、各地区の分析を行う際の統計的な精度を高めるため、市内 27 中学校区単位でみた抽出数が 150 人に満たなかった 10 地域（石野、猿投、松平、藤岡、藤岡南、小原、足助、下山、旭、稲武）について、各地域 150 人になるように合計 540 人を追加抽出した。

(3)調査方法

調査票を郵送にて配布・回収した。また、調査期間中に 1 回、お礼状と併せて未提出の方に対して調査票の回答を促す依頼はがきを郵送した。

(4)調査期間

平成 26 年 11 月 27 日～平成 27 年 1 月 7 日

(5)回収結果

有効配布数*	有効回答数	有効回答率
6,521	3,542	54.3%

※配布した 6,540 通から住所不定等で返信された 19 通を除く

地域別の回収結果

地域名		有効配布数	有効回答数	有効回答率
拳母	逢妻	390	192	49.2%
	朝日丘	402	187	46.5%
	梅坪台	360	168	46.7%
	崇化館	367	183	49.9%
	豊南	375	176	46.9%
高橋	高橋	274	150	54.7%
	益富	218	126	57.8%
	美里	301	150	49.8%
上郷	上郷	246	145	58.9%
	末野原	410	201	49.0%
高岡	前林	327	176	53.8%
	竜神	374	187	50.0%
	若園	203	117	57.6%
	若林（高岡）	220	122	55.5%
猿投	井郷	199	111	55.8%
	石野	150	102	68.0%
	猿投	150	98	65.3%
	猿投台	190	114	60.0%
	保見	165	92	55.8%
松平	松平	150	88	58.7%
藤岡	藤岡	150	84	56.0%
	藤岡南	150	65	43.3%
小原	小原	150	100	66.7%
足助	足助	150	103	68.7%
下山	下山	150	97	64.7%
旭	旭	150	98	65.3%
稲武	稲武	150	110	73.3%
		6,521	3,542	54.3%

4. 集計方法

(1)集計方法

3. (2)抽出方法で述べたとおり、以下の10地域に関しては、無作為抽出した数（下表A欄）よりも多く配布した（下表C欄）ため、補正係数（下表D欄）を用いて回答の重みを調整している。

追加抽出数と補正係数

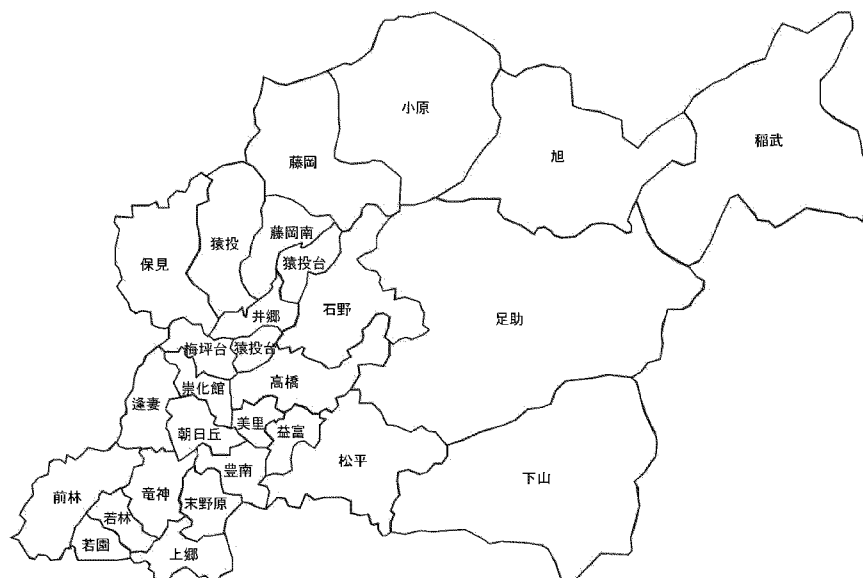
	A:無作為抽出数	B:追加抽出数	C:配布数	D:補正係数(A/C)
石野	47	103	150	0.31333
猿投	140	10	150	0.93333
松平	140	10	150	0.93333
藤岡	135	15	150	0.90000
藤岡南	145	5	150	0.96667
小原	58	92	150	0.38667
足助	131	19	150	0.87333
下山	74	76	150	0.49333
旭	45	105	150	0.30000
稲武	45	105	150	0.30000

(2)留意点

- ① 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%にはならない。
- ② 二重回答は乱数表を用いて回答を決定している。また、判読不能の回答等は回答なしに含めている。
- ③ 全体集計は、地域別に補正した結果を合計したものである。そのため、属性分析における地域別データに表記した各地域の標本数の合計は全体集計の標本数と一致しない。
- ④ 一部の作図においては、「回答なし」は省略してある。また、設問・選択肢などの表現は意味が変わらない程度に一部省略してある場合がある。

5. 調査地区区分図

本調査における地域（中学校区）の区分は以下のとおりである。

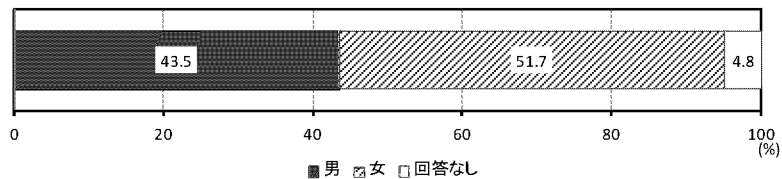


6. 市全体の集計結果

(1)回答者のプロフィール

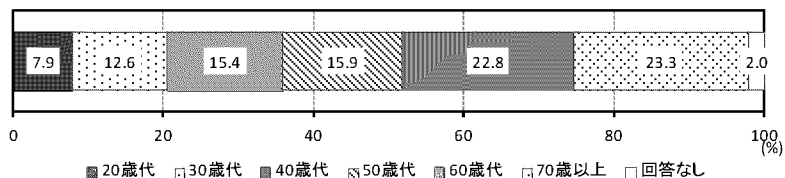
問1 性別

- 性別は「男性」が4割強、「女性」が5割強で女性の方が多くなっている。



問2 年齢層

- 年齢層は「70歳以上」が2割強で最も多く、次いで「60歳代」が2割強、「50歳代」が1割半ばとなっている。
- 20～30歳代が約2割、30～40歳代が3割強、60歳以上が4割半ばであり、60歳以上の高齢者の割合が高くなっている。

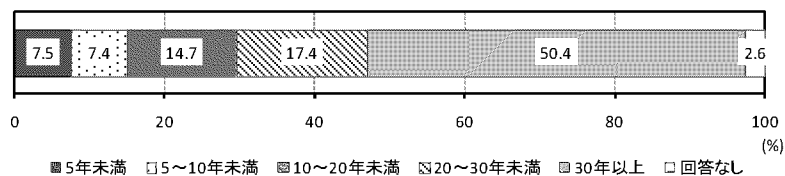


問3 居住自治区

各地域の集計において掲載する。

問4 居住年数

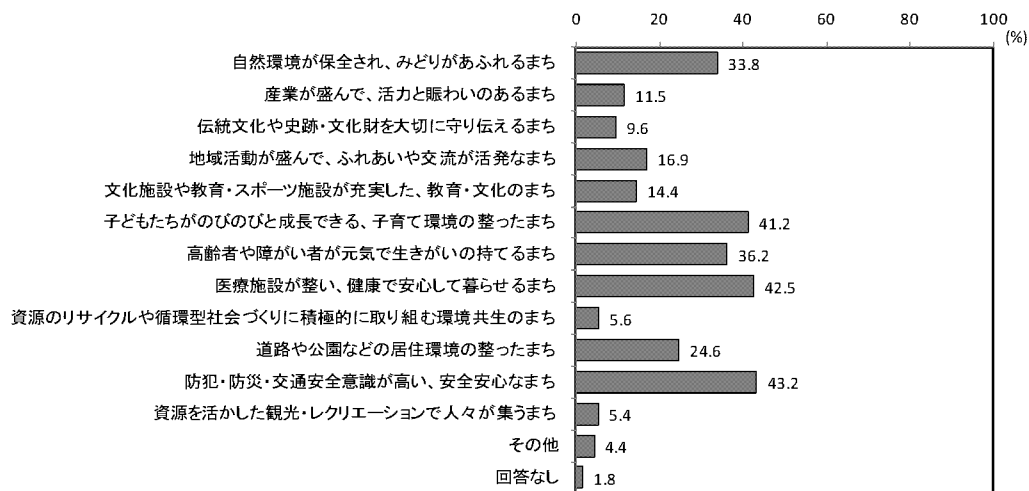
- 居住年数は「30年以上」が約5割と最も多く、次いで「20～30年未満」が2割弱、「10～20年未満」が1割半ばとなっている。



(2)地域のまちづくり全般

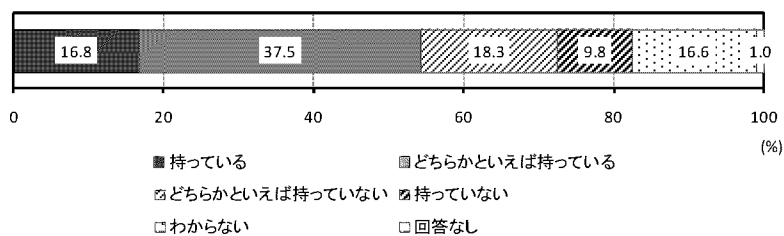
問5 10年後にどのようなまちになればよいと思うか

- ・「防犯・防災・交通安全意識が高い、安全安心なまち」、「医療施設が整い、健康で安心して暮らせるまち」と「子どもたちがのびのびと成長できる、子育て環境の整ったまち」がいずれも4割強で多くなっている。次いで、「高齢者や障がい者が元気で生きがいの持てるまち」が3割半ば、「自然環境が保全され、みどりがあふれるまち」が3割強となっている。
- ・医療、子育て、安全安心など生活に身近な項目で回答が多くなっている。



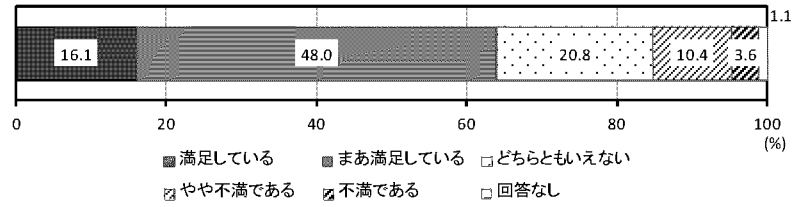
問6 地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無

- ・「どちらかといえば持っている」が4割弱で最も多く、次いで「どちらかといえば持っていない」が2割弱、「持っている」が1割半ばとなっており、程度の差はあるが5割以上が誇りや愛着を持っている。



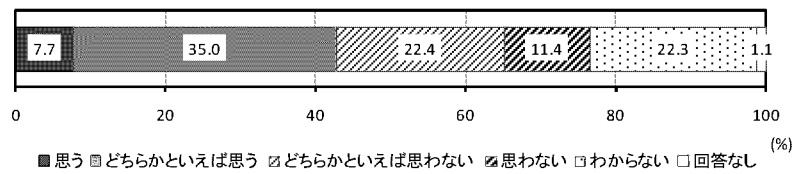
問7 地域での暮らしの満足

- ・「まあ満足している」が5割弱で最も多く、次いで「どちらともいえない」が約2割、「満足している」が1割半ばとなっている。
- ・「満足している」と「まあ満足している」を合わせると回答者の6割以上となり、地域での暮らしに満足している傾向がある。



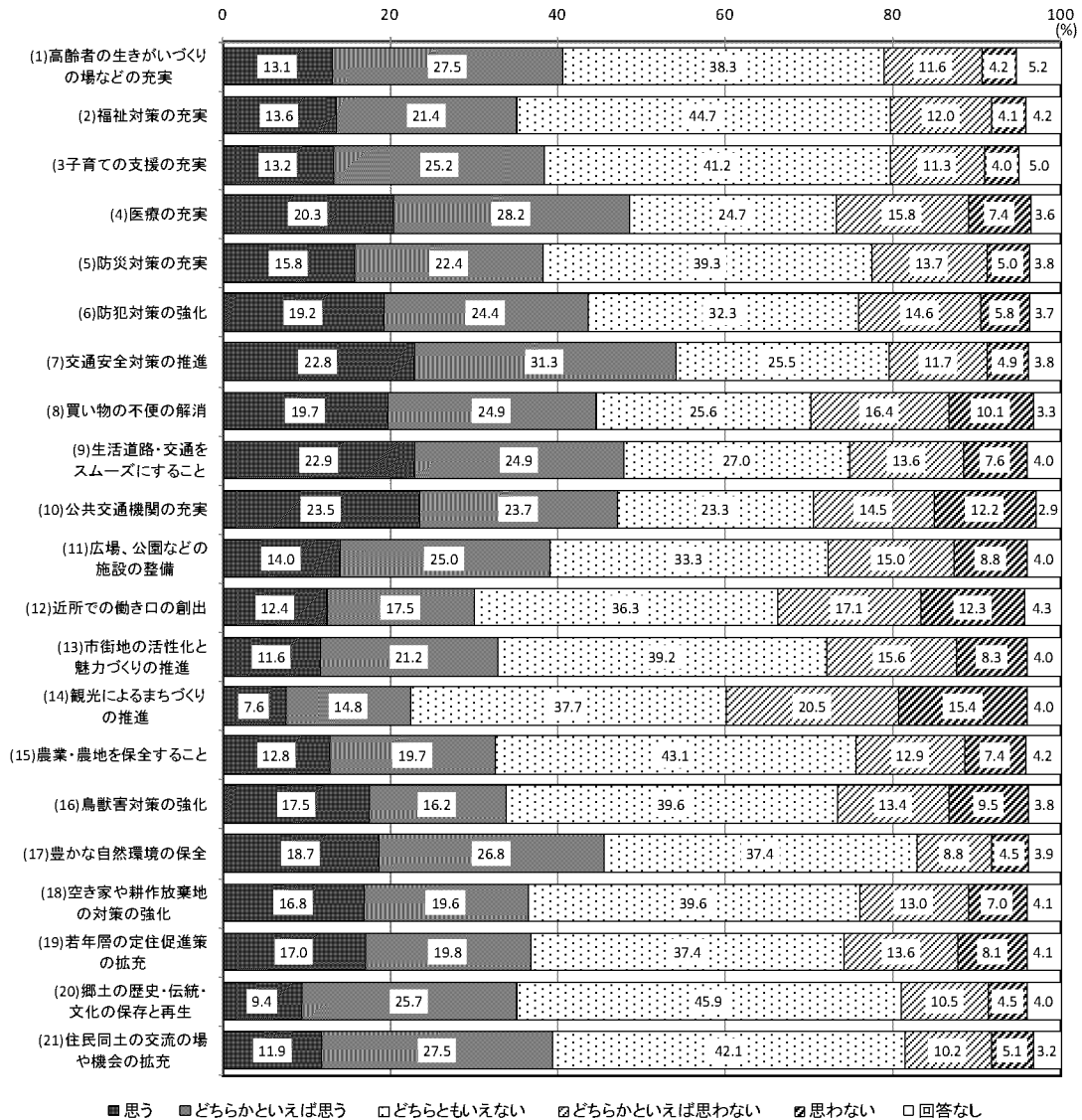
問8 住民参加型でのまちづくりを進められていると思うか

- ・「どちらかといえば思う」が3割半ばで最も多く、次いで「どちらかといえば思わない」と「わからない」がともに2割強となっている。



問9 地域の課題や問題点

- ・地域の課題や問題点であると「思う」もしくは「どちらかといえば思う」と回答した割合は、「交通安全対策の推進」が5割強で最も高く、次いで「医療の充実」、「生活道路・交通をスムーズにすること」及び「公共交通機関の充実」が5割弱となっている。
- ・10年後の姿(問5)で回答が多かった項目のうち、防犯、交通安全対策、医療、自然に関する項目を課題として挙げており、子育て支援の充実や防災対策の充実を課題とする割合は低い。



問 10 具体的な地域の課題や問題点

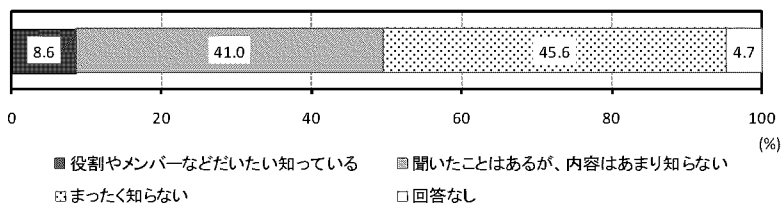
・具体的な地域の課題や問題点については、852 人から 931 件の回答が寄せられ、「特にない」・「わからない」等を除く具体的な意見は 781 件であった。内容に応じて問 9 の選択肢に挙げた項目及びそれ以外の項目に分類した結果を以下に示す。

課題・問題点	件数
(1)高齢者の生きがいつくりの場などの充実	4
(2)高齢者、障がい者、母子家庭などの福祉対策の充実	7
(3)子育ての支援の充実	11
(4)病院、診療所などの医療の充実	23
(5)地震や風水害などの防災対策の強化	21
(6)空き巣や車上狙いなどの防犯対策の強化	47
(7)通学路の安全確保などの交通安全対策の推進	174
(8)日常生活品などの買い物の不便の解消	42
(9)生活道路・交通をスムーズにすること	84
(10)バスなどの公共交通機関の充実	91
(11)広場、公園などの施設の整備	72
(12)近所での働き口の創出	9
(13)市街地の活性化と魅力づくりの推進	19
(14)観光によるまちづくりの推進	4
(15)農業・農地を保全すること	3
(16)鳥獣害対策の強化	11
(17)豊かな自然環境の保全	11
(18)空き家や耕作放棄地の対策の強化	5
(19)若年層の定住促進策の拡充	9
(20)郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	5
(21)住民同士の交流の場や機会の拡充	23
その他	185
合計	781

(3)地域会議について

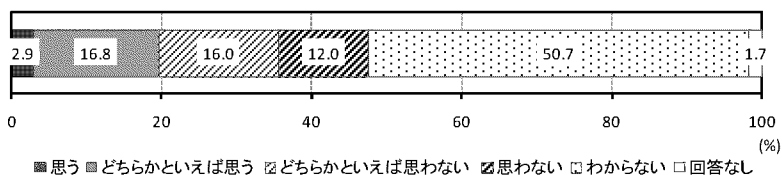
問 11 「地域会議」についてどの程度知っているか

- ・「まったく知らない」が4割半ばで最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が4割、「役割やメンバーなどだいたい知っている」が1割弱となっており、周知が十分とは言えない。



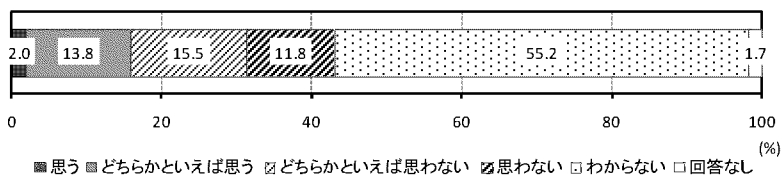
問 12 「地域会議」が地域のまちづくりについての意見を集約できていると思うか

- ・「わからない」が約5割と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」、「どちらかといえば思わない」が1割半ばとなっている。



問 13 「地域会議」の意見が市の事業に反映されていると思うか

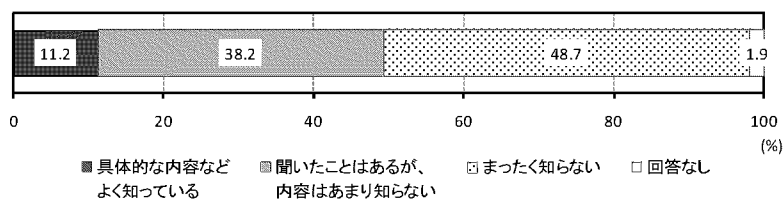
- ・「わからない」が5割半ばと最も多く、次いで「どちらかといえば思わない」が1割半ば、「どちらかといえば思う」が1割強となっている。
- ・「思う」、「どちらかといえば思う」を合わせた割合は、「思わない」、「どちらかといえば思わない」を合わせた割合より低く、「地域会議」の意見が市の事業に十分反映されているとは言えない。



(4)わくわく事業について

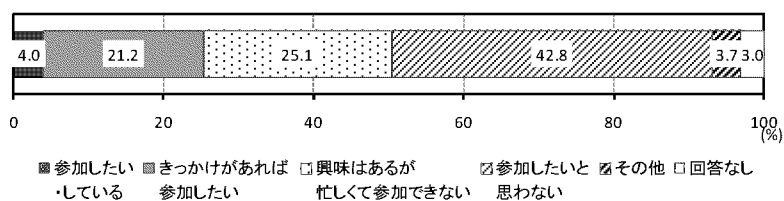
問 14 「わくわく事業」についてどの程度知っているか

- ・「まったく知らない」が5割強と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が3割半ば、「具体的な内容などよく知っている」が約1割となっており、周知が十分とは言えない。



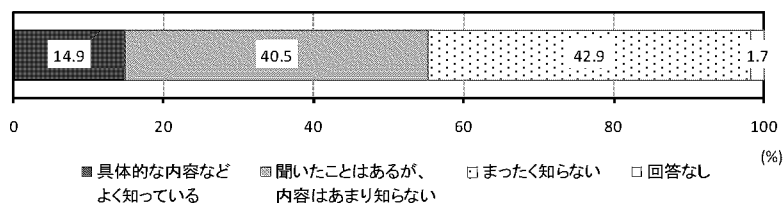
問 15 「わくわく事業」に参加したいと思うか

- ・「参加したいと思わない」が4割強で最も多く、次いで「興味はあるが忙しくて参加できない」が2割半ば、「きっかけがあれば参加したい」が約2割となっている。
- ・「わくわく事業」に「参加したい・している」との回答は5%未満であり、「わくわく事業」の内容などを知っていても実際の参加につながっているとは言えない。
- ・しかし、「きっかけがあれば参加したい」、「興味はあるが忙しくて参加できない」など参加の意向を占めず人が4割以上見られることから、これらの層を実際の参加につなげる取り組みが必要と考えられる。



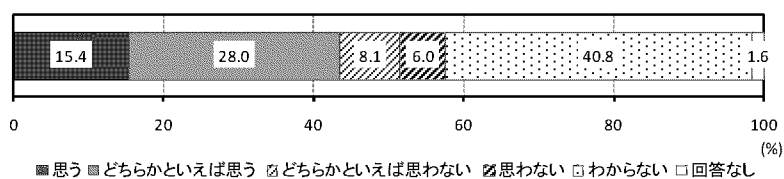
問 16 「地域のわくわく事業」の活動についてどの程度知っているか

- ・「まったく知らない」が4割強で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が約4割、「具体的な内容などよく知っている」が1割弱となっている。
- ・「具体的な内容などよく知っている」との割合は、「わくわく事業」の認知度に関する問と同程度である。



問 17 「地域のわくわく事業」の活動が地域のためになっていると思うか

・「わからない」が約4割で最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が3割弱、「思う」が1割半ばとなっている。



(5)地域予算提案事業について

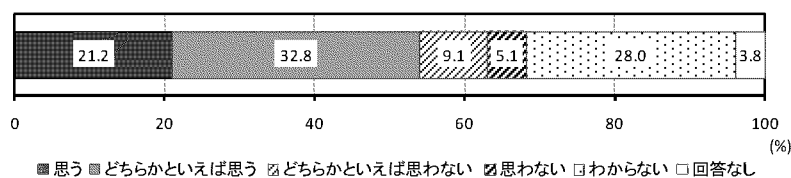
問 18 地域で取り組んでいる「地域予算提案事業」について

- ①活動していることをどの程度知っているか
- ②活動が地域のためになっていると思うか

地域版に掲載する。

問 19 当該地域のみを対象として事業を実施する制度が、地域の課題解決に効果的・効率的であると思うか

- ・「どちらかといえば思う」が3割強で最も多く、次いで「わからない」が3割弱、「思う」が約2割となっている。
- ・「思う」、「どちらかといえば思う」を合わせた割合は5割半ばであり、地域予算提案事業が地域の課題解決に効果的・効率的であると十分に認識されているとは言えない。



7. クロス集計

7-1. 目的

各地域のまちづくりの現状を把握するとともに、地域自治システムの評価を行うため、まちづくり全般及び、地域会議ならびに地域自治システム（以下、「地域自治システム等」）についてクロス集計による分析を行う。

7-2. 方法

市全体の集計結果に基づいて、以下のクロス集計を行う。

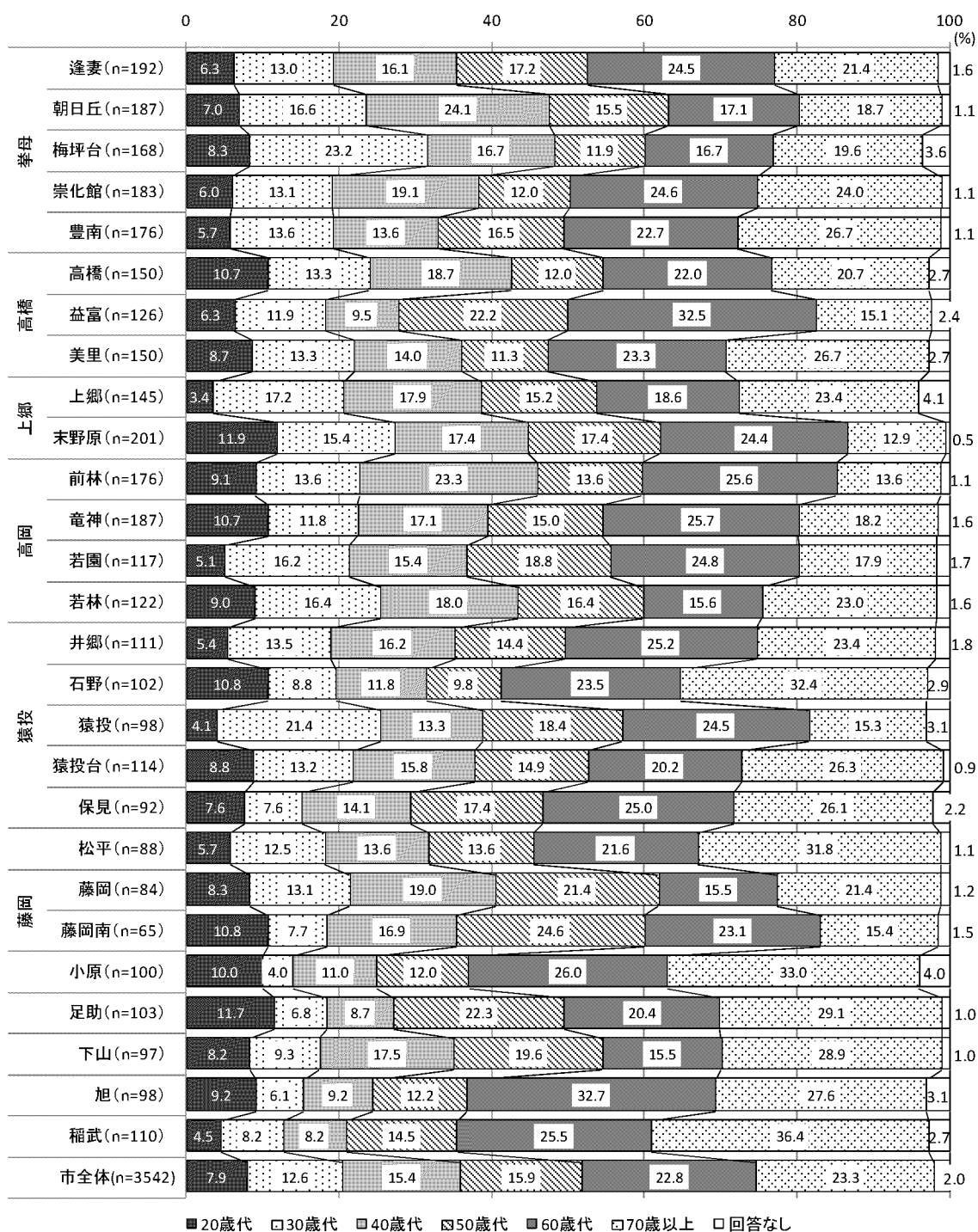
クロス集計項目		目的
居住地域	× 年齢 ----- × 居住年数	・ 居住者の地域特性を把握する
居住地域	× 問5 10年後の姿 ----- × 問6 誇り・愛着 ----- × 問7 暮らしの満足度 ----- × 問8 住民参加型まちづくりの進捗 ----- × 問9 地域の課題	・ まちづくり全般に関する考えの、居住地域による違いを把握する
	× 問11 地域会議の認知度 ----- × 問14 わくわく事業の認知度 ----- × 問16 地域のわくわく事業の活動の認知度 ----- × 問18① 地域予算提案事業の認知度 ----- × 問19 地域予算提案事業の認知度	・ 地域自治システム等の認知度の、居住地域による違いを把握する
年齢	× 問5 10年後の姿 ----- × 問9 地域の課題 ----- × 問11 地域会議の認知度 ----- × 問14 わくわく事業の認知度 ----- × 問16 地域のわくわく事業の活動の認知度 ----- × 問18① 地域予算提案事業の認知度	・ 年齢層による地域の課題の違い及び、地域自治システム等の認知度の違いを把握する
居住年数	× 問11 地域会議の認知度 ----- × 問14 わくわく事業の認知度 ----- × 問16 地域のわくわく事業の活動の認知度	・ 地域自治システム等の認知度の、居住年数による違いを把握する
地域会議の認知度	× 問12 地域会議の意見集約 ----- × 問13 市の施策への反映について	・ 地域自治システム等の認知度による、考えの違いを把握する
わくわく事業の認知度	× 問15 わくわく事業の参加意向	
地域のわくわく事業の認知度	× 問17 地域のわくわく事業の地域への貢献	
地域予算提案事業の認知度	× 問18② 地域予算提案事業の地域への貢献	

7-3. 居住地域によるクロス集計結果

■回答者のプロフィール

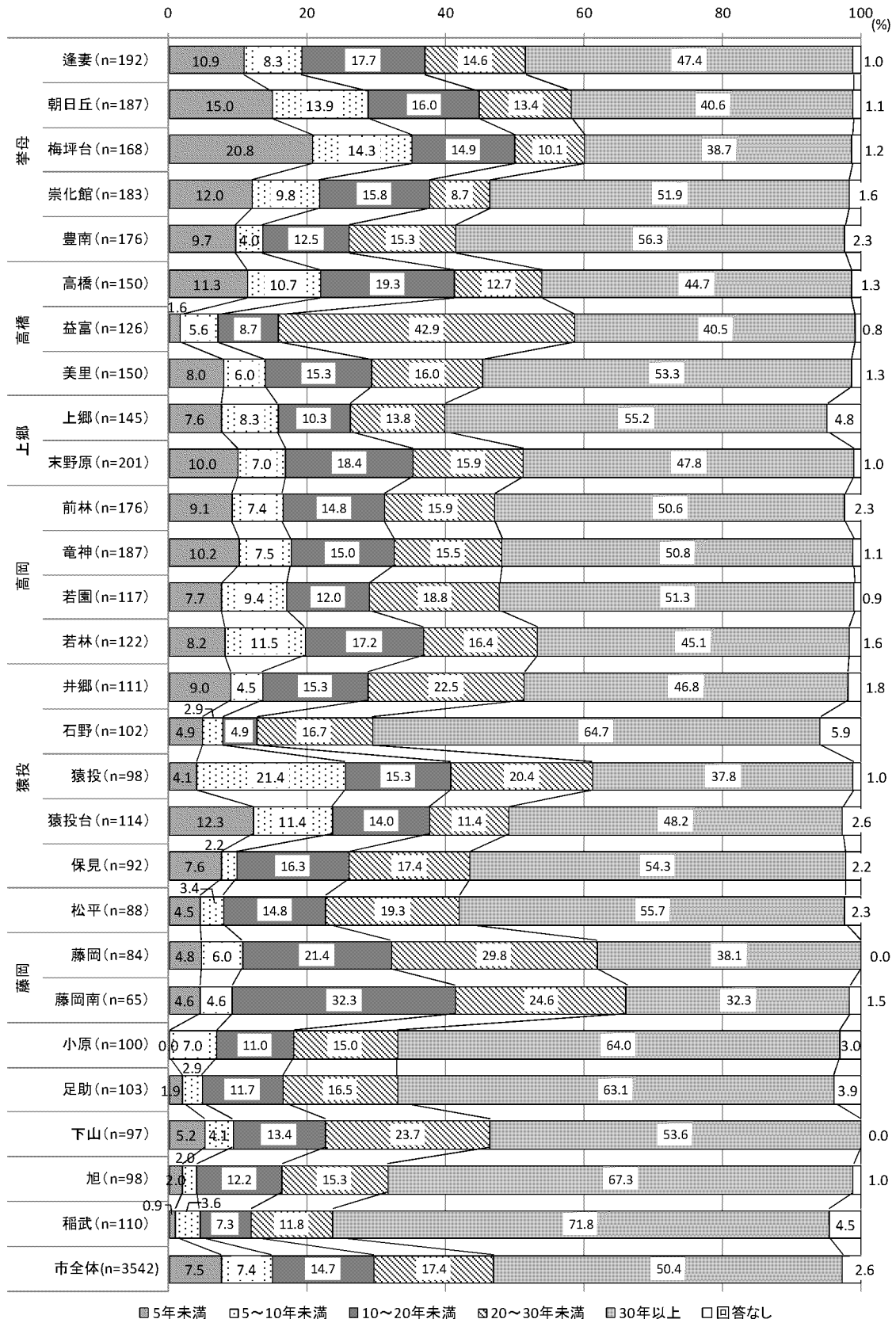
問2 年齢層

- ・朝日丘地域、梅坪台地域、高橋地域、末野原地域、若林地域及び猿投地域は 20～30 歳代の割合が高い。一方、上郷地域、猿投地域及び稲武地域は 20 歳代の割合が低い。
- ・小原地域、旭地域及び稲武地域は 60 歳以上の高齢者の割合が高い。一方、朝日丘地域、梅坪台地域、末野原地域、前林地域、藤岡地域及び藤岡南地域は高齢者の割合が低い。

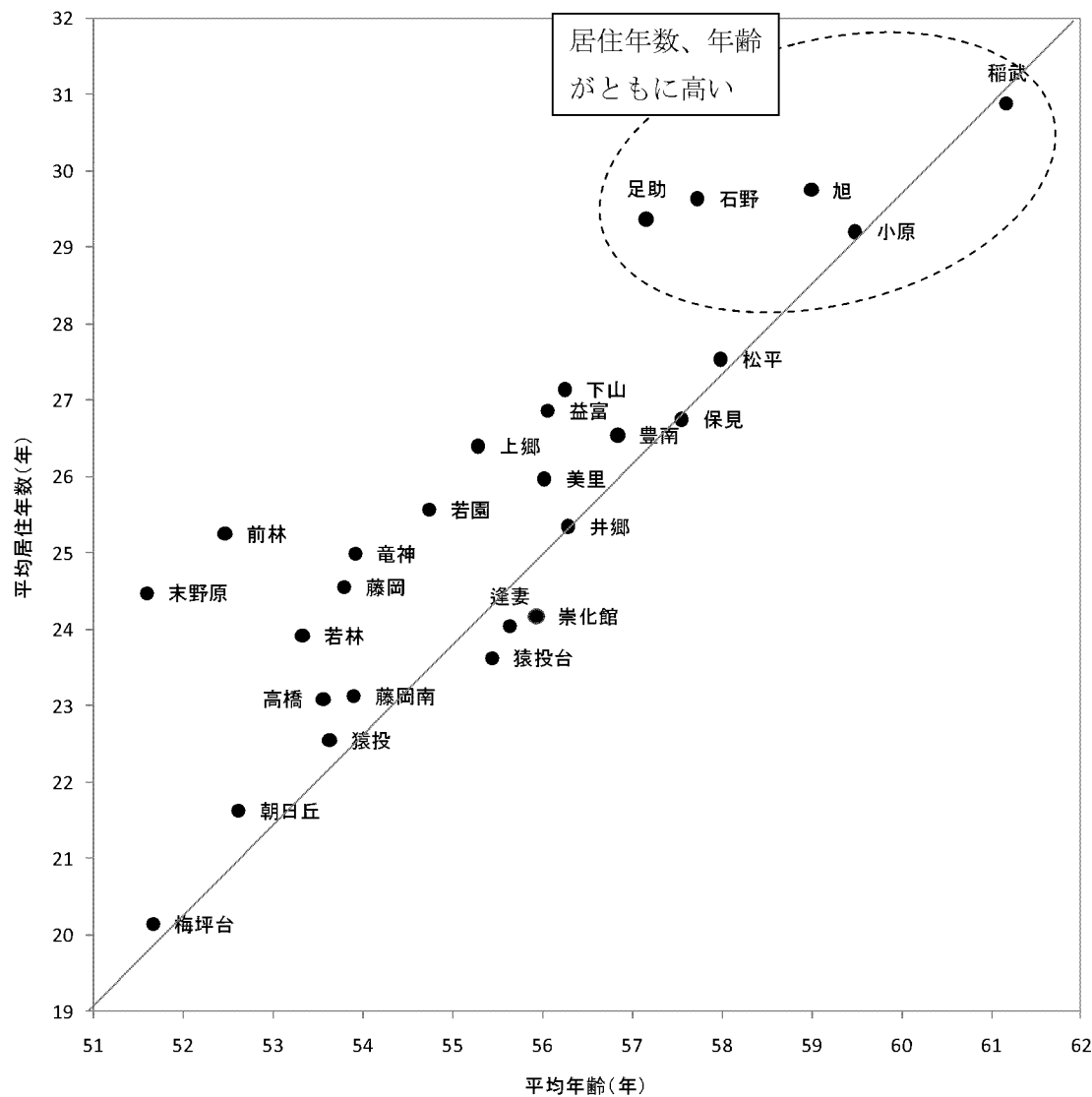


問4 居住年数

- ・石野地域、小原地域、足助地域、旭地域及び稲武地域は30年以上の割合が高い。
- ・梅坪台地域は5年未満が、猿投地域は5～10年未満が、藤岡南地域は10～20年未満が、益富地域は20～30年未満の割合が高い。



年齢と居住年数について、各カテゴリに代表値を与えて平均値を求め※、両者の関係を図に示した。稲武地域、小原地域、旭地域、足助地域及び石野地域は平均年齢、平均居住年数がともに高い。



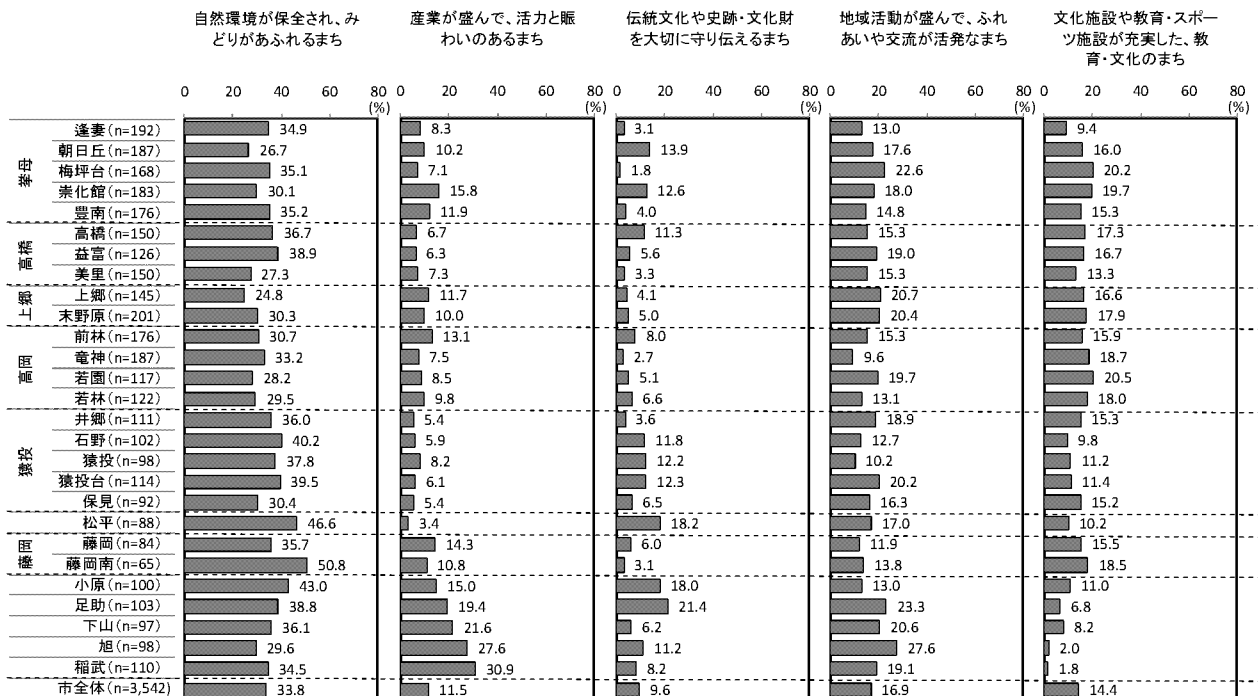
※ 平均年齢は「20歳代」を25歳、「30歳代」を35歳、「40歳代」を45歳、「50歳代」を55歳、「60歳代」を65歳、「70歳以上」を75歳として算出した。

また、平均居住年数は、「5年未満」を2.5年、「5～10年未満」を15年、「10～20年未満」を15年、「20～30年未満」を25年、「30年以上」を35年として算出した。

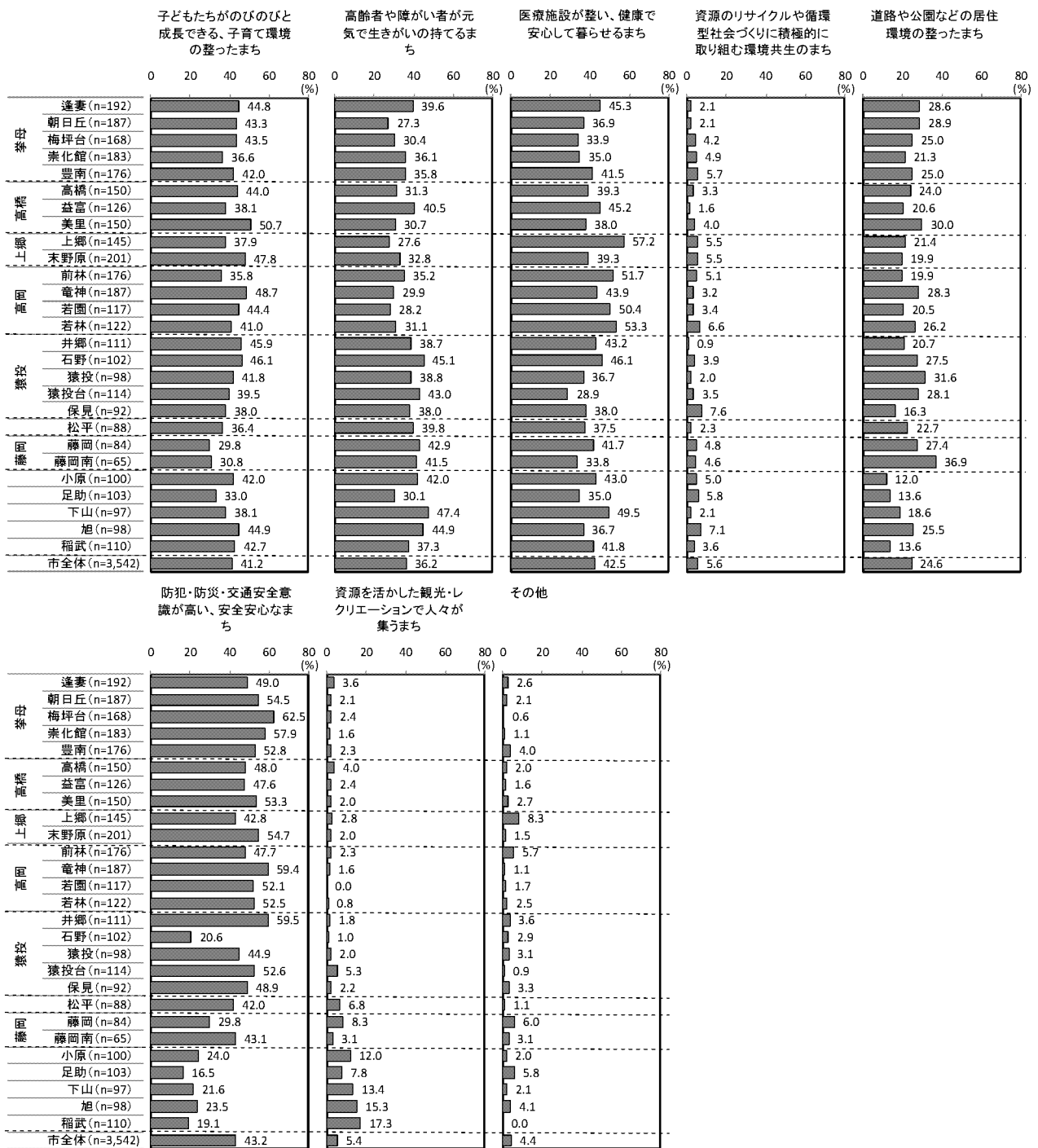
■地域のまちづくり全般

問5 10年後にどのようなまちになればよいと思うか

- 「自然環境が保全され、みどりがあふれるまち」、「子どもたちがのびのびと成長できる、子育て環境の整ったまち」、「高齢者や障がい者が元気で生きがいの持てるまち」、「医療施設が整い、健康で安心して暮らせるまち」及び「防犯・防災・交通安全意識が高い、安全安心なまち」は概ね全ての地域で回答割合が高くなっている。
- 「自然環境が保全され、みどりがあふれるまち」は、松平地域と藤岡南地域で回答割合が高い。
- 「産業が盛んで、活力と賑わいのあるまち」は、足助地域、下山地域、旭地域及び稲武地域で回答割合が高い。
- 「伝統文化や史跡・文化財を大切に守り育てるまち」は、松平地域、小原地域及び足助地域で回答割合が高い。
- 「地域活動が盛んで、ふれあいや交流が活発なまちうなまち」は、梅坪台地域、足助地域及び旭地域で回答割合が高い。
- 「文化施設や教育・スポーツ施設が充実した、教育・文化のまち」は、旭地域と稲武地域で回答割合が低い。

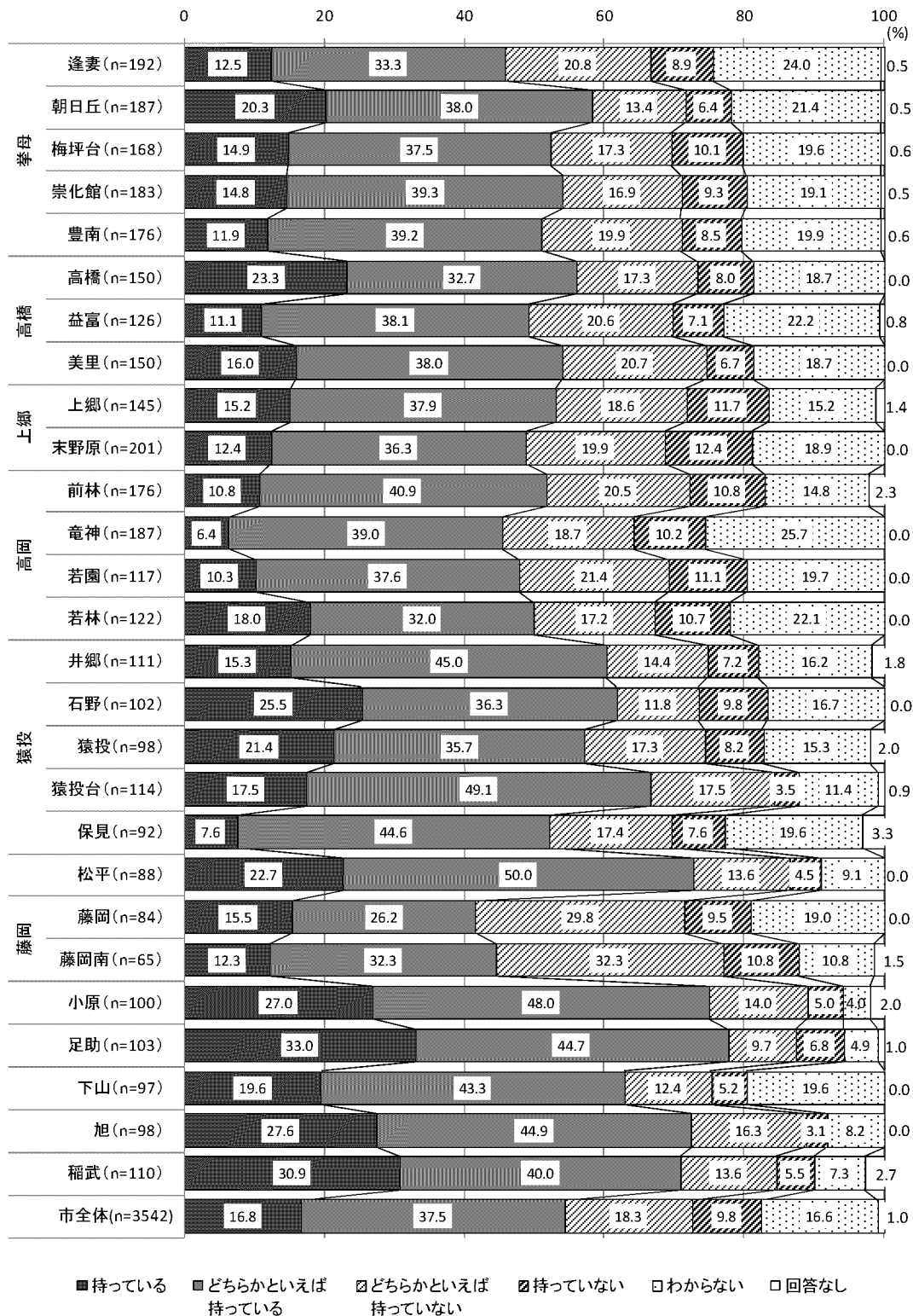


- ・「医療施設が整い、健康で安心して暮らせるまち」は、上郷地域、若林地帯及び前林地帯で回答割合が高い。
- ・「道路や公園などの居住環境の整ったまち」は、美里地域、猿投地域及び藤岡南地域で回答割合が高い。
- ・「防犯・防災・交通安全意識が高い、安全安心なまち」は、石野地域、小原地域、足助地域、下山地域、旭地域及び稲武地域で回答割合が低い。
- ・「資源を活かした観光・レクリエーションで人々が集うまち」は、小原地域、足助地域、下山地域、旭地域及び稲武地域で回答割合が高い。



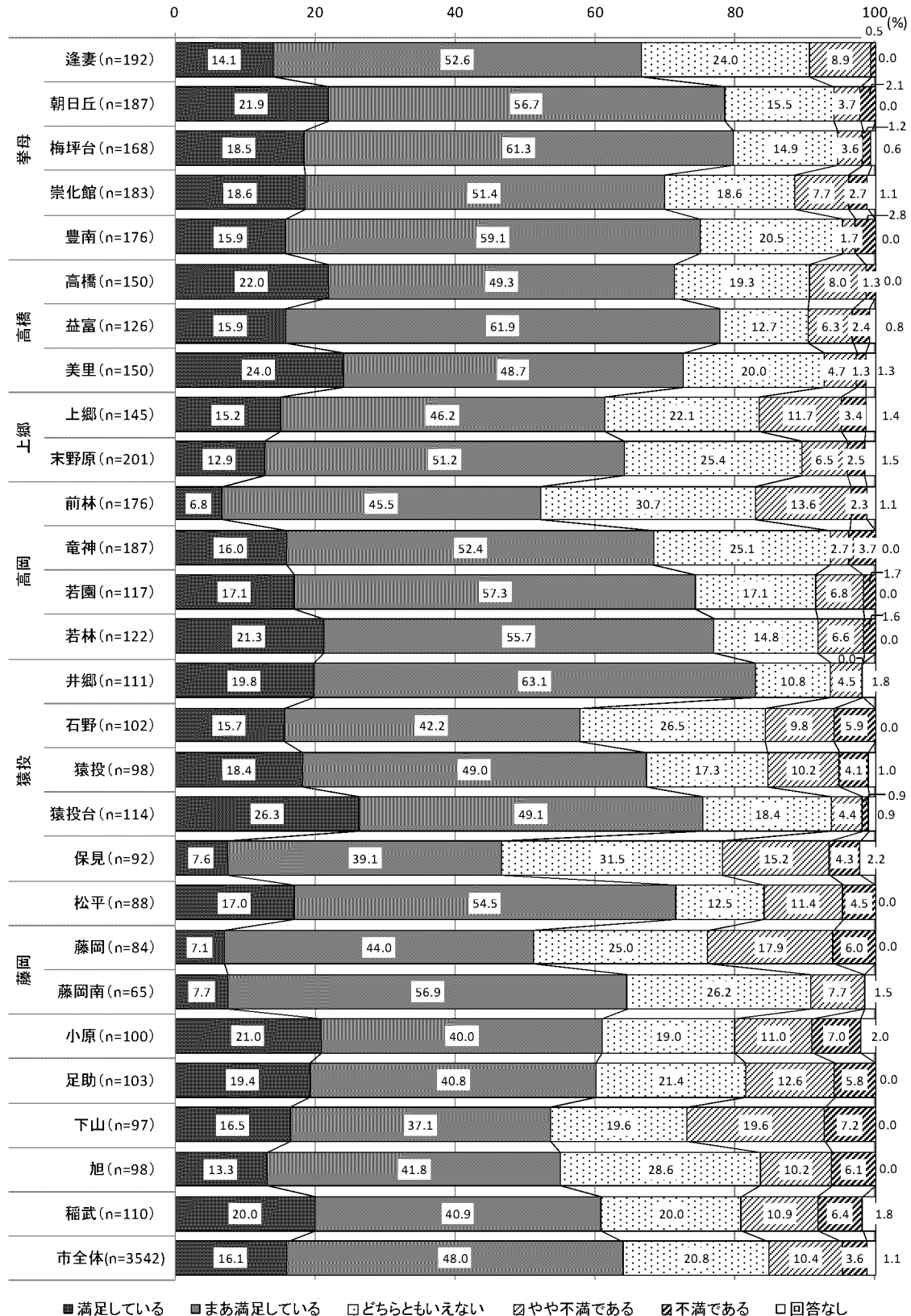
問6 地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無

- ・足助地域、稲武地域、旭地域及び小原地域は、他の地域と比べて「持っている」との割合が高い。
- ・足助地域、小原地域、松平地域及び旭地域は、他の地域と比べて「持っている」または「どちらかといえば持っている」との割合が高く、地域の歴史・文化等への誇りや愛着を持つ傾向が見られる。



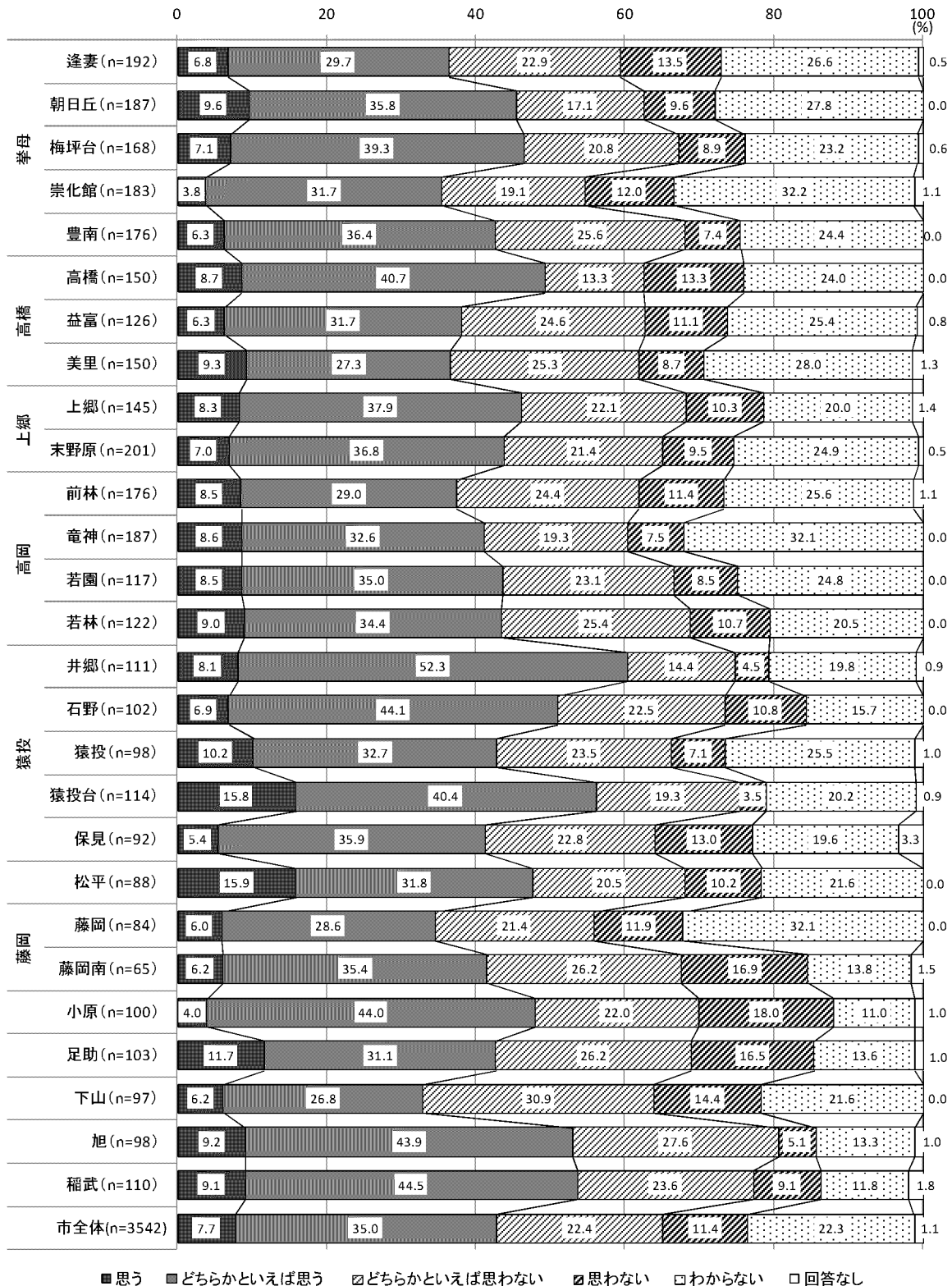
問7 地域での暮らしの満足

- ・猿投地域、美里地域、高橋地域及び朝日丘地域は、他の地域と比べて「満足している」との割合が高い。
- ・井郷地域、梅坪台地域及び朝日丘地域は、他の地域と比べて「満足している」または「どちらかといえば満足している」との割合が高い。

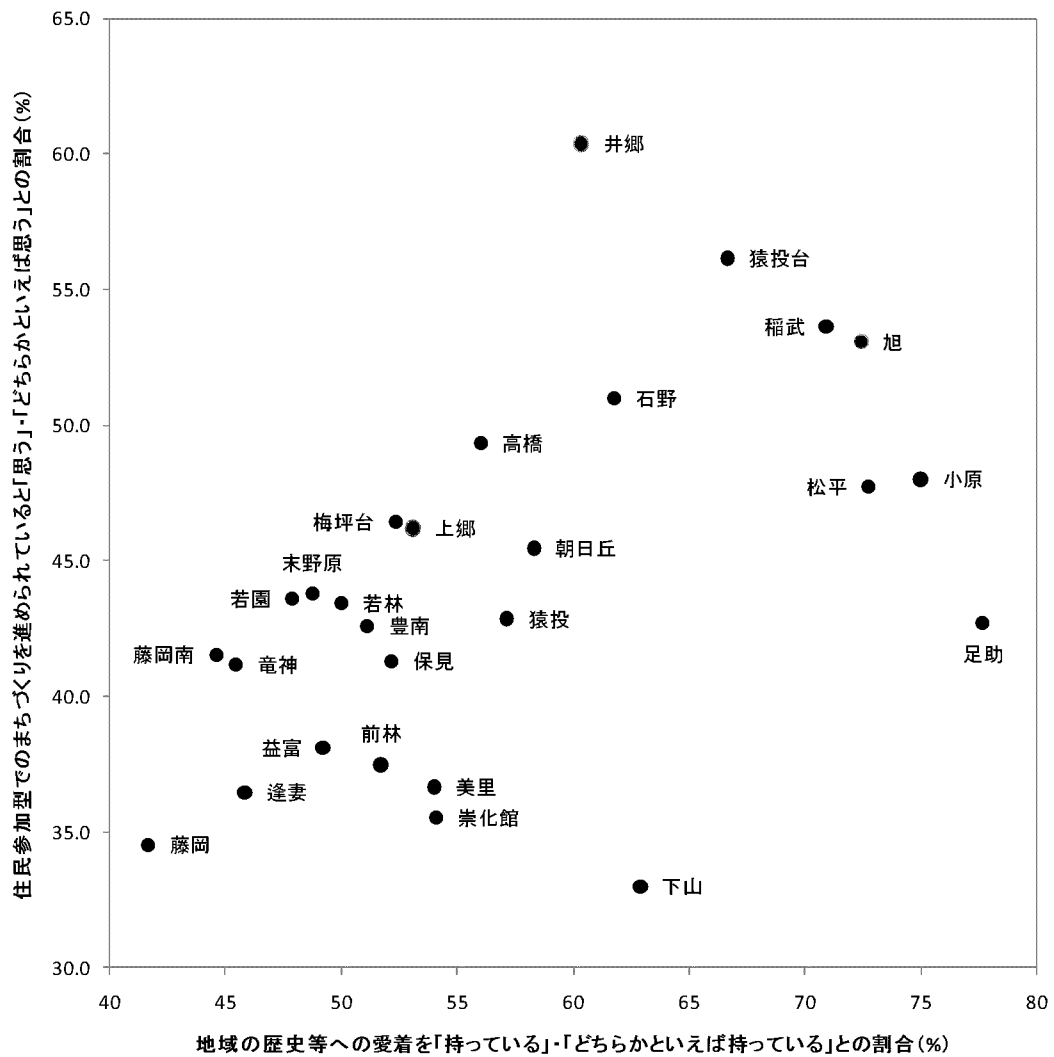


問8 住民参加型でのまちづくりを進められていると思うか

- ・松平地域、猿投台地域及び足助地域は、他の地域と比べて「思う」との割合が高く、住民参加型でのまちづくりが進められている傾向がある。
- ・井郷地域、猿投台地域及び稲武地域で、他の地域と比べて「思う」または「どちらかといえば思う」との割合が高い。



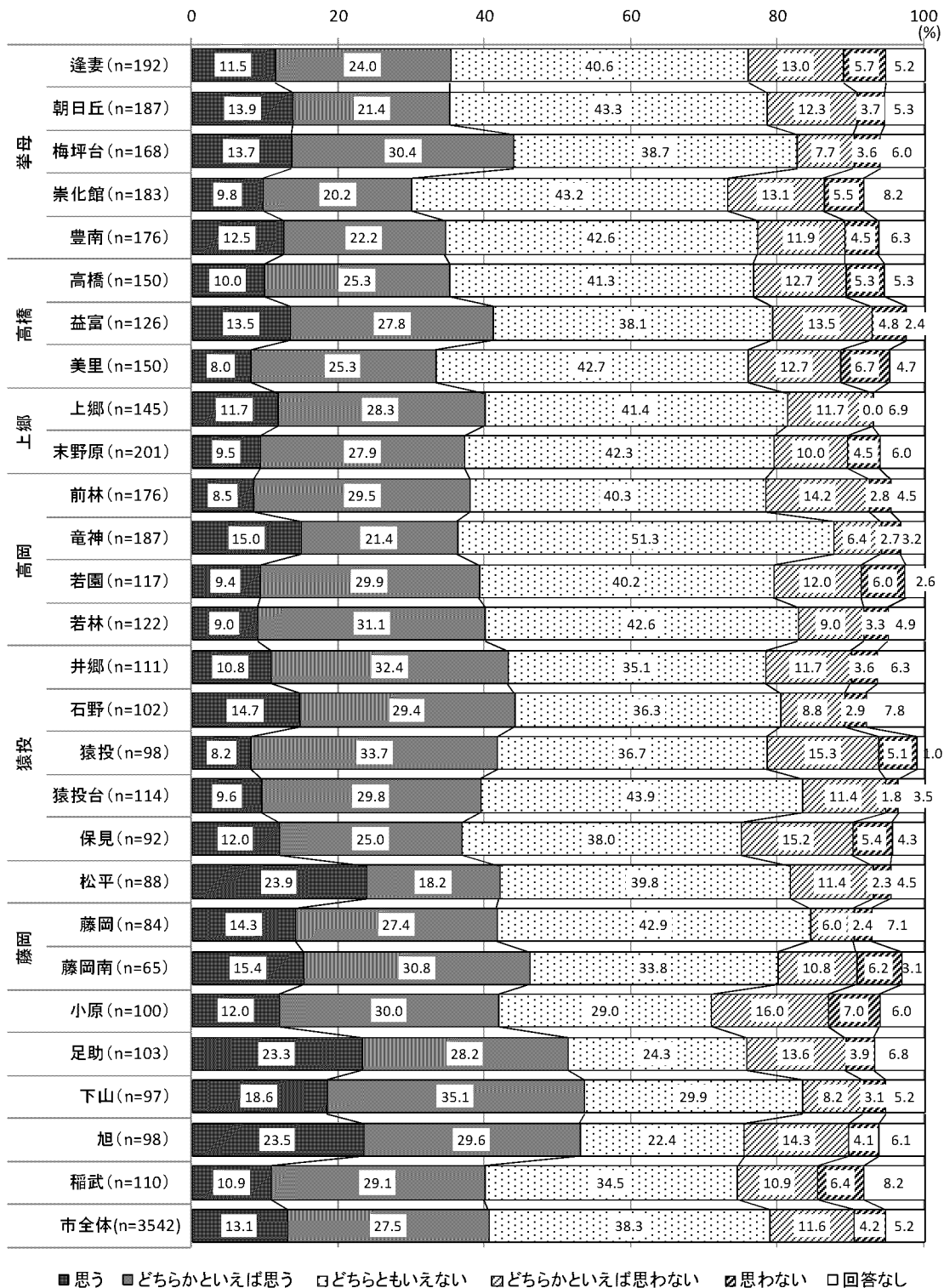
- ・住民参加型でのまちづくりを進められていると思う割合と、地域の歴史・文化・まちづくりへの愛着を持っている割合の関係をみると、住民参加型でのまちづくりが進められていると思う割合が高い地域は、地域の歴史等への愛着を持つ割合が高い傾向が見られる。



問9 地域の課題や問題点

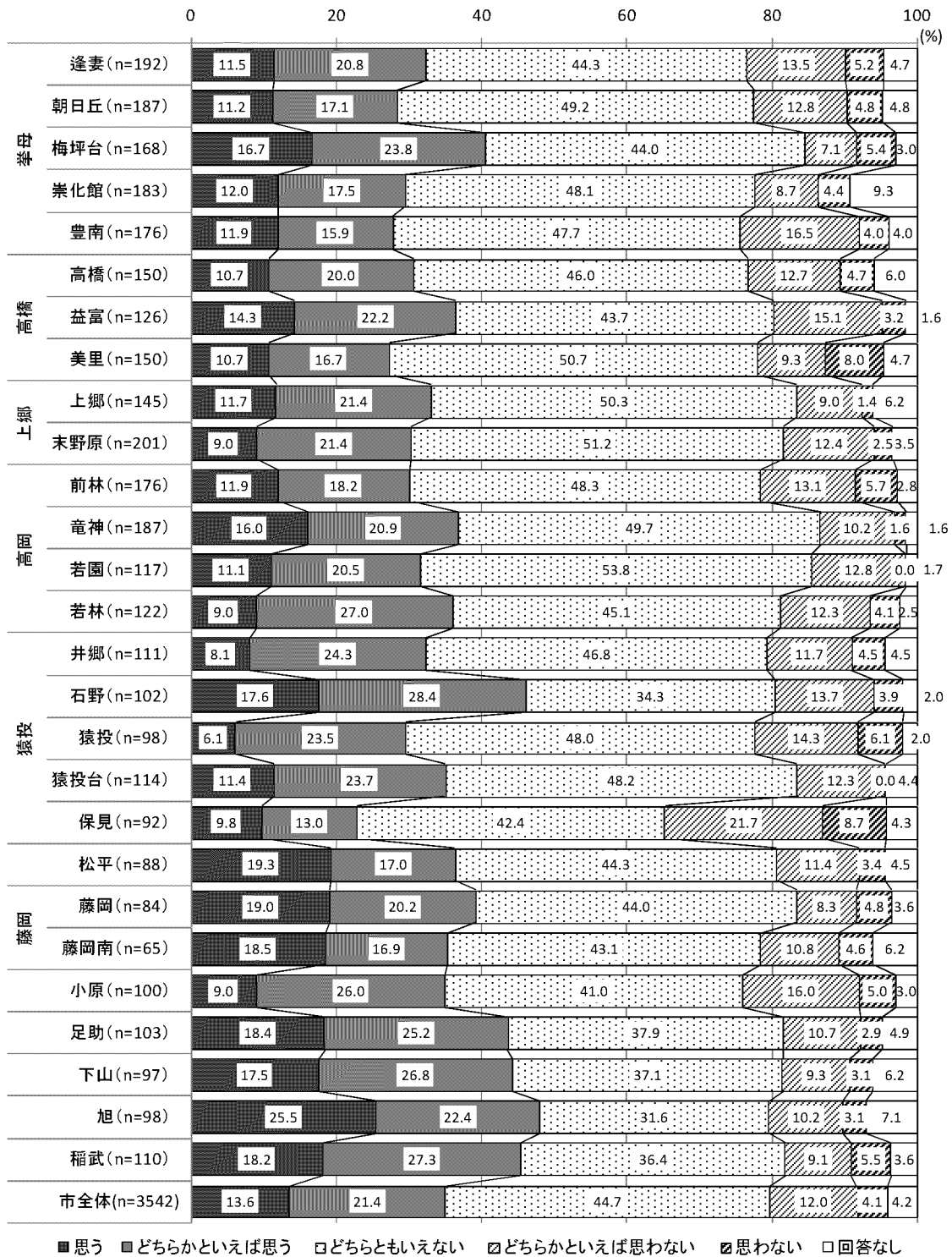
(1)高齢者の生きがいづくりの場などの充実

- ・松平地域、足助地域及び旭地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」までを含めると、下山地域でも課題と思う割合が高い。
- ・旭地域と下山地域は10年後の姿で「高齢者や障がい者が元気で生きがいの持てるまち」との回答割合が高くなっている。



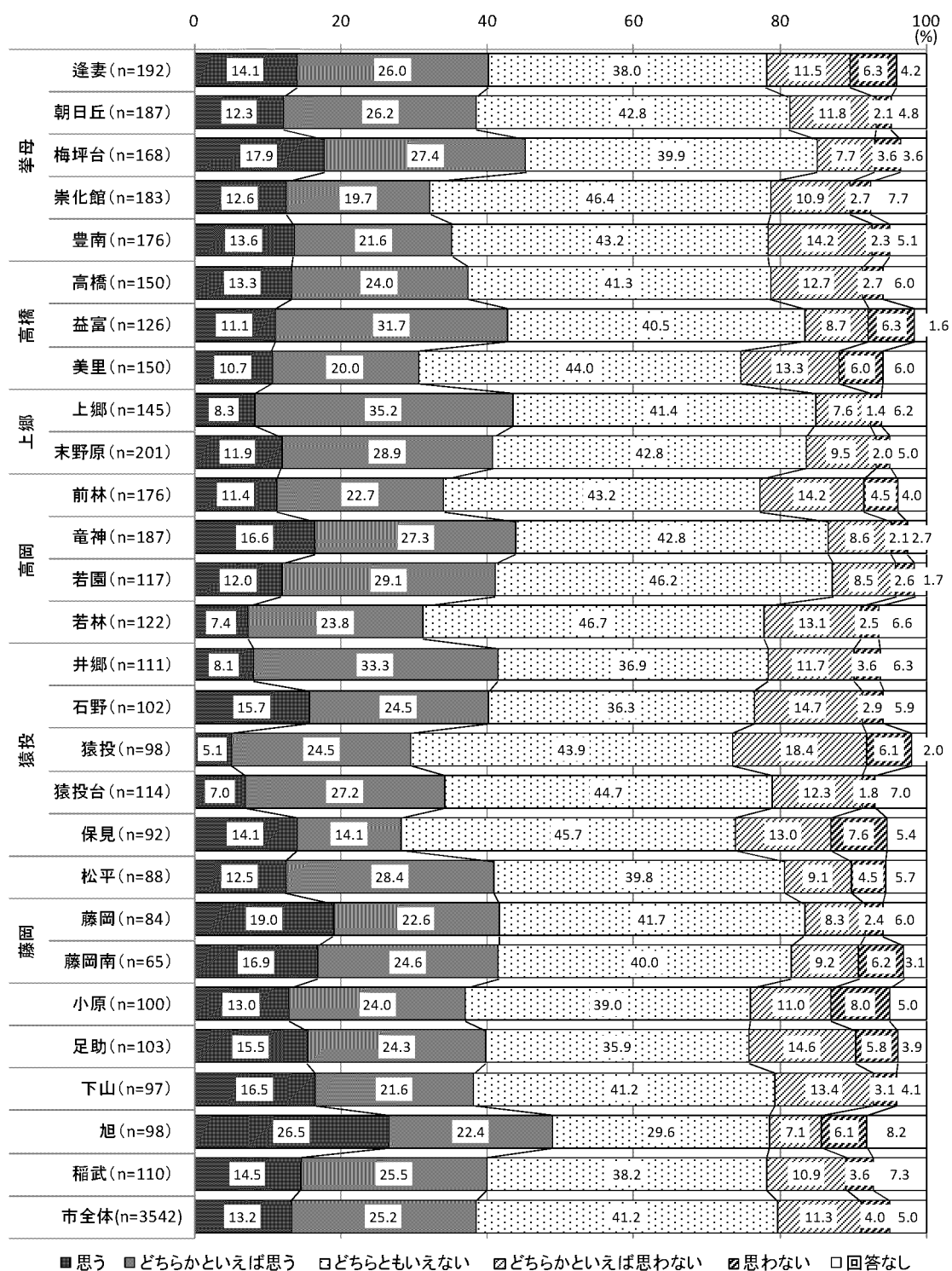
(2)福祉対策の充実

・旭地域、松平地域及び藤岡地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、石野地域と稲武地域でも課題と思う割合が高くなっている。



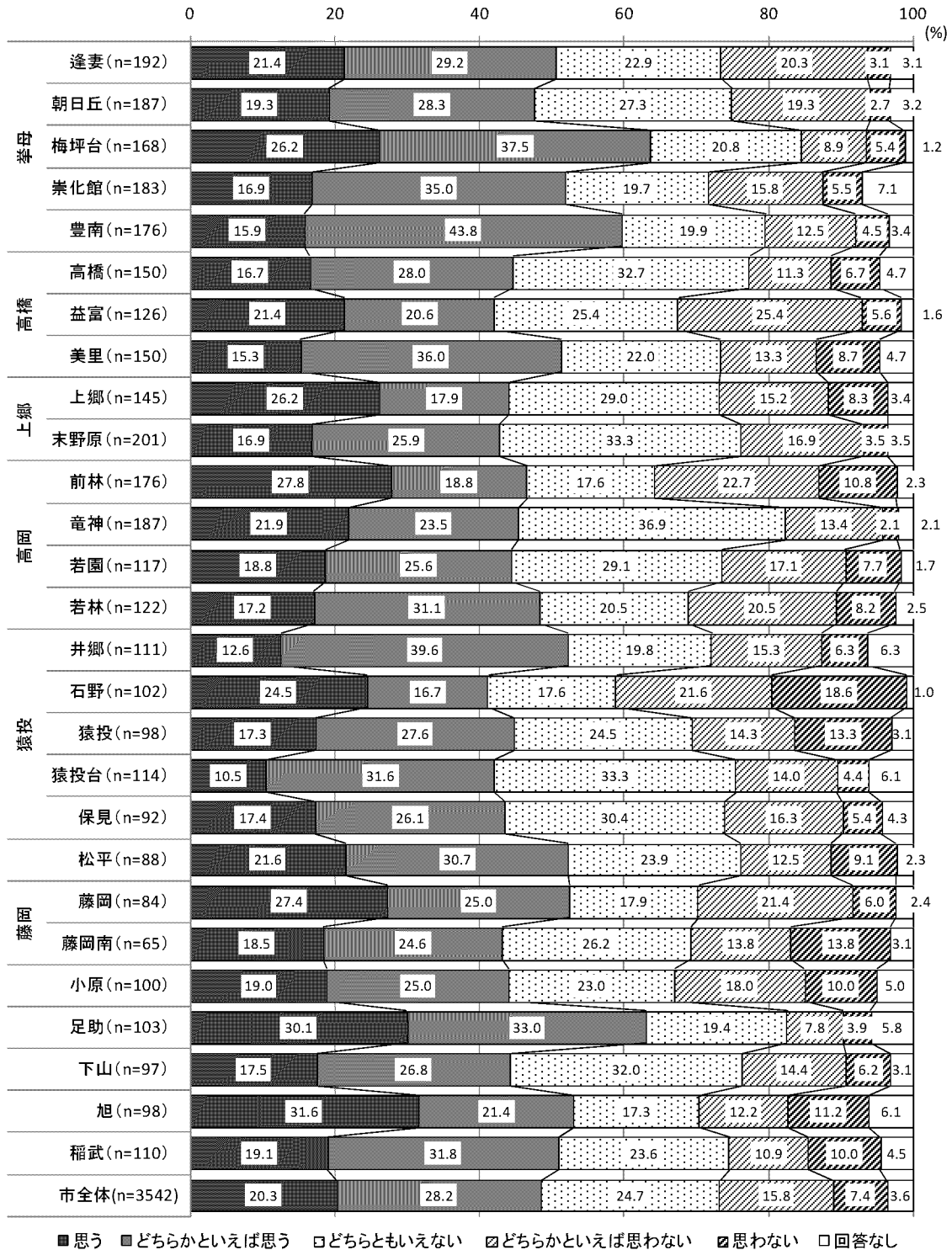
(3)子育て支援の充実

・旭地域は市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、梅坪台地域、竜神地域、上郷地域及び益富地域も課題と思う割合が高い。



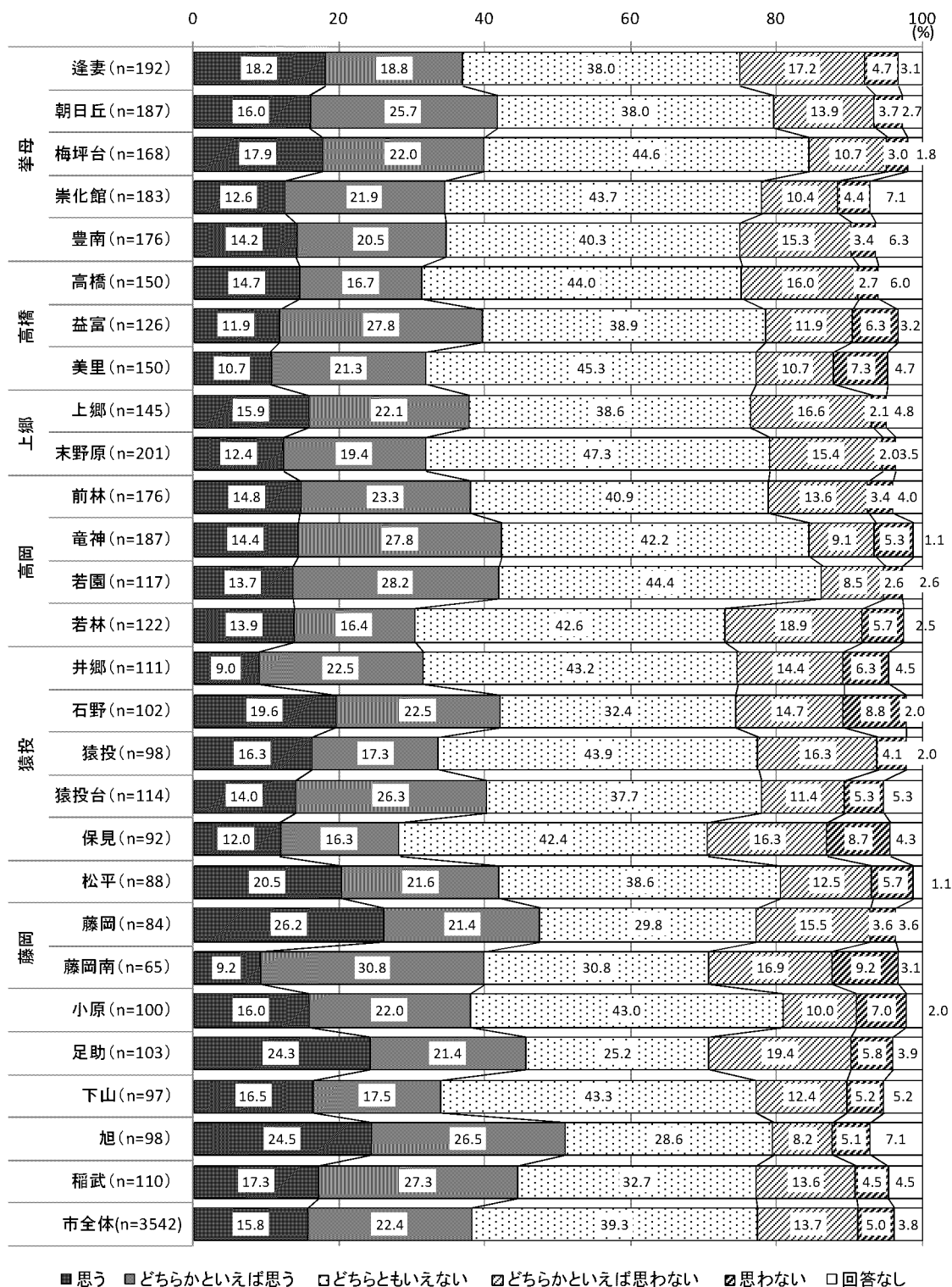
(4)医療の充実

- ・旭地域、足助地域、前林地域、藤岡地域、梅坪台地域及び上郷地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると豊南地域も課題と思う割合が高い。
- ・10年後の姿で「医療施設が整い、健康で安心して暮らせるまち」との回答割合が高い上郷地域、前林地域、若林地域及び若園地域のうち、若林地域と若園地域は課題と思う割合が市全体と同程度である。



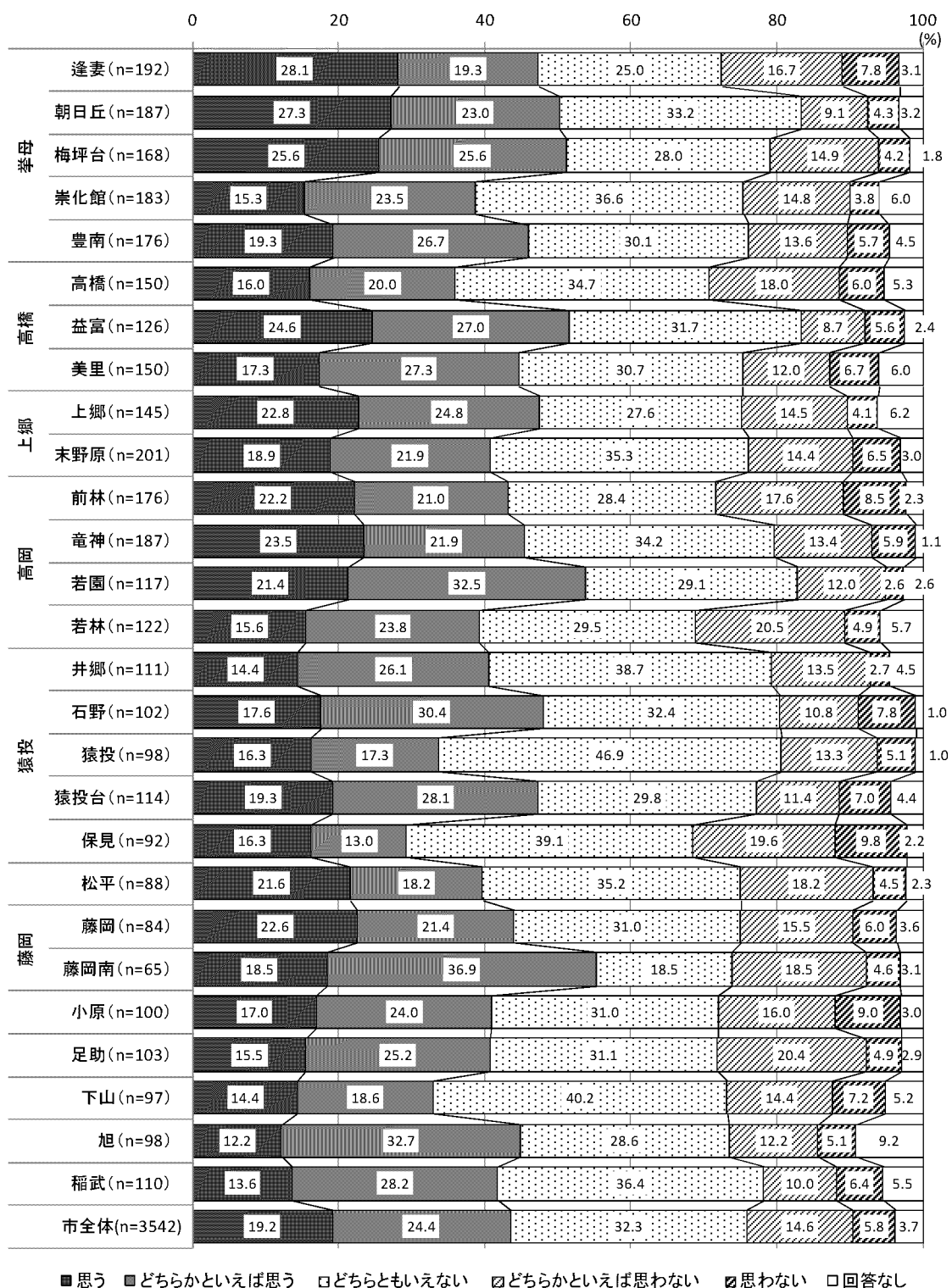
(5)防災対策の充実

- ・藤岡地域、足助地域及び旭地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。
- ・「どちらかとも言えない」までを含めた場合、保見地域は課題と思う割合が低い。



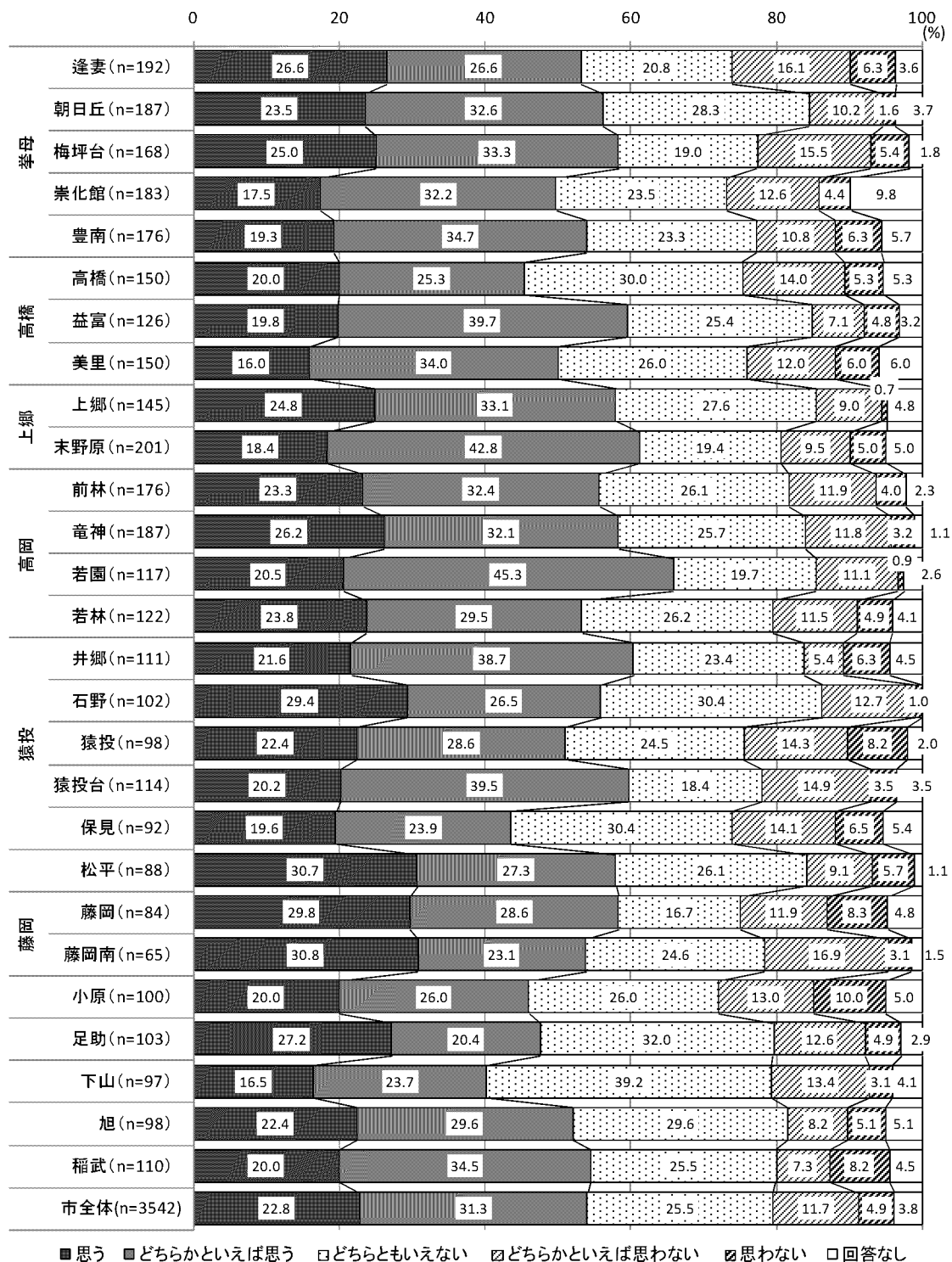
(6)防犯対策の強化

- ・逢妻地域、朝日丘地域及び梅坪台地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、藤岡南地域、若園地域と益富地域でも課題と思う割合が高い。
- ・「どちらかとも言えない」までを含めた場合、保見地域は課題と思う割合が低い。



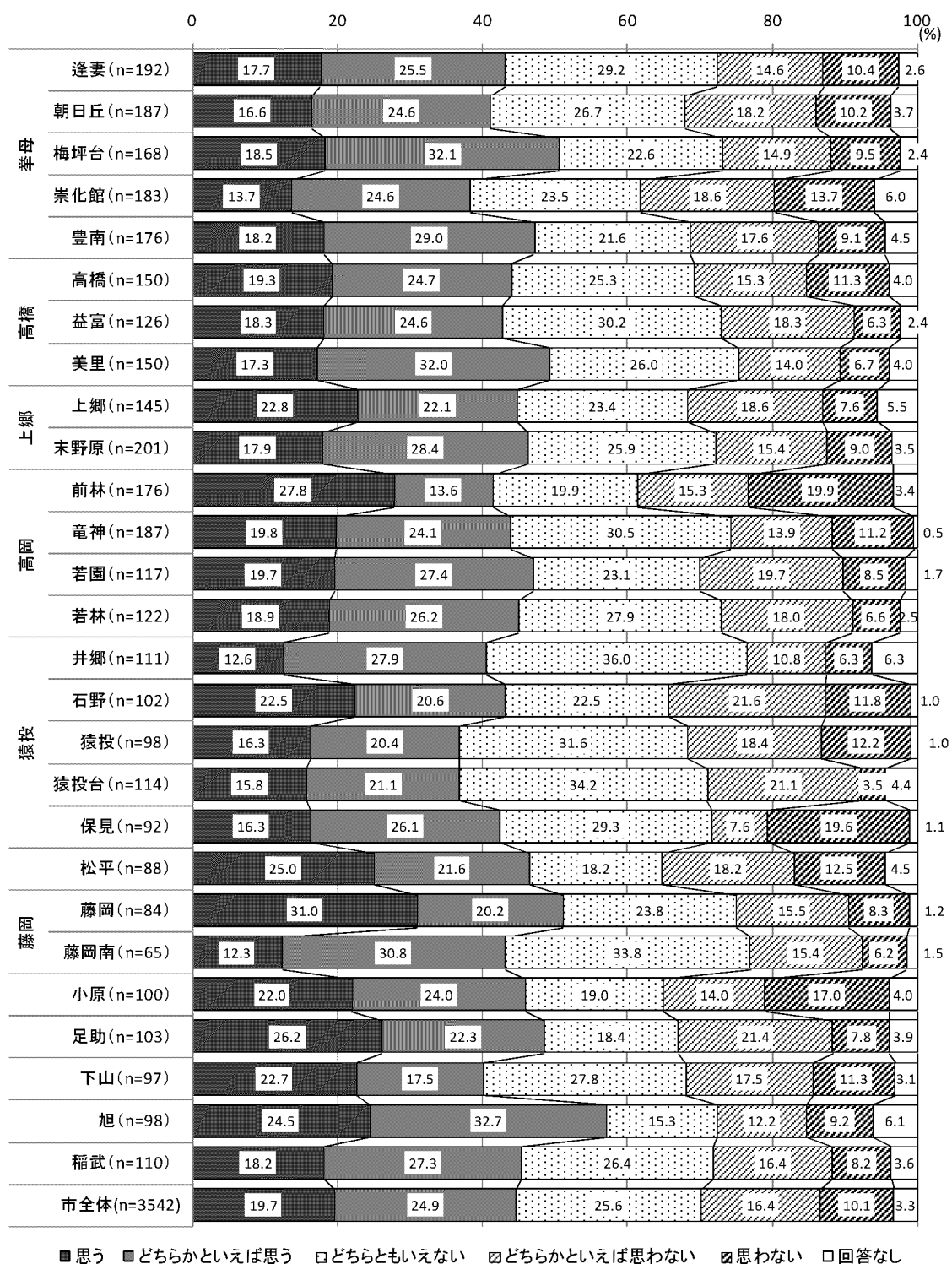
(7)交通安全対策の充実

- ・藤岡南地域、松平地域及び藤岡地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、若園地域、末野原地域及び井郷地域も課題と思う割合が6割以上と高くなっている。
- ・これらの地域で課題と思う割合が高い理由として、高速道路のインターチェンジが付近にある、周辺に自動車関連産業の工場が立地していること等が関係していると考えられる。



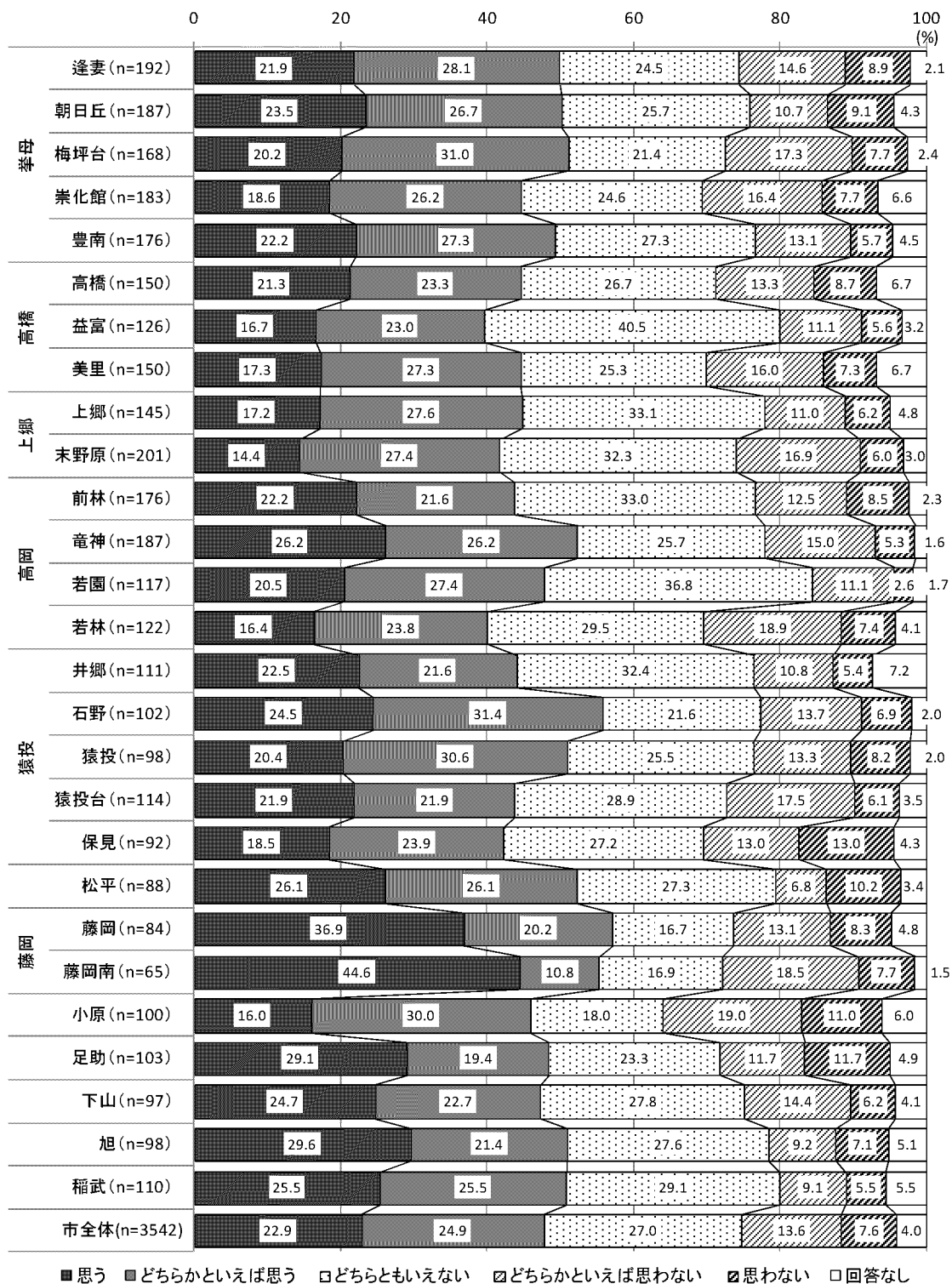
(8)買い物の不便の解消

・藤岡地域、前林地域及び松平地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、旭地域と梅坪台地域も課題と思う割合が高い。



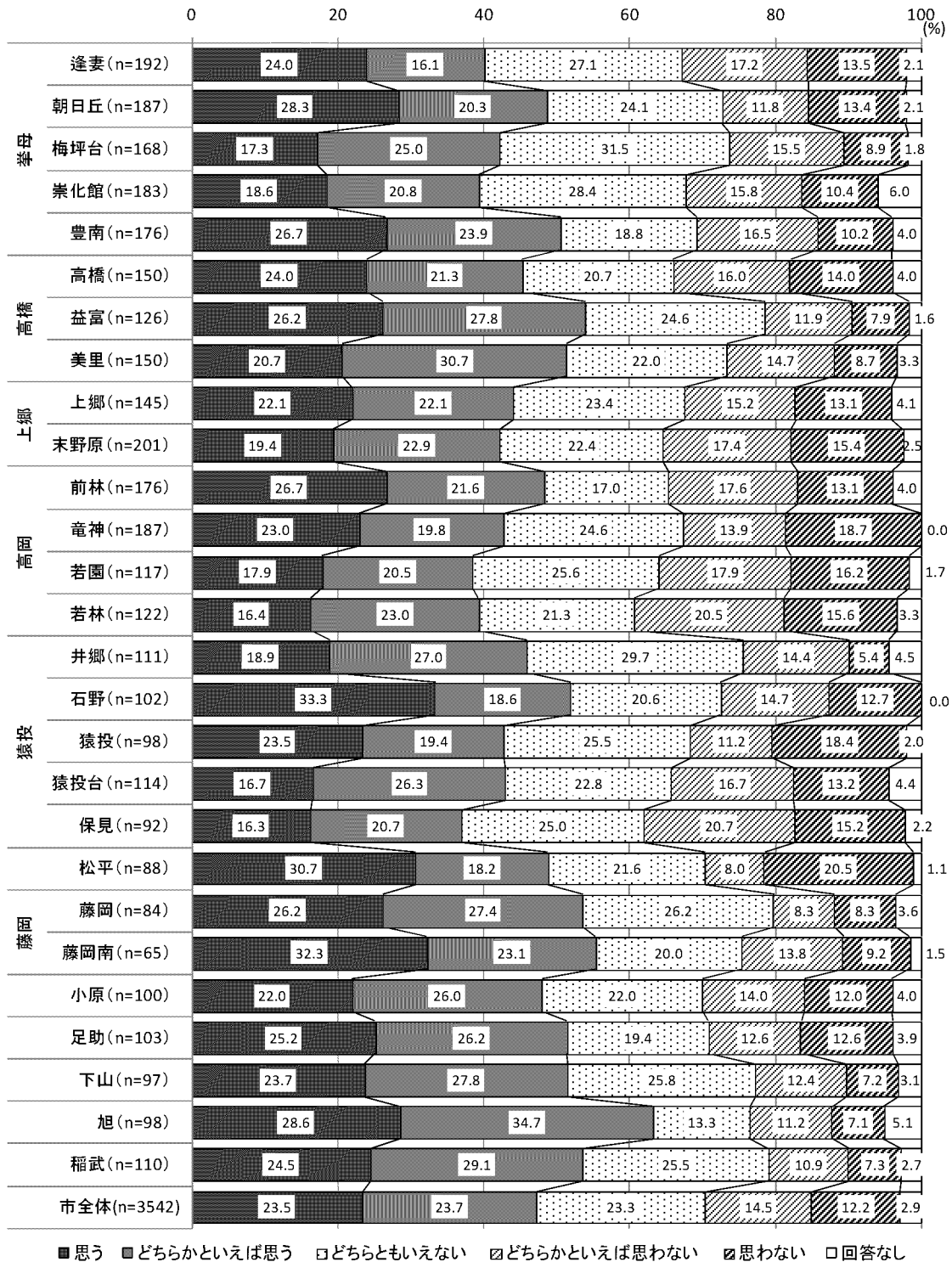
(9)生活道路・交通をスムーズにすること

- ・藤岡南地域と藤岡地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、石野地域も課題と思う割合が高い。
- ・藤岡南地域は、10年後のまちの姿で「道路や公園など居住環境が整ったまち」との回答が多いことから、道路整備による渋滞解消が当地域の課題と考えられる。



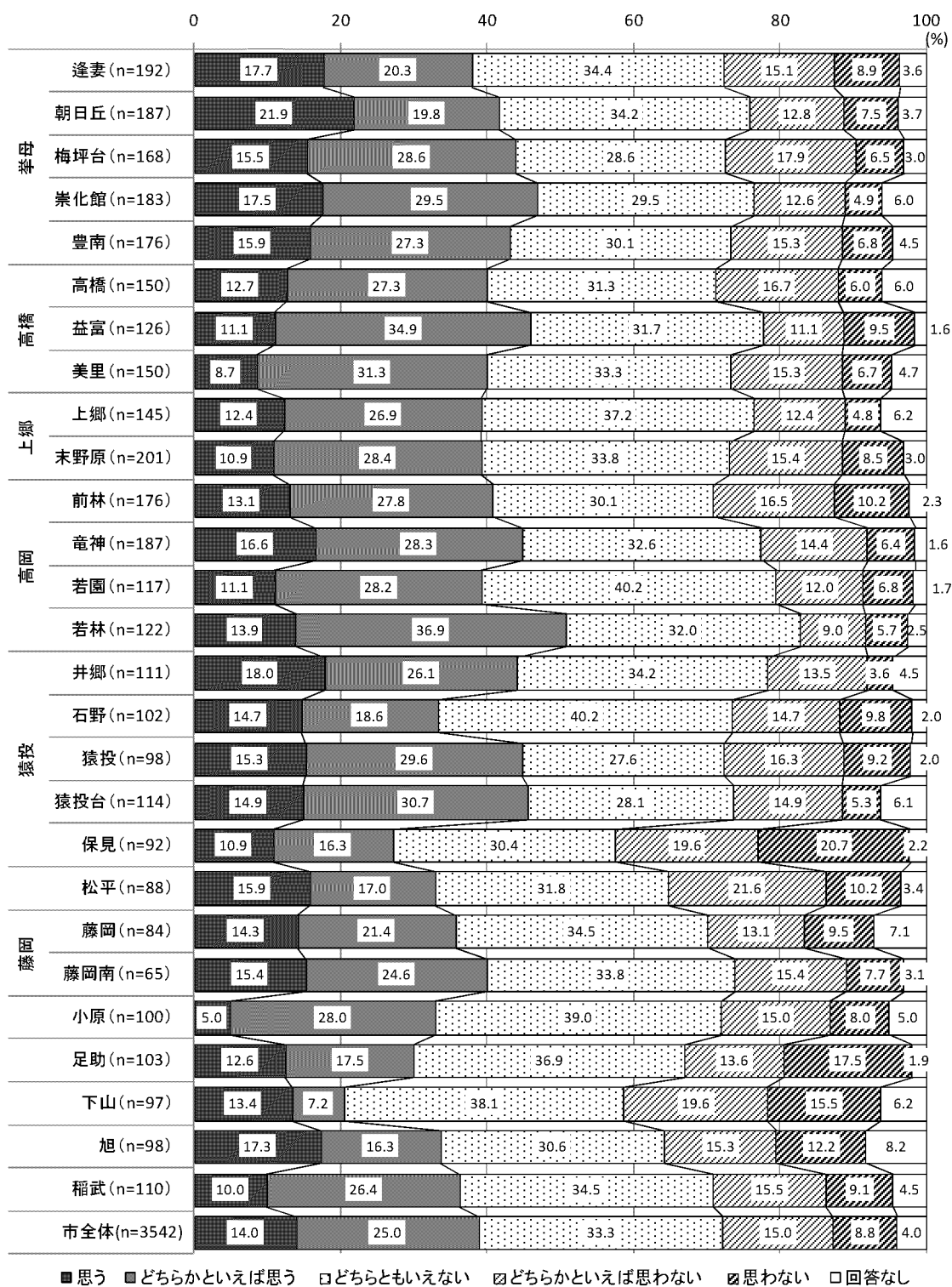
(10)公共交通機関の充実

- ・石野地域、藤岡南地域及び松平地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、旭地域及び益富地域でも課題と思う割合が高い。
- ・旭地域は「どちらかといえば思う」まで含めると課題と思う割合が6割以上であり、多くの人が公共交通機関の充実を課題ととらえていると考えられる。



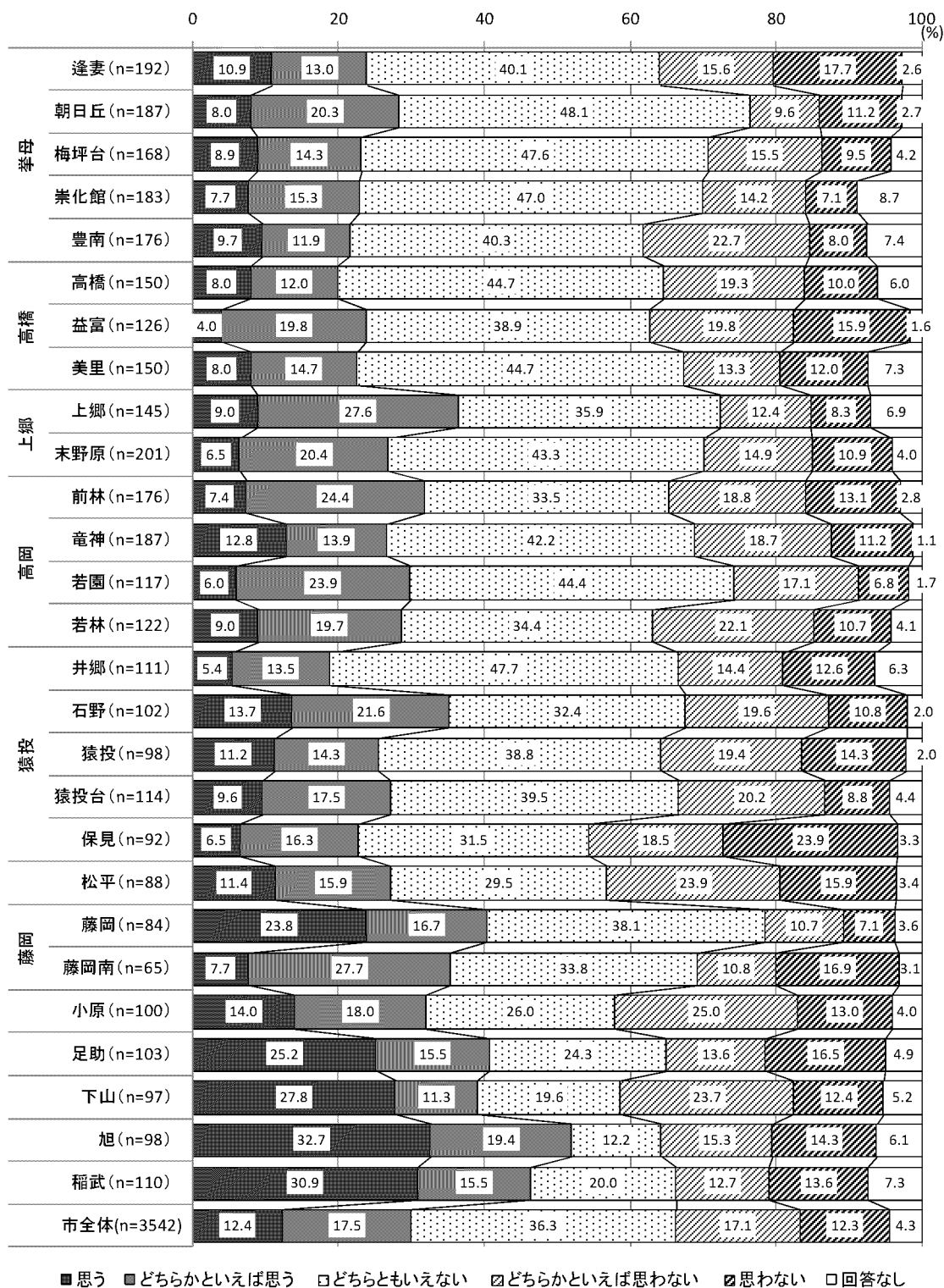
(11)広場、公園などの施設の整備

・朝日丘地域は市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると若林地域、崇化館地域及び益富地域も課題と思う割合が高い。



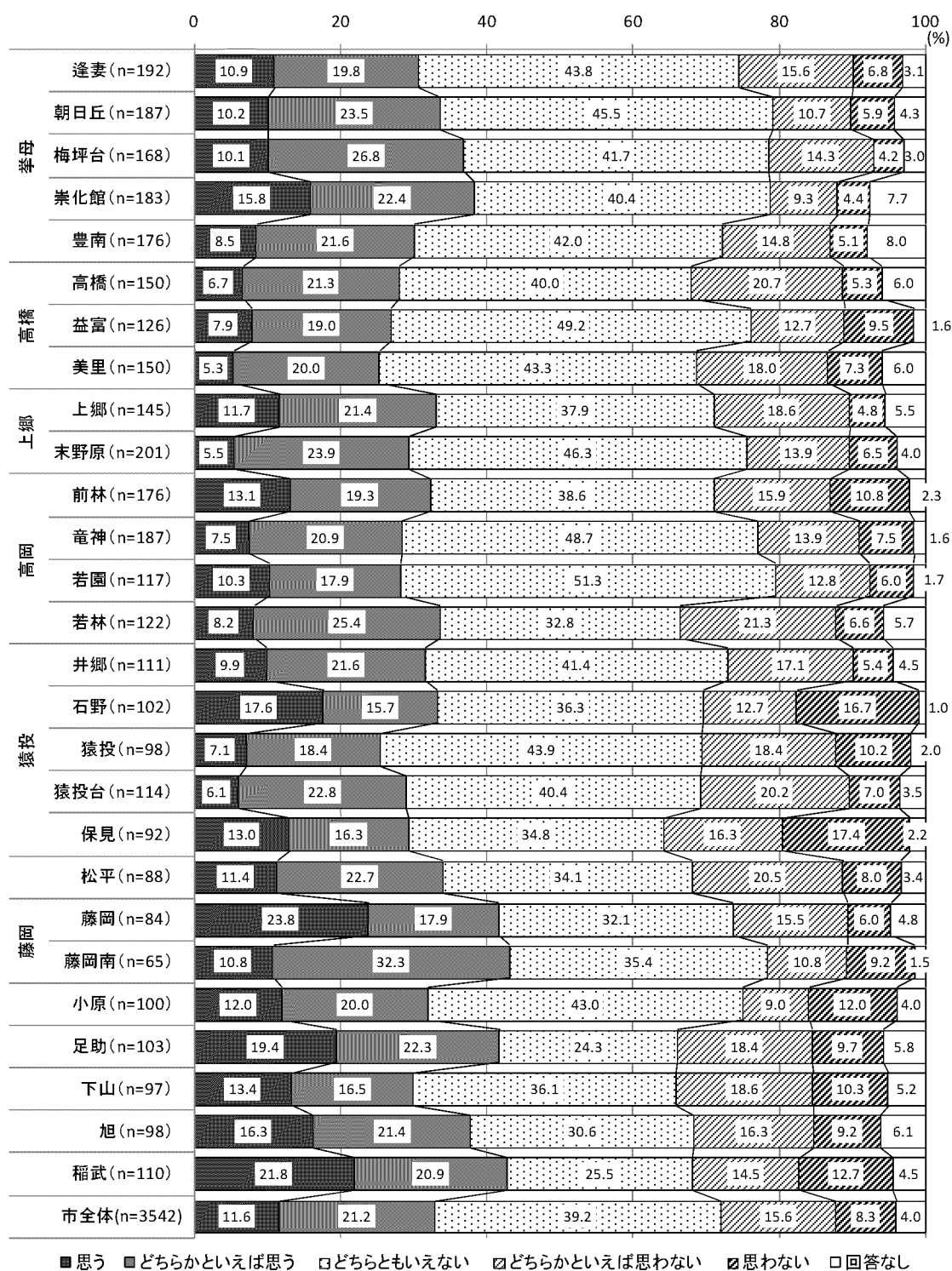
(12)近所での働き口の創出

- 旭地域、稲武地域、下山地域、足助地域及び藤岡地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。旭地域は「どちらかといえば思う」まで含めると課題と思う割合が5割以上である。
- 足助地域、下山地域、旭地域及び稲武地域は10年後のまちの姿で「産業が盛んで、活力と賑わいのあるまち」の回答が多いことから、産業が盛んになり近隣で就労できることを望んでいると考えられる。



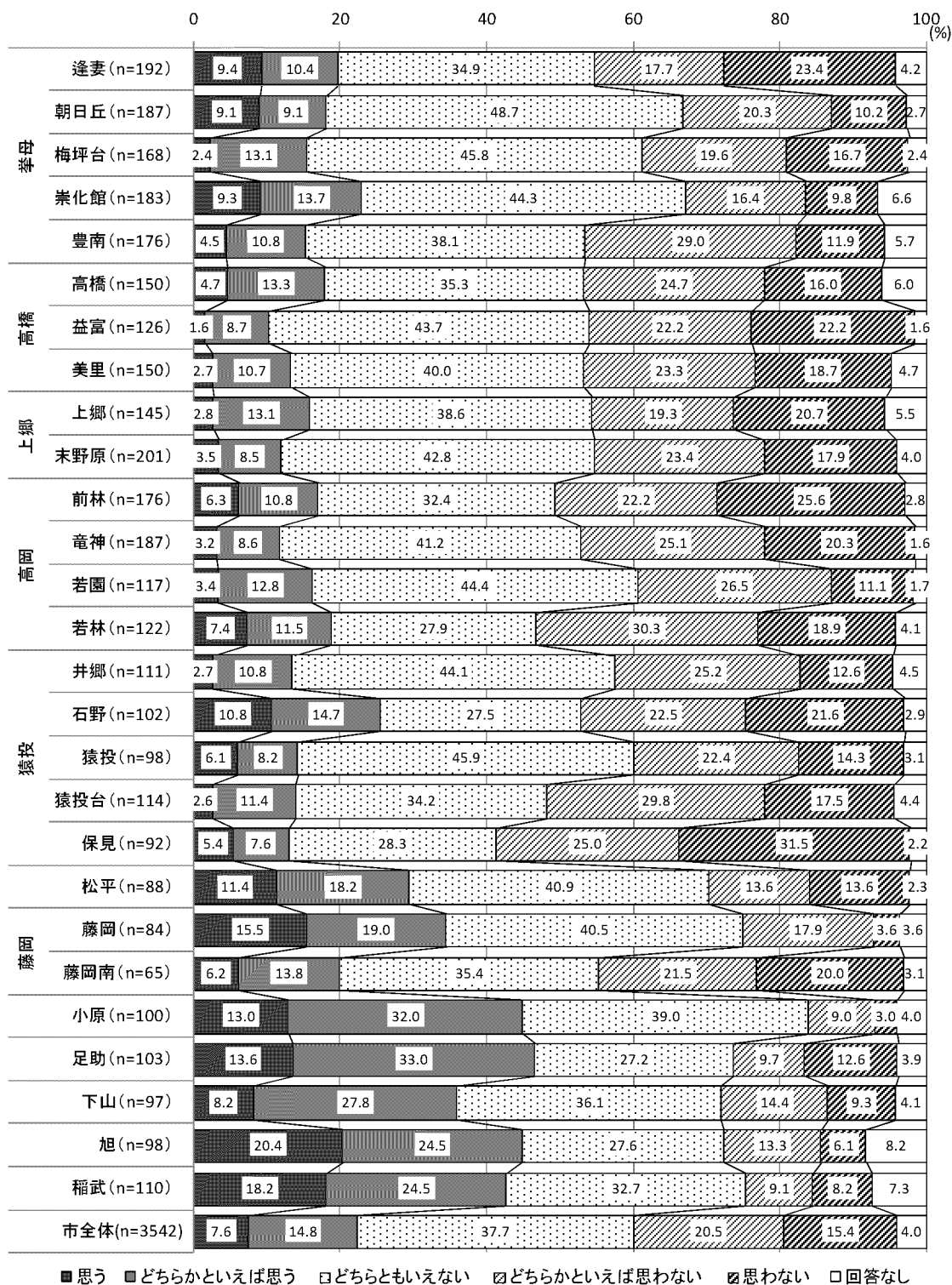
(13)市街地の活性化と魅力づくり

・藤岡地域、稲武地域及び足助地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、藤岡南地域も課題と思う割合が高い。



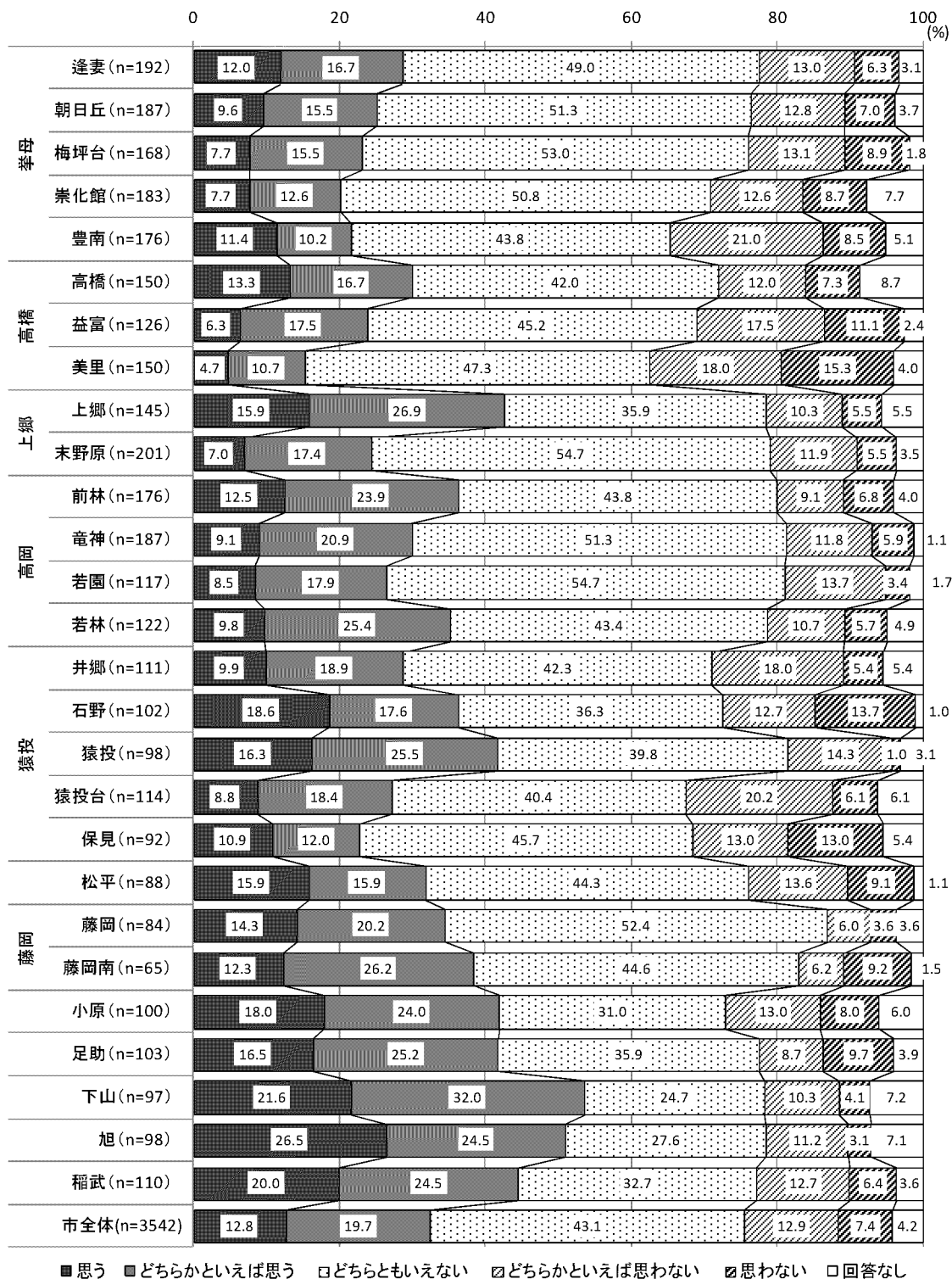
(14)観光によるまちづくりの推進

- ・旭地域、稲武地域及び藤岡地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、足助地域と小原地域も課題と思う割合が高い。
- ・小原地域、旭地域及び稲武地域は10年後のまちの姿で「資源を活かした観光・レクリエーションで人々が集うまち」との回答が多いことから、資源を活かした観光によるまちづくりが望まれると考えられる。



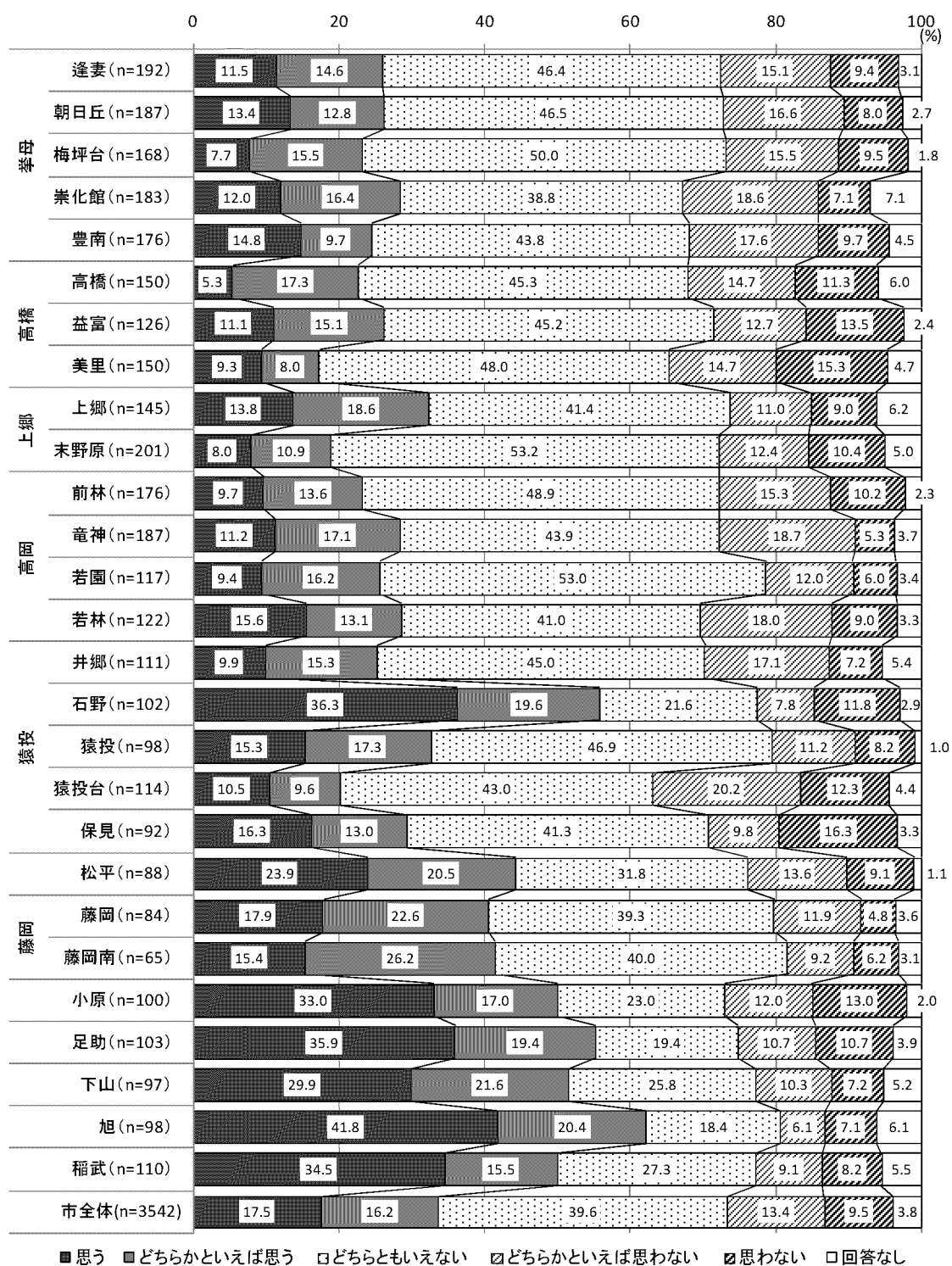
(15)農業・農地を保全すること

・旭地域、下山地域及び稲武地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると上郷地域、猿投地域、小原地域及び足助地域も課題と思う割合が高い。



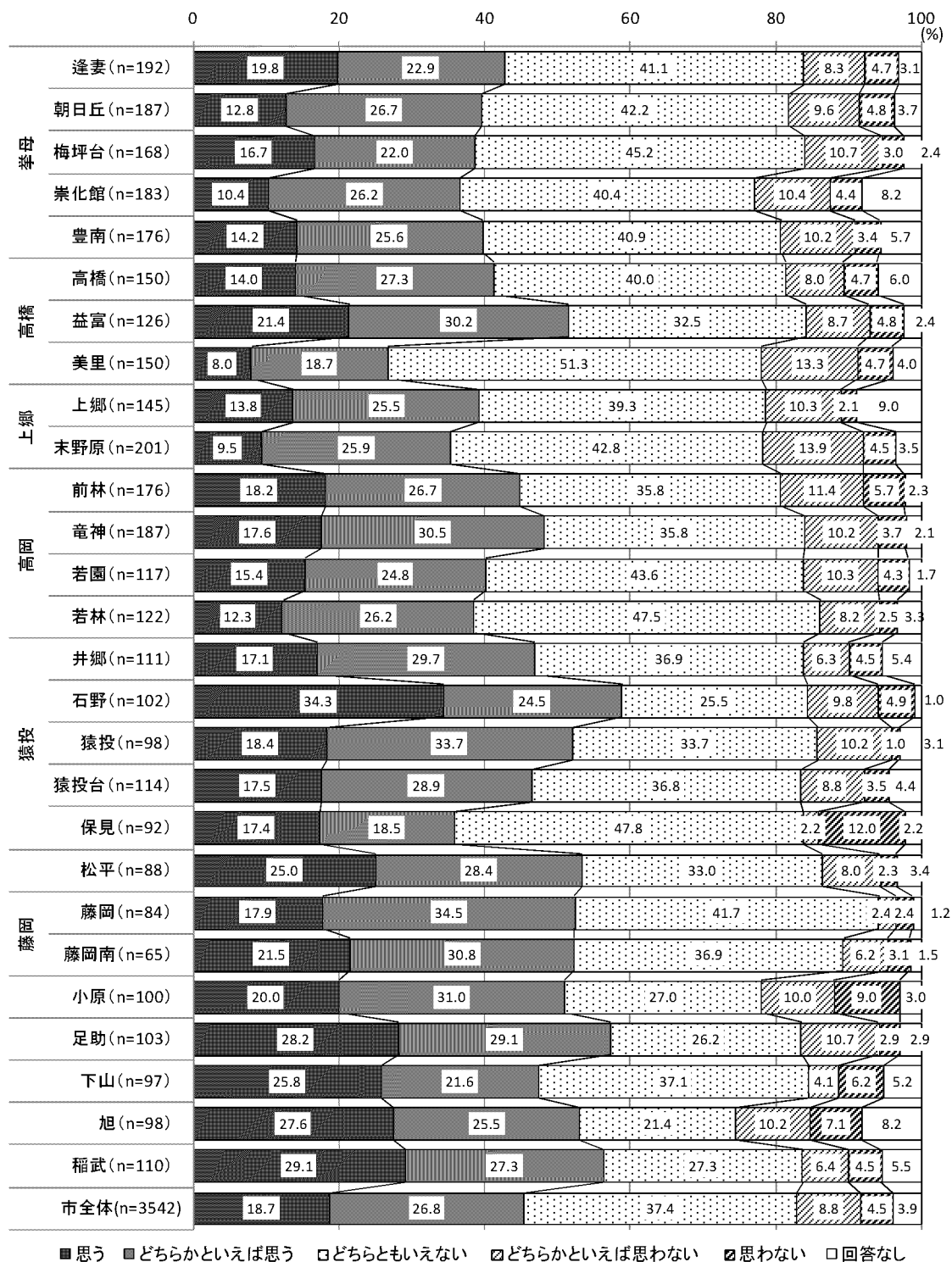
(16)鳥獣害対策の強化

・旭地域、石野地域、足助地域、稲武地域、小原地域及び下山地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。



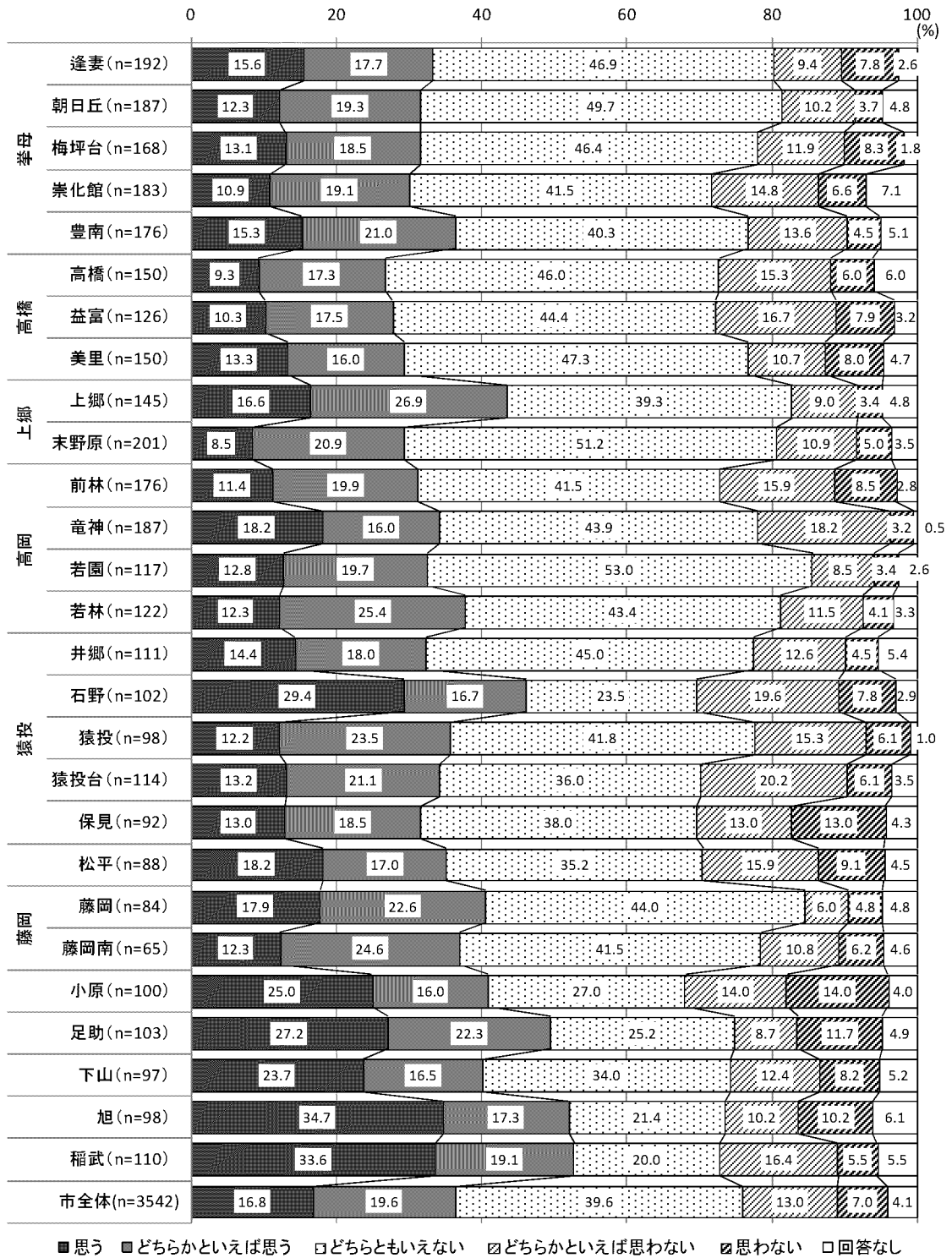
(17)豊かな自然環境の保全

- ・石野地域は市全体と比べて課題と「思う」割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、足助地域と稲武地域も課題と思う割合が高い。
- ・足助地域と稲武地域は10年後のまちの姿で「自然環境が保全され、みどりがあふれるまち」との回答割合が市全体と同程度で高くないことから、現在の自然環境の保全を課題ととらえていると考えられる。



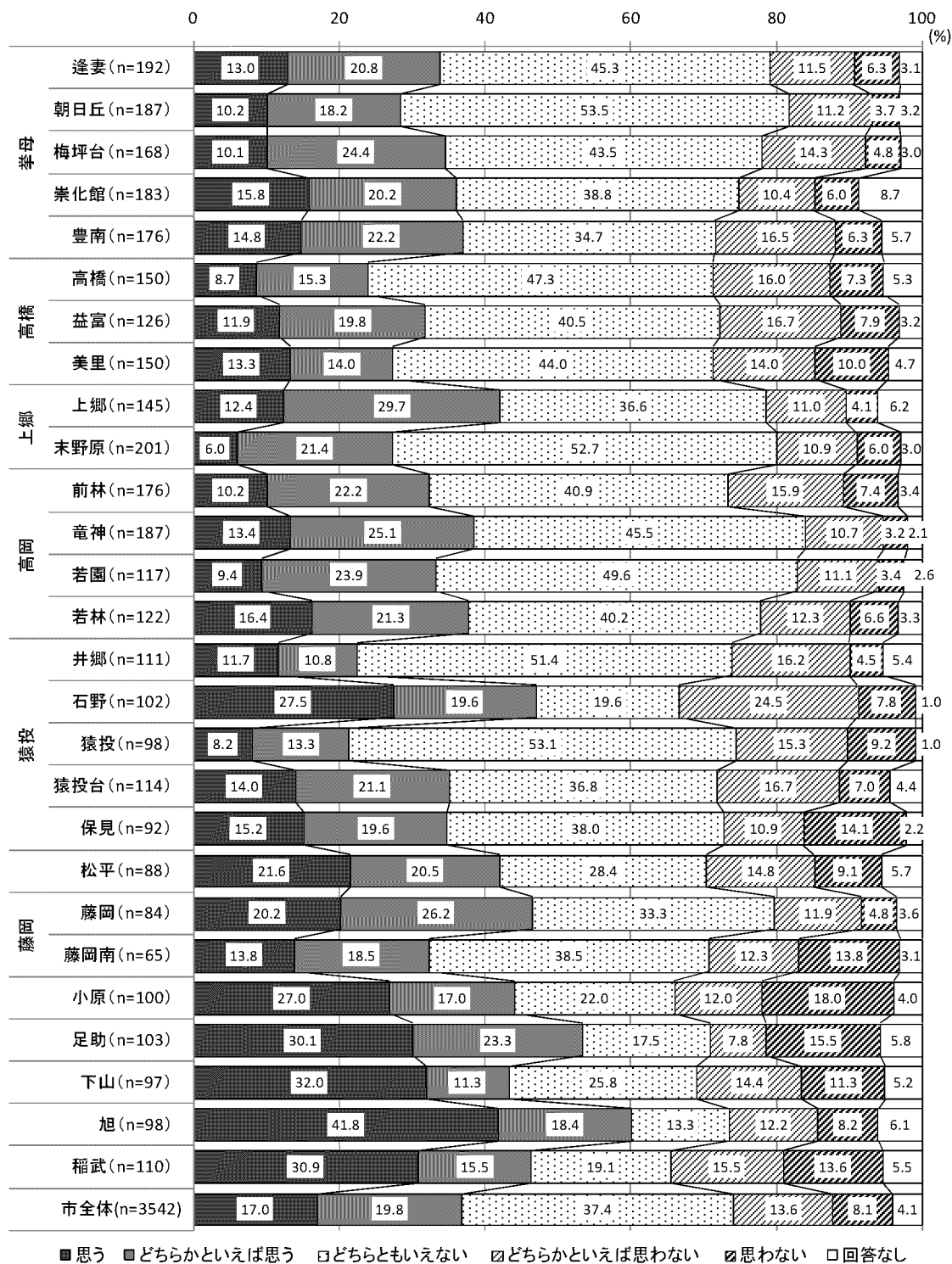
(18)空き家や耕作放棄地の対策の強化

- ・旭地域、稲武地域及び石野地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、足助地域及び上郷地域も課題と思う割合が高い。
- ・平均年齢、平均居住年数がともに高い地域で課題と思う傾向が見られる。



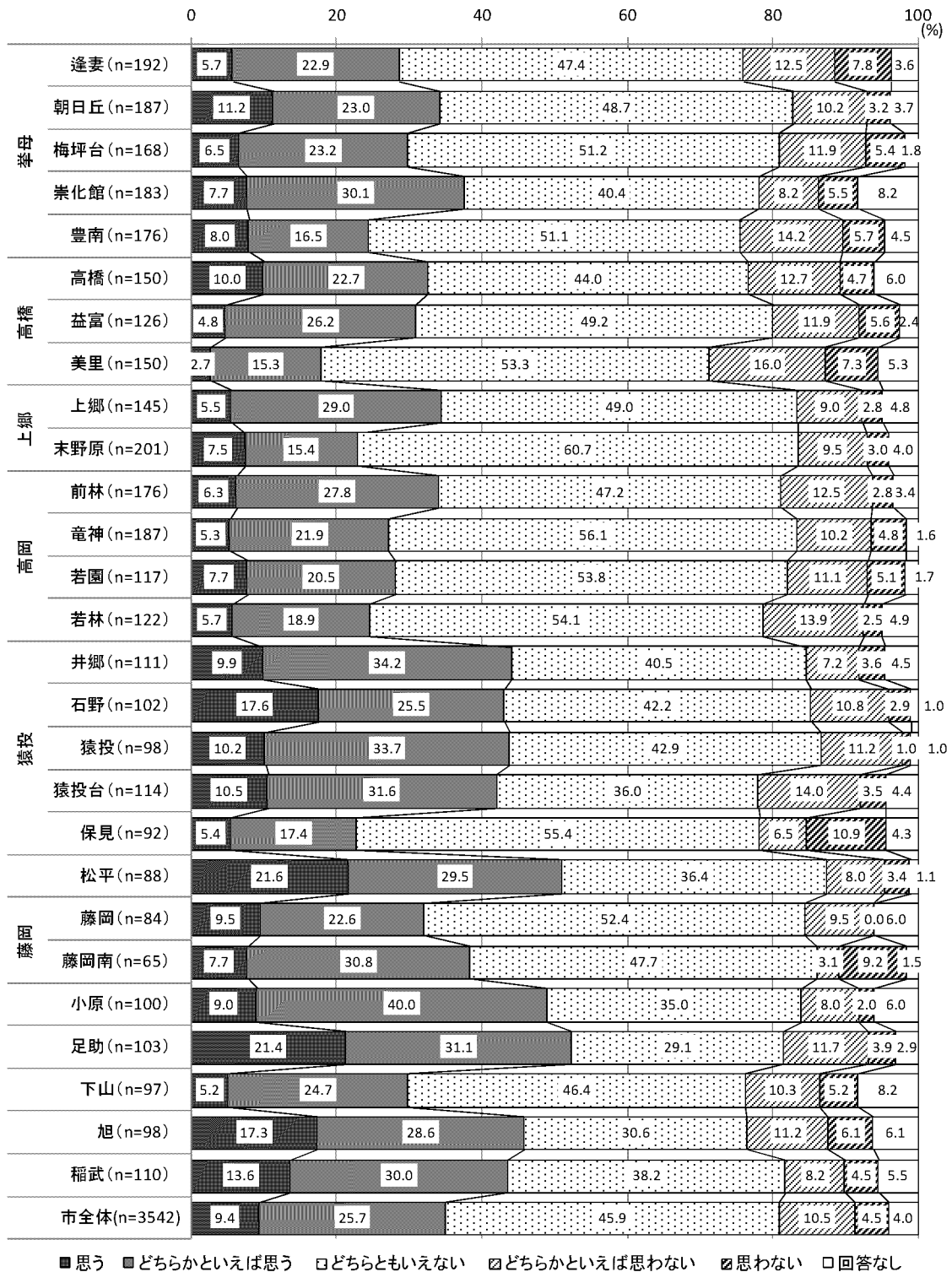
(19)若年層の定住促進策の拡充

- ・旭地域は市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、石野地域、藤岡地域、下山地域、稲武地域、足助地域も課題と思う割合が高い。
- ・平均年齢、平均居住年数がともに高い地域で課題と思う傾向が見られる。



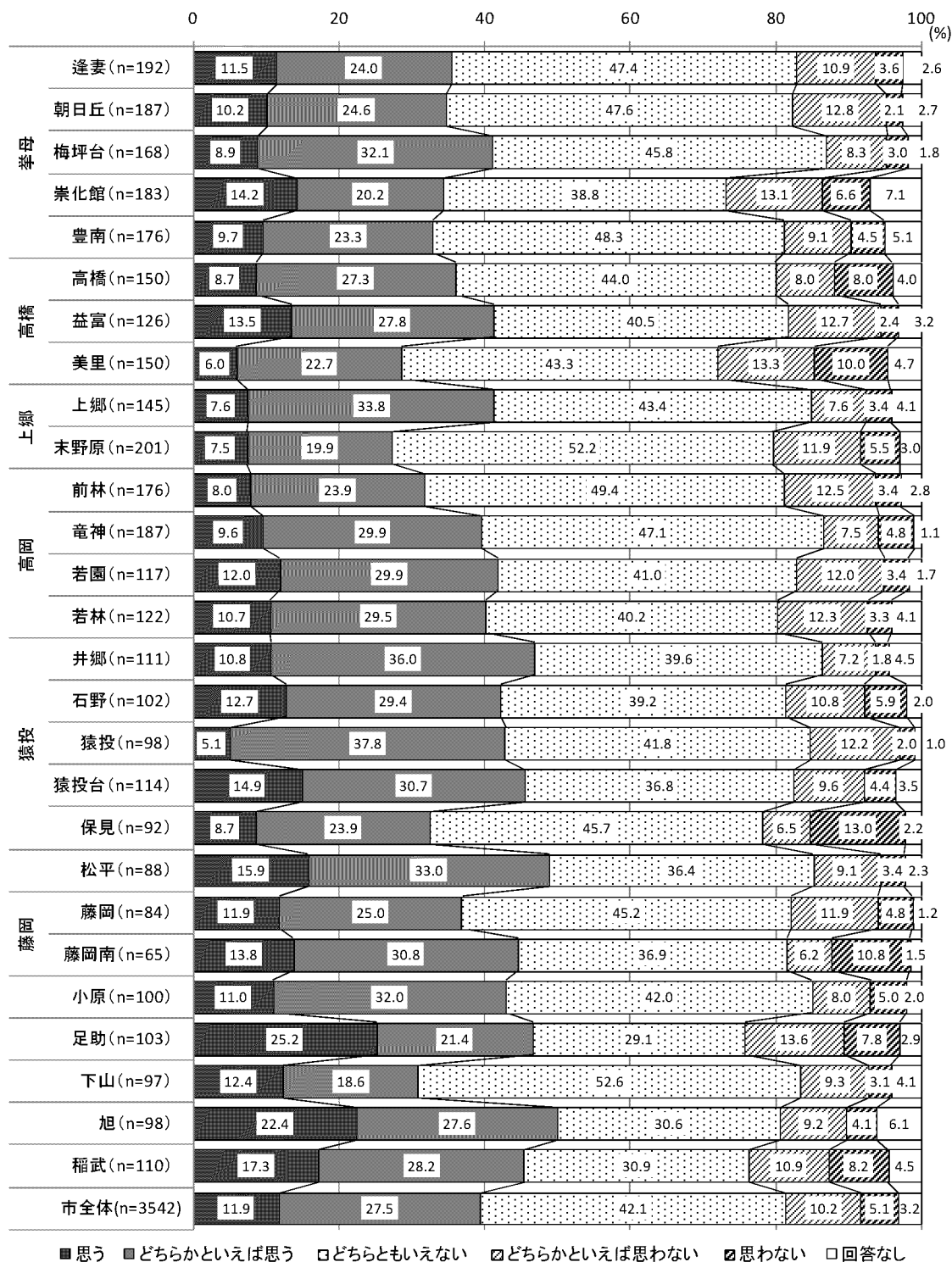
(20)郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生

- ・松平地域、足助地域、石野地域及び旭地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。
「どちらかといえば思う」まで含めると、小原地域も課題と思う割合が高い。
- ・課題と思う割合が特に高い松平地域と足助地域は、地域内に歴史的観光資源があるため、歴史・伝統・文化の保存に対する意識が高く、課題に挙げたと考えられる。
- ・足助地域、松平地域及び小原地域は、10年後のまちの姿で「伝統文化や史跡・文化財を大切に守り伝えるまち」との回答割合が市全体と比べて高く、伝統文化や文化財等を守り伝えるまちづくりが望まれており、歴史・伝統等の保存・再生が課題と考えられる。



(21)住民同士の交流の場や機会の充実

- ・足助地域と旭地域は、市全体と比べて課題と「思う」との割合が高い。「どちらかといえば思う」まで含めると、松平地域と井郷地域も課題と思う割合が高い。
- ・足助地域と旭地域は 10 年後のまちの姿で「地域活動が盛んで、ふれあいや交流が活発なまち」との回答割合も高いことから、住民同士の交流が活発なまちづくりが望まれていると考えられる。



他地域と比べて課題・問題点と思う割合が高い項目を抽出すると下表のようになる。

高齢者の生きがいづくりの場の充実、福祉対策の充実、医療の充実など福祉に関する内容については、松平、藤岡、足助、旭地域で課題と思う傾向が見られる。

交通安全対策の推進、公共交通機関の充実など交通に関する課題は、松平、藤岡及び藤岡南地域で課題と思う傾向がある。買い物の不便の解消も藤岡地域と松平地域で課題と思う傾向がある。

農業・農地を保全すること、鳥獣害対策の推進などの農林業・自然に関する課題は、石野地域で課題と思う割合が高い。また、若年層の定住促進策の拡充、空き家や耕作放棄地の対策の強化、近所での働き口の創出は、旭地域、稲武地域、足助地域で課題と思う割合が高い。

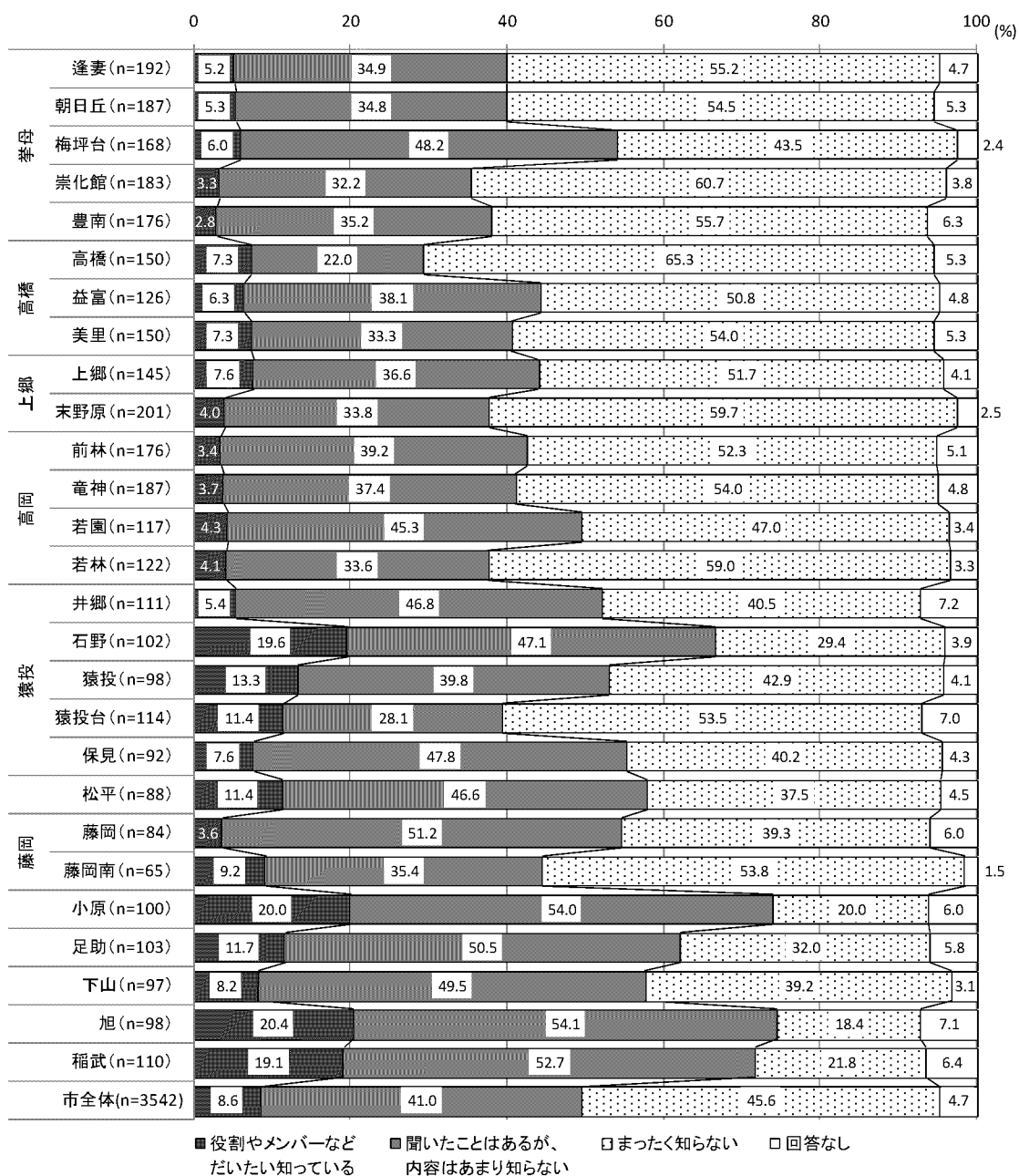
課題・問題点	地域	逢妻	朝日丘	梅坪台	崇化館	豊南	高橋	益富	美里	上郷	末野原	前林	竜神	若園	若林	井郷	石野	猿投	猿投台	保見	松平	藤岡	藤岡南	小原	足助	下山	旭	稲武
(1)高齢者の生きがいづくりの場などの充実																					●				●	○	●	
(2)福祉対策の充実																	○				●	●					●	○
(3)子育ての支援の充実				○				○		○			○														●	
(4)医療の充実				●		○						●										●			●		●	
(5)防災対策の充実																						●			●		●	
(6)防犯対策の強化	●	●	●					○						○									○					
(7)交通安全対策の推進											○			○		○					●	●	●					
(8)買い物の不便の解消				○								●									●	●						○
(9)生活道路・交通をスムーズにすること																	○					●	●					
(10)公共交通機関の充実								○									●				●	●					○	
(11)広場、公園などの施設の整備		●			○			○							○													
(12)近所での働き口の創出																										●	●	●
(13)市街地の活性化と魅力づくりの推進																						●	○		●			●
(14)観光によるまちづくりの推進																						●		○	○		●	●
(15)農業・農地を保全すること										○								○						○	○	●	●	●
(16)鳥獣害対策の強化																	●							●	●	●	●	●
(17)豊かな自然環境の保全																	●								○			○
(18)空き家や耕作放棄地の対策の強化										○							●								○		●	●
(19)若年層の定住促進策の拡充																	○					○			○	○	●	○
(20)郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生																	●				●			○	●		●	
(21)住民同士の交流の場や機会の拡充																○					○				●		●	

●：課題であると「思う」の割合が高い
○：課題であると「思う」もしくは「どちらかといえば思う」との割合が高い。

■地域会議、わくわく事業などの認知度

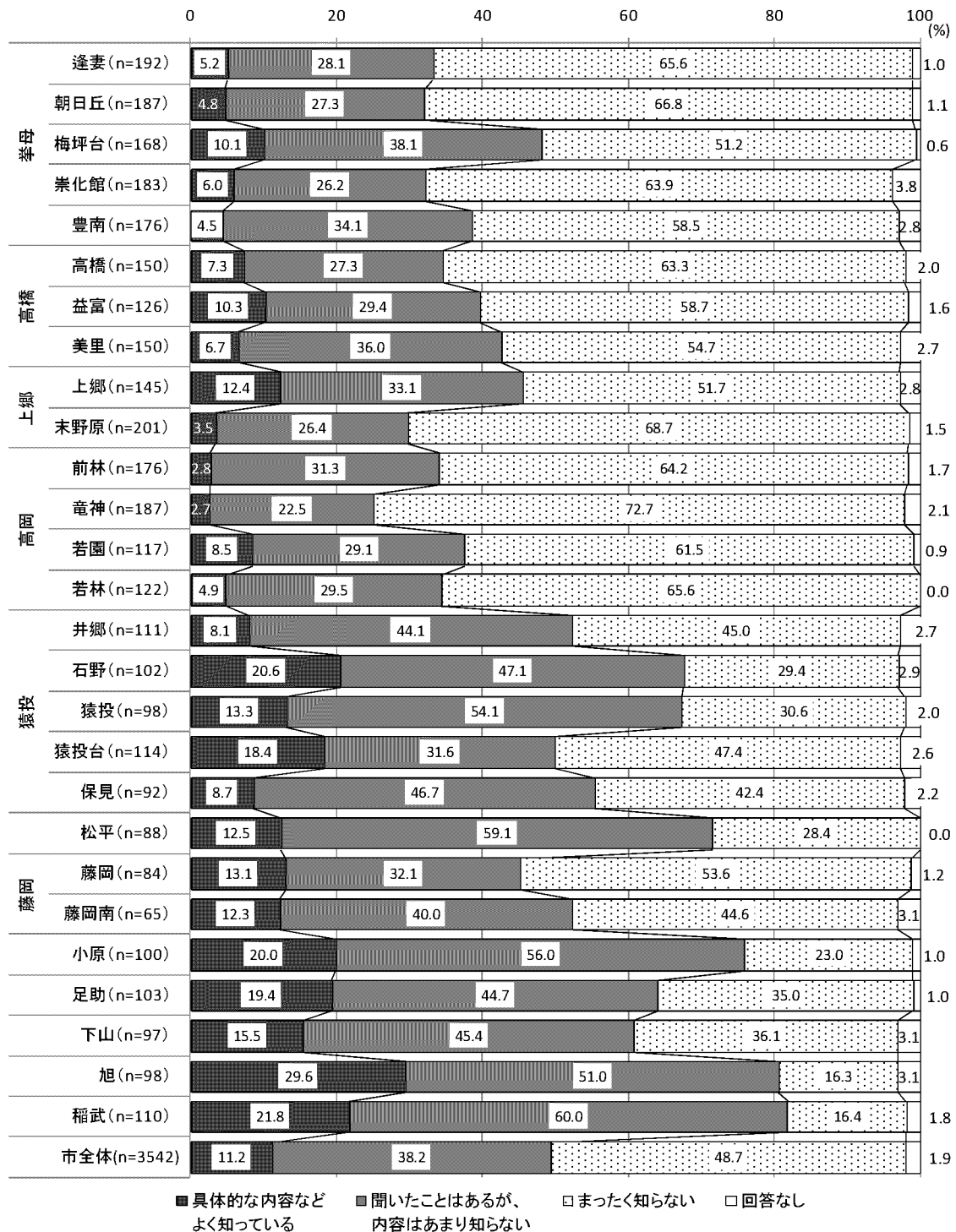
問 11 「地域会議」についてどの程度知っているか

- ・旭地域、小原地域、石野地域及び稲武地域は、他の地域と比べて「役割やメンバーなどだいたい知っている」割合が他の地域と比べて高く、周知が進んでいる地域と言える。
- ・高橋地域、崇化館地域、末野原地域及び若林地域では「まったく知らない」の割合が約 6 割であり、周知が十分とは言えない。



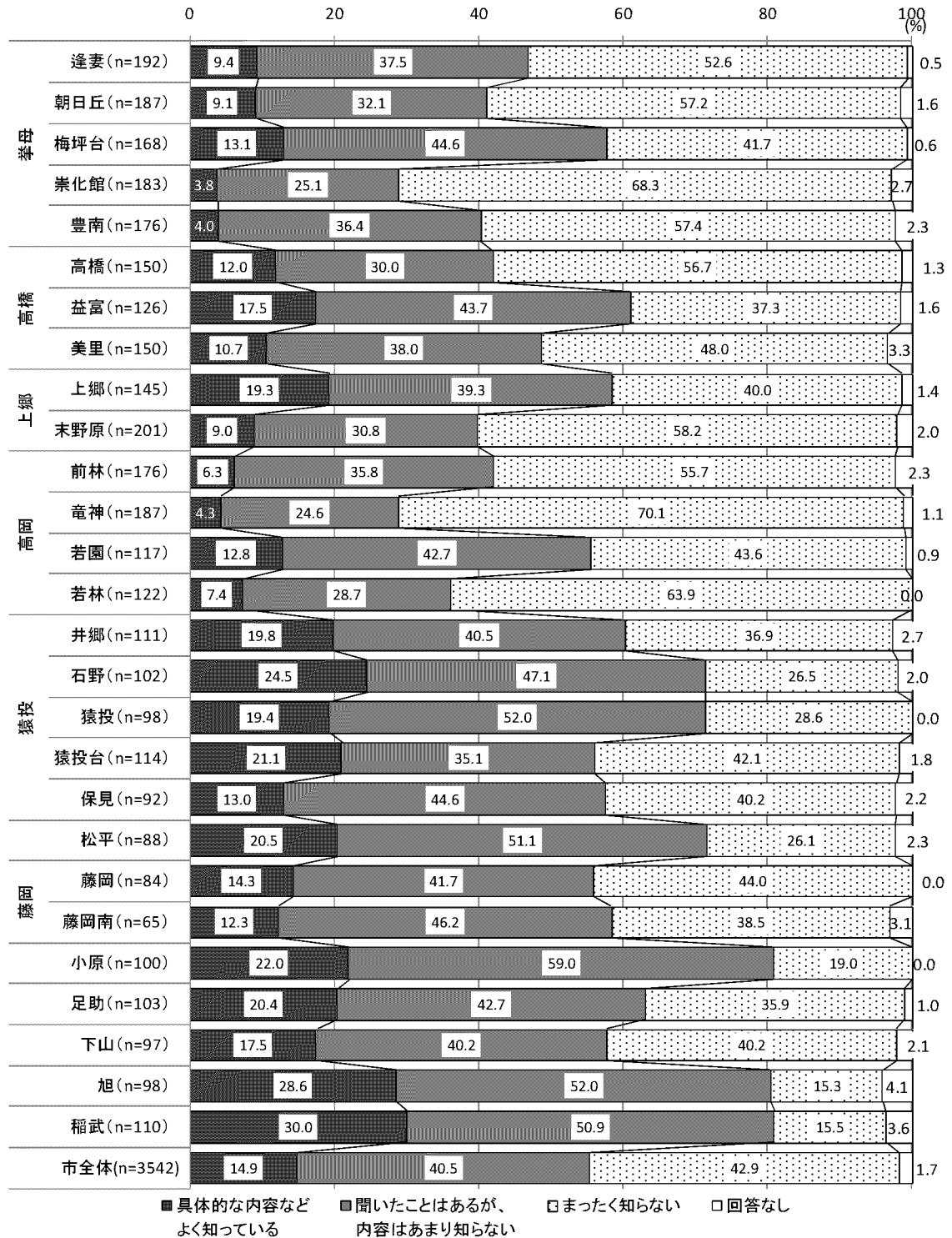
問 14 「わくわく事業」についてどの程度知っているか

- ・旭地域、稲武地域、石野地域、小原地域及び足助地域で「具体的な内容などよく知っている」との割合が高く、周知が進んでいる地域と言える。
- ・竜神地域、末野原地域、朝日丘地域、逢妻地域及び若林地域、「まったく知らない」が6割半ば以上であり、周知が十分であるとは言えない。



問 16 「地域のわくわく事業」の活動についてどの程度知っているか

- ・ 稲武地域、旭地域及び石野地域は他の地域と比べて「具体的な内容などよく知っている」割合が高く、周知が進んでいる地域と言える。
- ・ 竜神地域、崇化館地域及び若林地域は、「まったく知らない」が6割以上であり、周知が十分であるとは言えない。

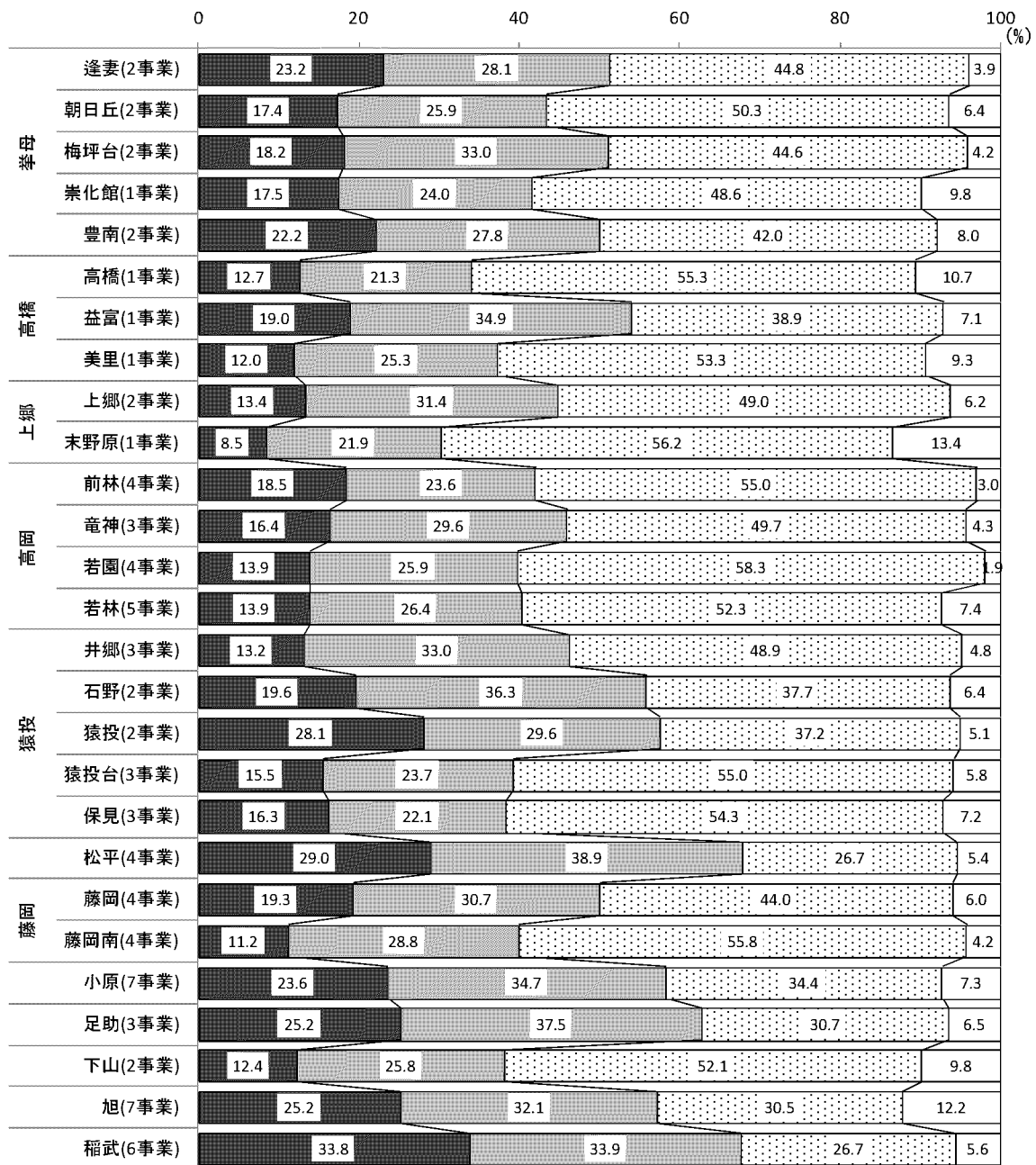


問 18 地域で取り組んでいる「地域予算提案事業」について

①活動していることをどの程度知っているか

各事業の活動の認知度については、地域版で集計しているため、ここでは活動の認知について地域ごとに平均をとり、地域単位での集計・分析を行う。

- ・稲武地域、松平地域及び猿投地域は、他の地域と比べて「知っている」割合が高く、周知が進んでいる地域と言える。
- ・若園地域、末野原地域、藤岡南地域、高橋地域及び猿投台地域は、「まったく知らない」割合が5割半ば以上であり、周知が十分とは言えない。

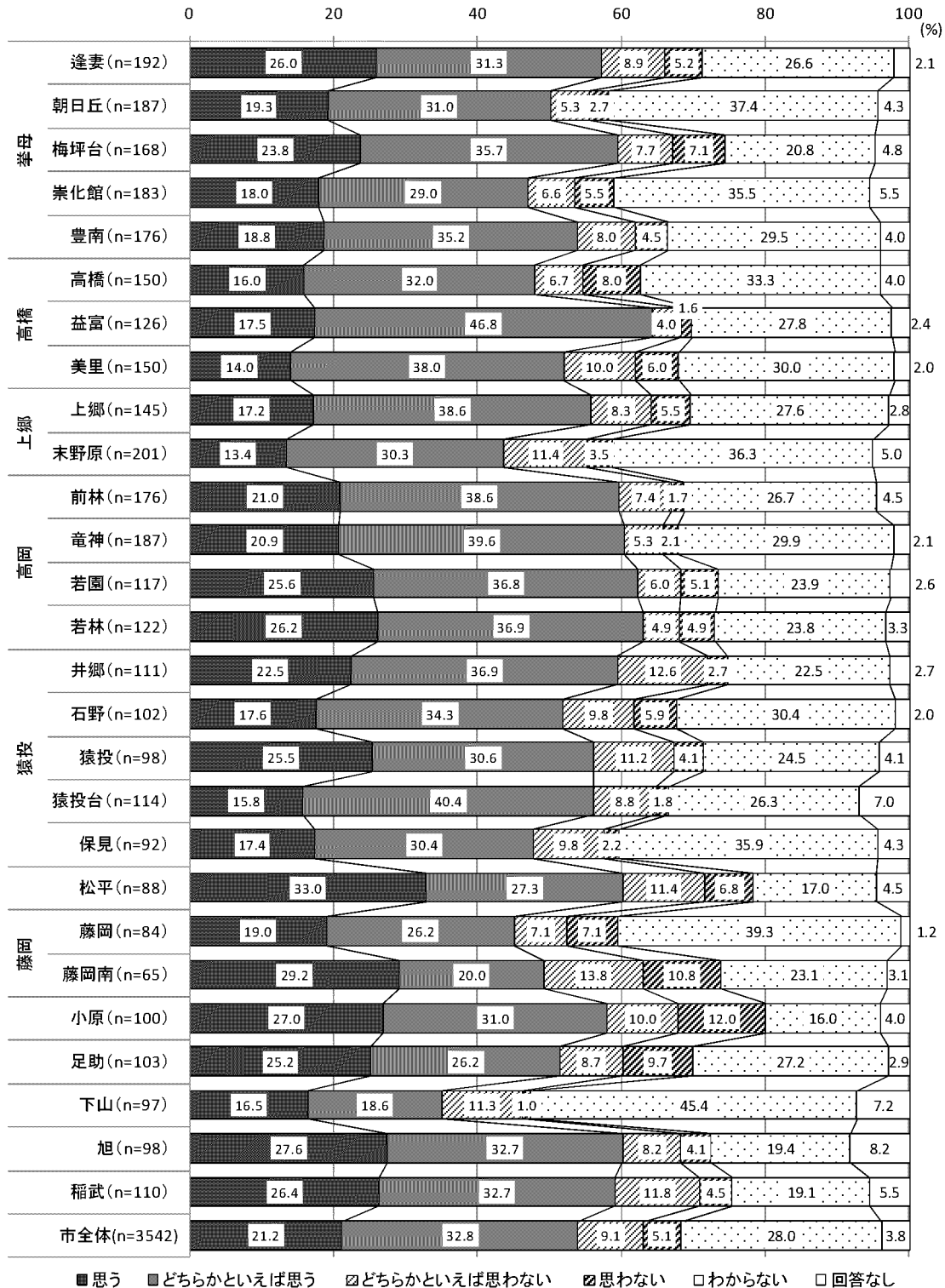


■知っている □聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

■地域の地域予算提案事業の主旨

問 19 当該地域のみを対象として事業を実施する制度が、地域の課題解決に効果的・効率的であると思うか

- ・益富、竜神、若園、若林、松平、旭及び稲武地域では、効果的と「思う」もしくは「どちらかといえば思う」との割合が6割以上であり、この制度が地域に貢献していると考えられる。
- ・下山地域では効果的・効率的と思う割合が他の地域より低い。

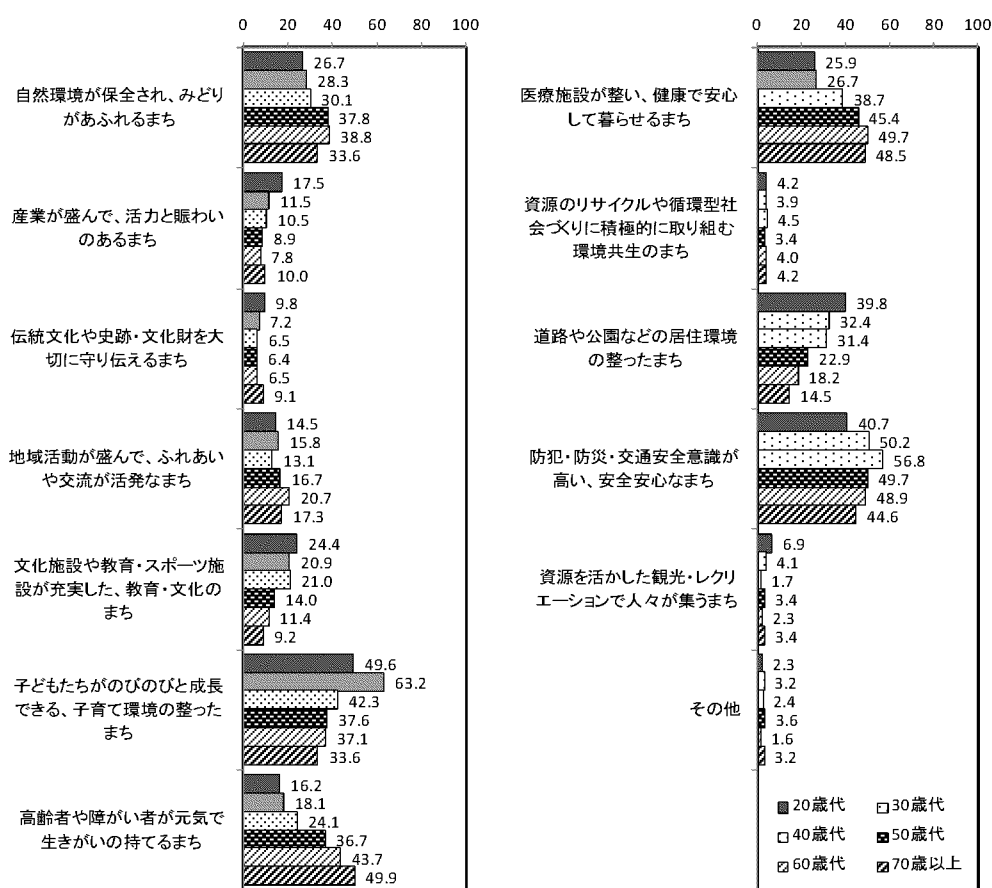


7-4. 年齢によるクロス集計結果

■地域のまちづくり全般

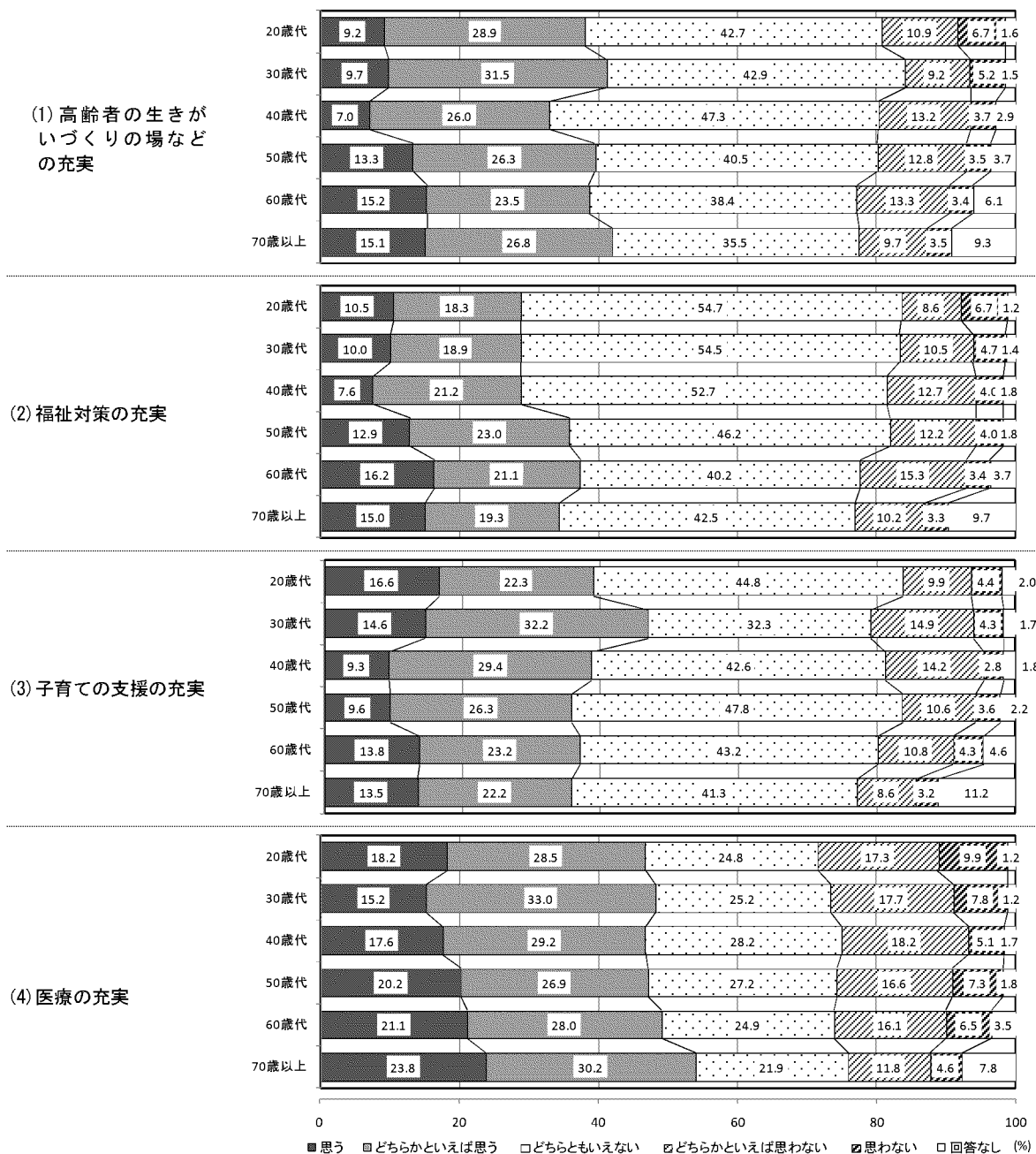
問5 10年後にどのようなまちになればよいと思うか

- ・年齢が上がるにつれて「自然環境が保全され、みどりがあふれるまち」、「高齢者や障がい者が元気で生きがいの持てるまち」、「医療施設が整い、健康で安心して暮らせるまち」を望む傾向が見られる。
- ・一方、年齢が若くなるにつれて「子どもたちがのびのびと成長できる、子育て環境の整ったまち」、「道路や公園などの居住環境の整ったまち」、「文化施設や教育・スポーツ施設が充実した、教育・文化のまち」を望む傾向が見られる。

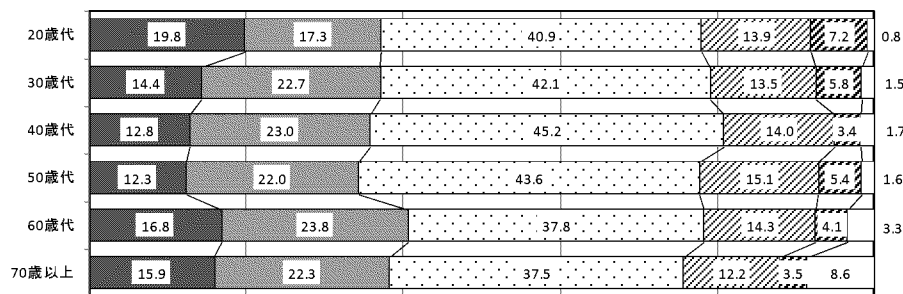


問9 地域の課題や問題点

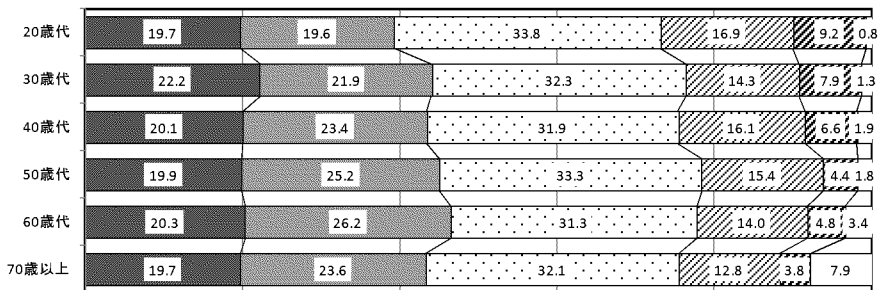
- ・「医療の充実」と「交通安全対策の推進」は、全ての年齢層で課題と思う割合が高い。
- ・「医療の充実」、「買い物の不便の解消」、「農業・農地を保全すること」、「鳥獣害対策の強化」、「豊かな自然環境の保全」、「空き家や耕作放棄地の対策の強化」、「若年層の定住促進策の拡充」、「郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生」及び「住民同士の交流の場や機会の拡充」は、年齢が上がるにつれて課題であると思う割合が高くなる傾向が見られる。
- ・「生活道路・交通をスムーズにすること」は20歳代で、「子育て支援の充実」は30歳代で、「福祉対策の充実」は50歳代以上で、課題であると思う割合が高くなっており、それぞれの世代に特徴的な課題と考えられる。



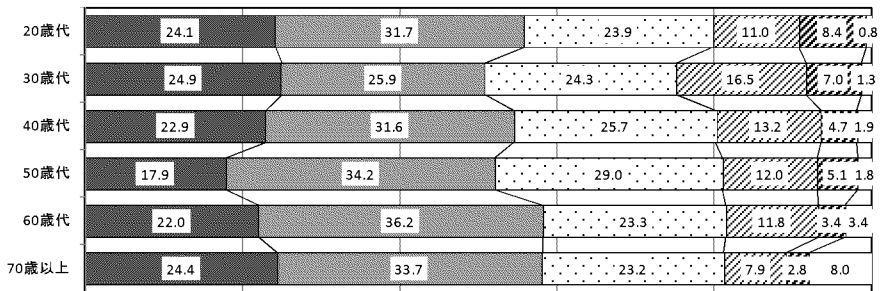
(5) 防災対策の充実



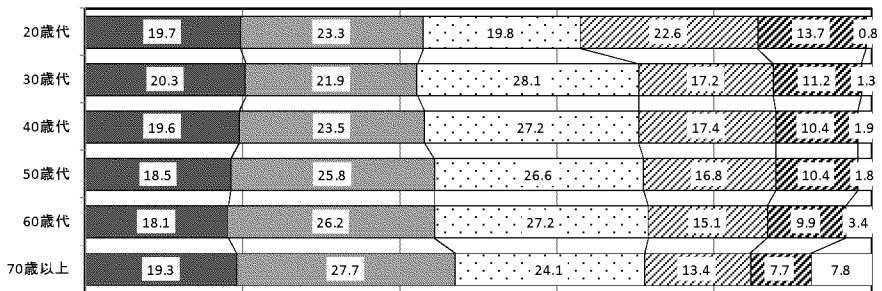
(6) 防犯対策の強化



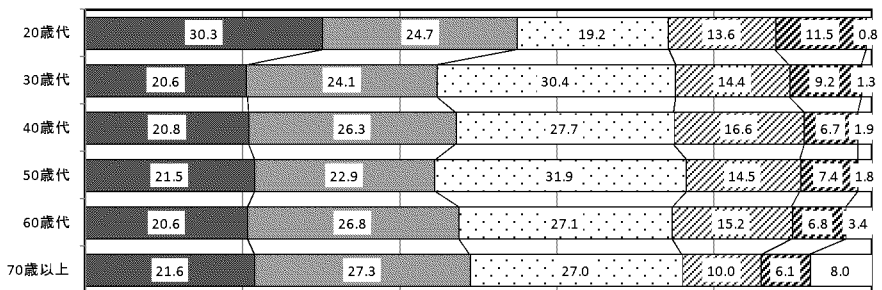
(7) 交通安全対策の推進



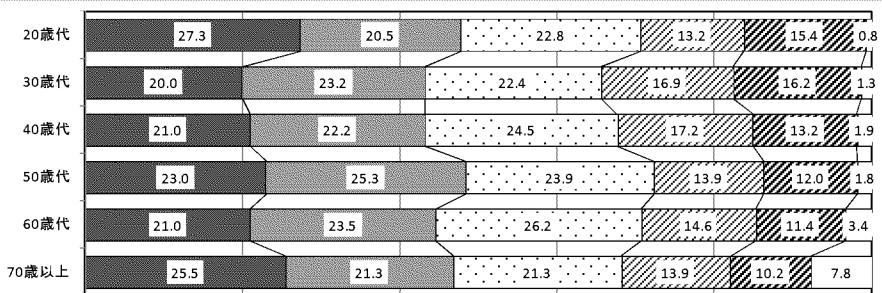
(8) 買い物の不便の解消



(9) 生活道路・交通をスムーズにすること

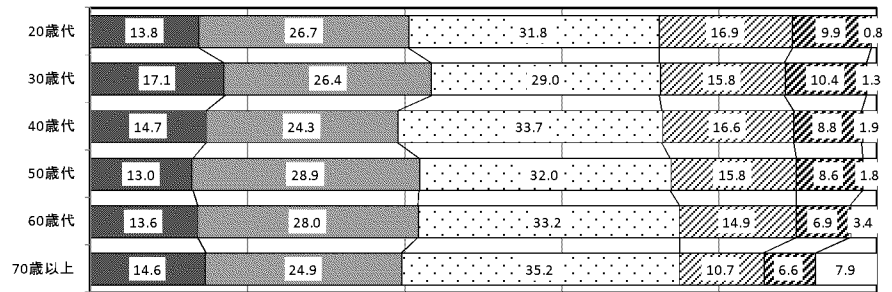


(10) 公共交通機関の充実

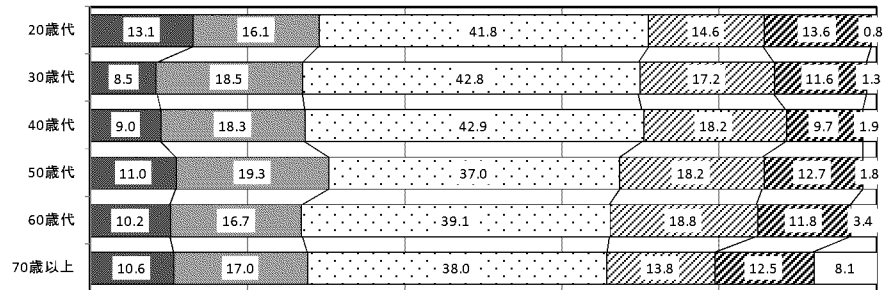


0 20 40 60 80 100
 ■思う □どちらかといえば思う □どちらともいえない □どちらかといえば思わない ■思わない □回答なし (%)

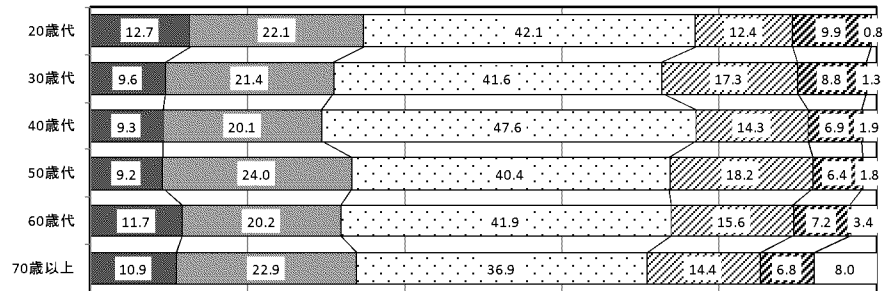
(11) 広場、公園などの施設の整備



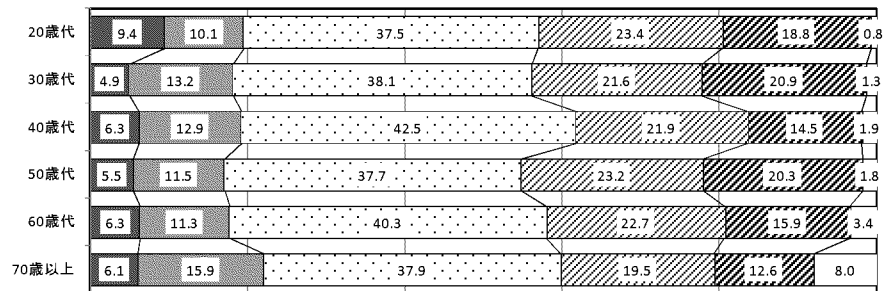
(12) 近所での働き口の創出



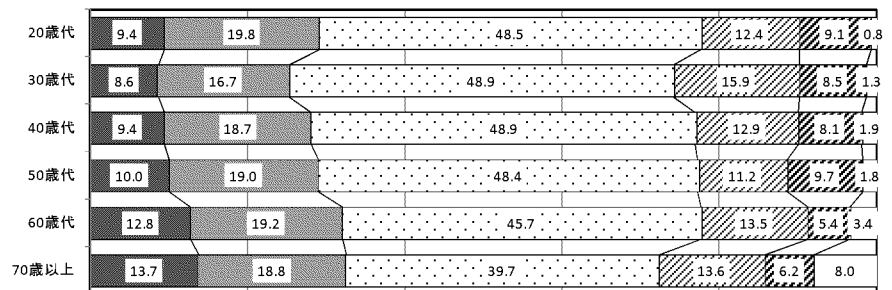
(13) 市街地の活性化と魅力づくりの推進



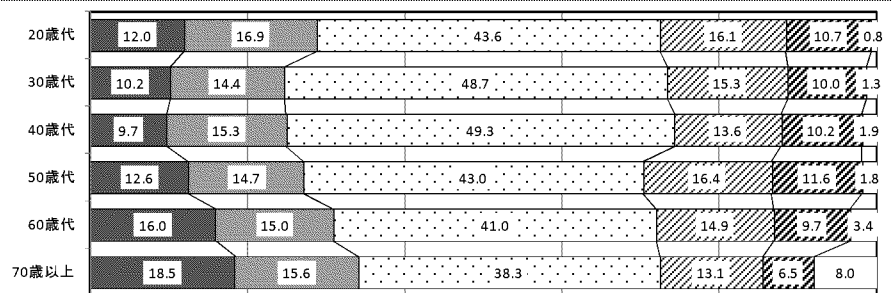
(14) 観光によるまちづくりの推進



(15) 農業・農地を保全すること

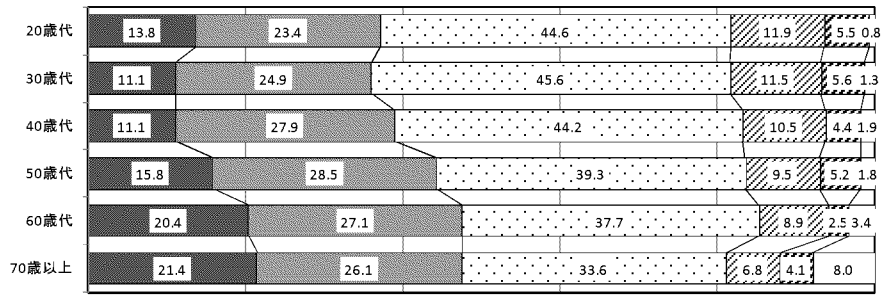


(16) 鳥獣害対策の強化

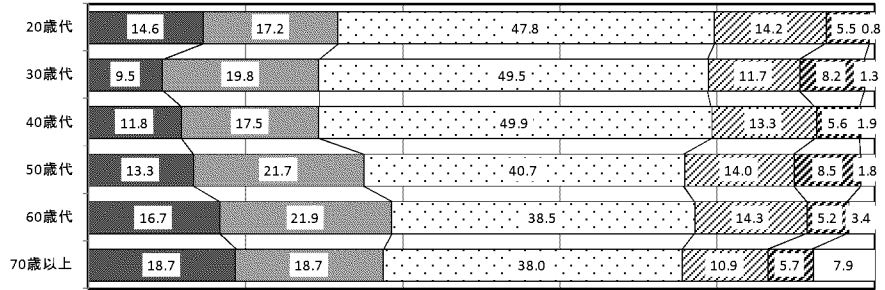


0 20 40 60 80 100
 ■思う □どちらかといえば思う □どちらともいえない □どちらかといえば思わない ■思わない □回答なし (%)

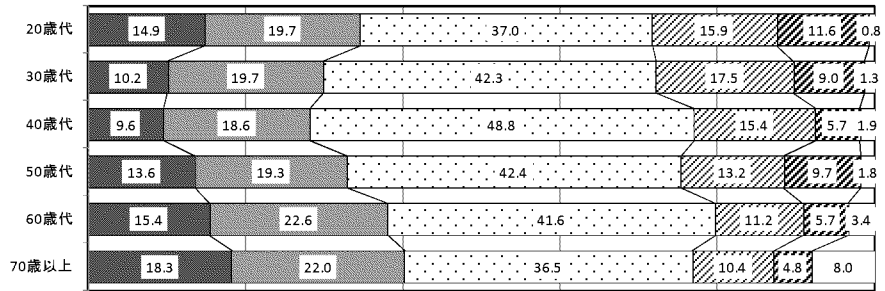
(17) 豊かな自然環境の保全



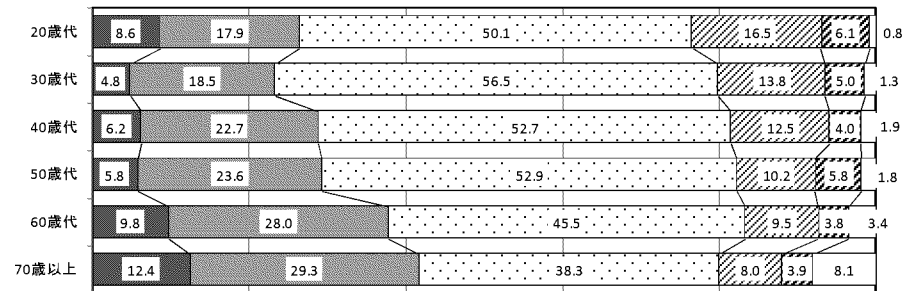
(18) 空き家や耕作放棄地の対策の強化



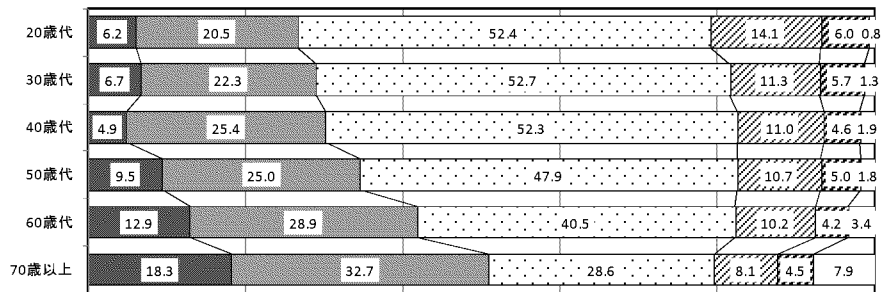
(19) 若年層の定住促進策の拡充



(20) 郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生



(21) 住民同士の交流の場や機会の拡充

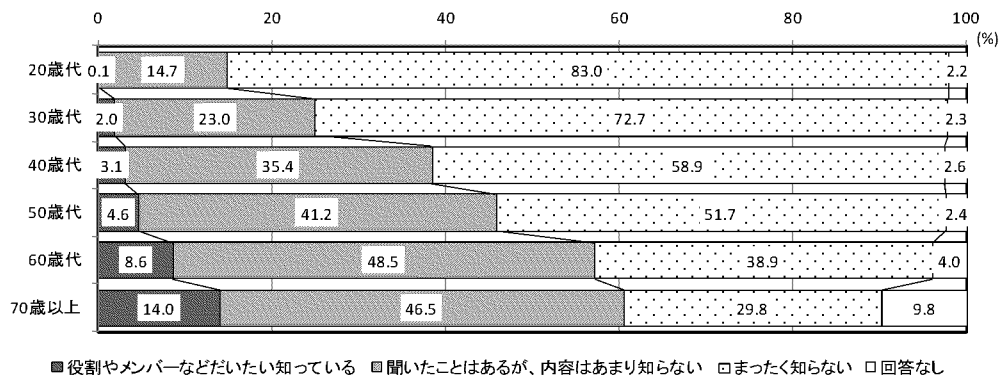


0 20 40 60 80 100
 ■思う ■どちらかといえば思う □どちらともいえない □どちらかといえば思わない ■思わない □回答なし (%)

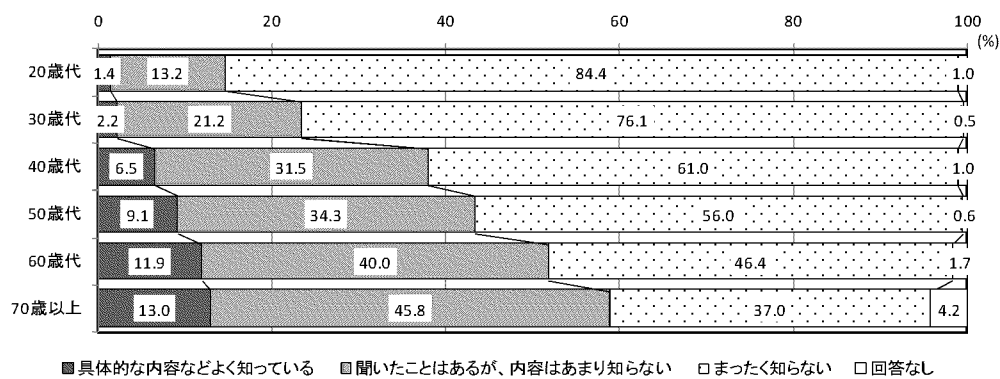
■地域会議、わくわく事業等の認知度について

- ・地域会議、わくわく事業及び地域のわくわく事業の活動については、回答者の年齢が上がるとともに認知度が上がっている。
- ・30歳代以下では地域会議、わくわく事業及び地域のわくわく事業の活動について「まったく知らない」が6割を超えており、若い層への周知が課題である。
- ・地域予算提案事業については、回答者の年齢が上がると認知度が上がる傾向が見られる。

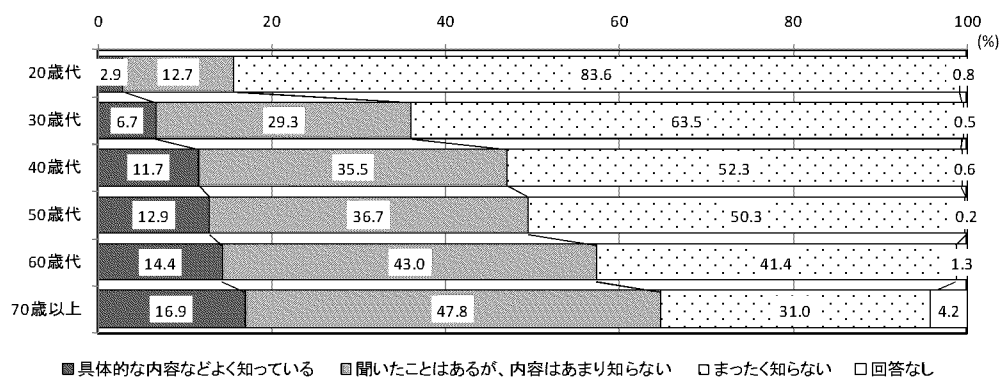
問 11 「地域会議」についてどの程度知っているか



問 14 「わくわく事業」についてどの程度知っているか



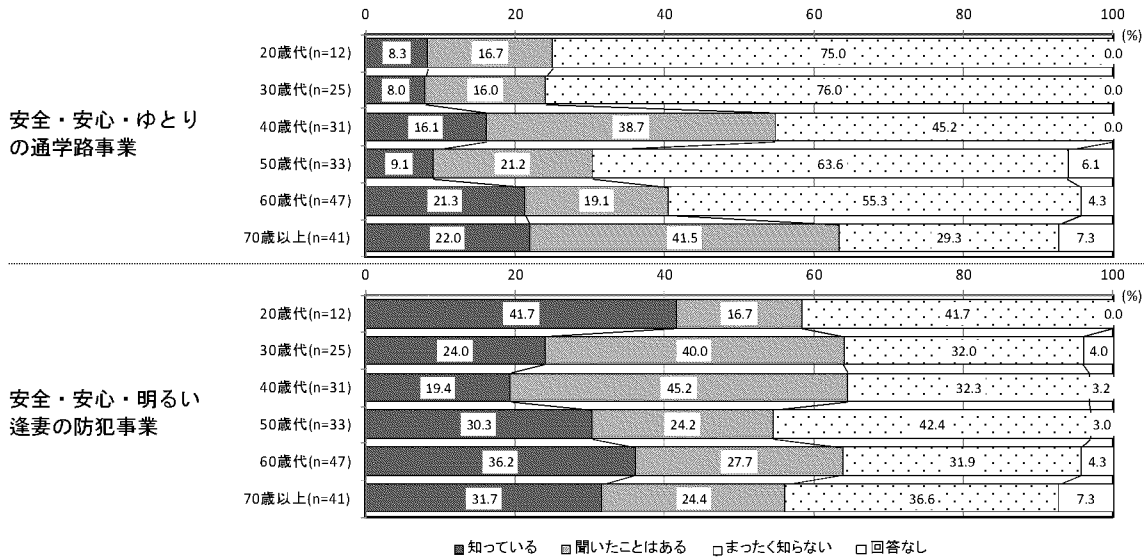
問 16 「地域のわくわく事業」の活動についてどの程度知っているか



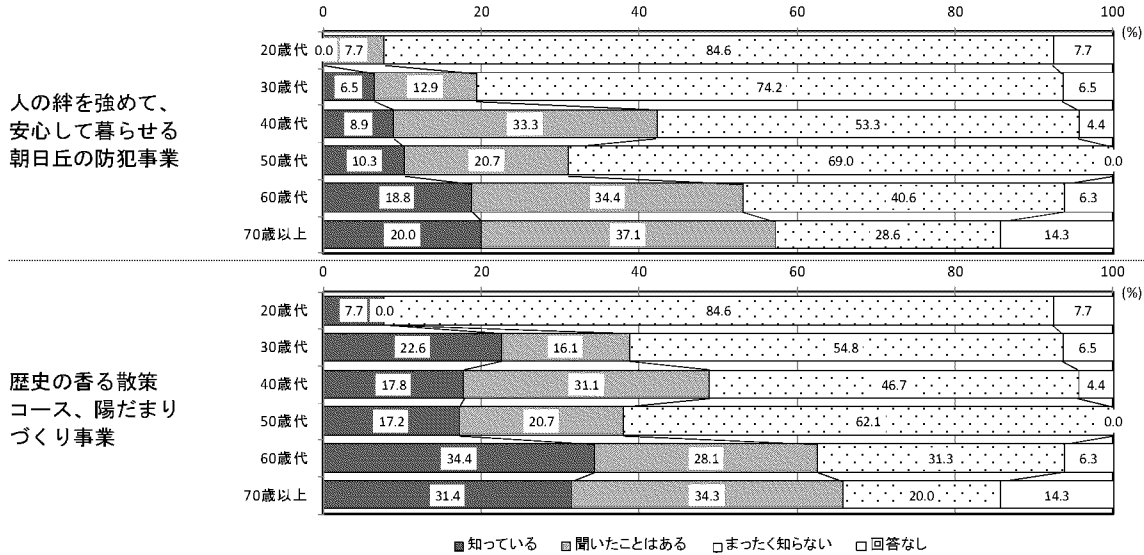
問 18 地域で取り組んでいる「地域予算提案事業」について

①活動していることをどの程度知っているか

●逢妻地域

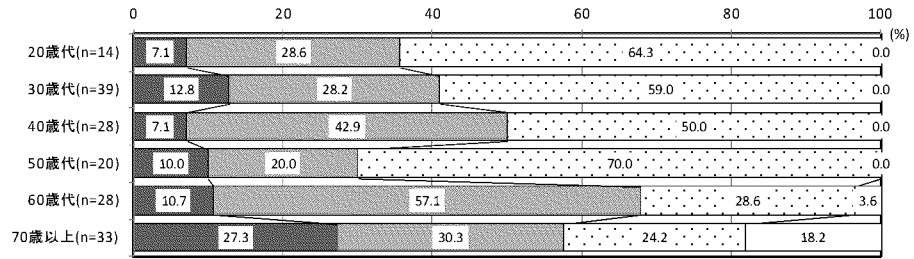


●朝日丘地域

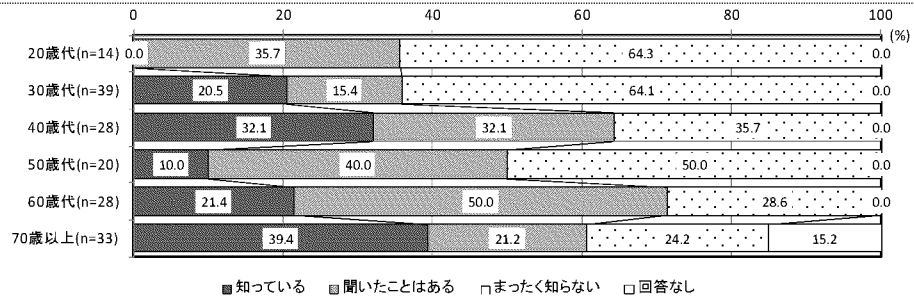


●梅坪台地域

犯罪に強いきれいで
明るいまちづくり
事業

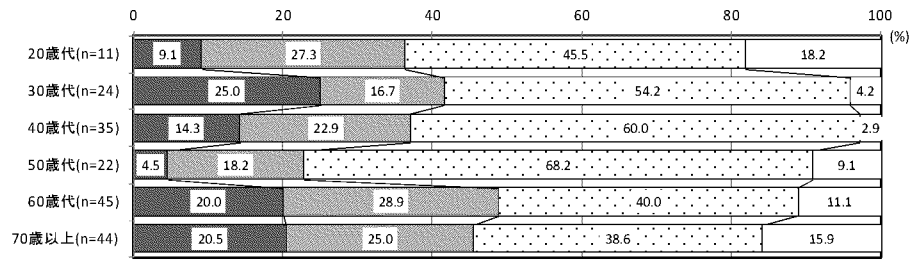


人と人がつながる
ふれあい豊かで安心
なまちづくり事業



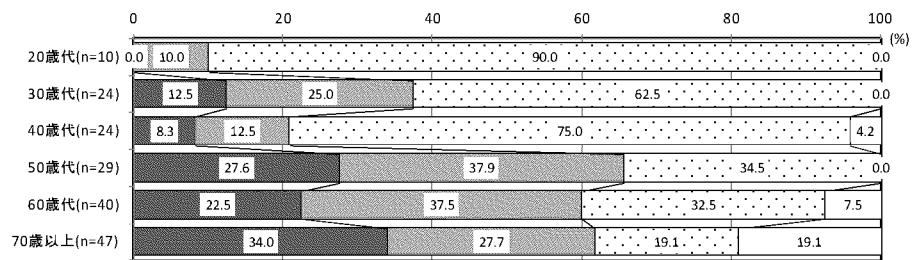
●崇化館地域

あいさつや声かけ
による、ふれあい
豊かな地域づくり
事業

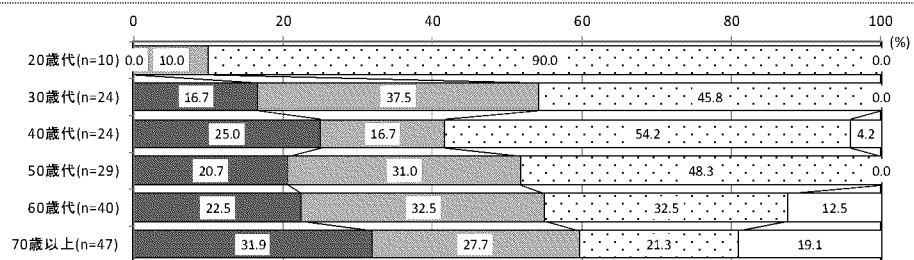


●豊南地域

豊南の地、絆を深
めて人と人が安全
安心なまちづく
り事業(防犯)

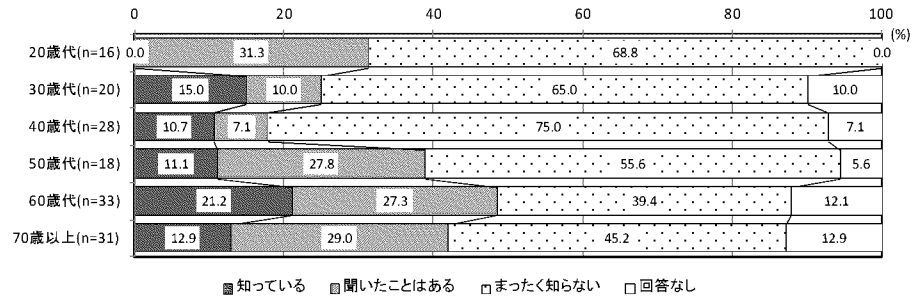


子ども・高齢者に
やさしいまちづく
り事業(交通安全)



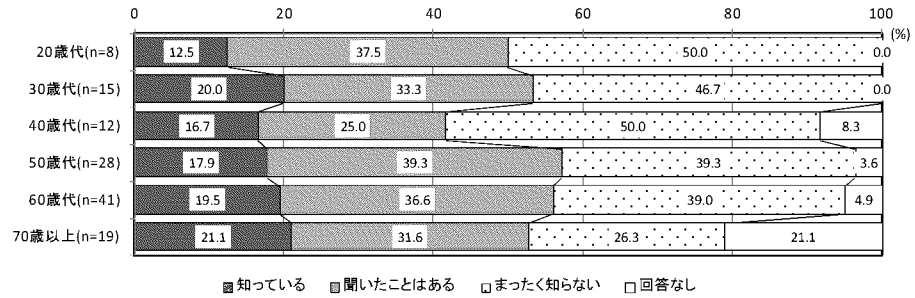
●高橋地域

世代間交流による健康づくり事業



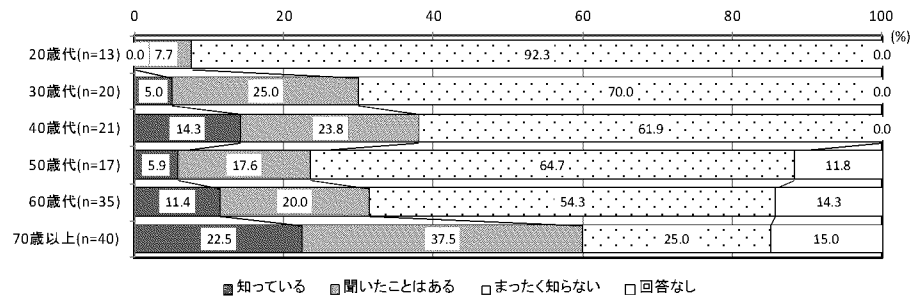
●益富地域

益富の自然と地域資源を活かした健康・文化交流事業



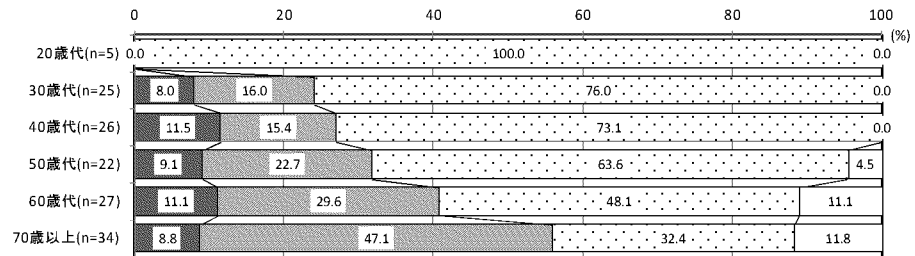
●美里地域

神池公園を活用した美里のふれあいと絆づくり事業

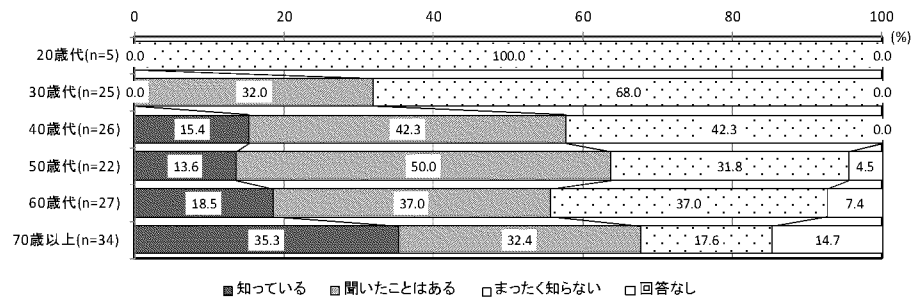


●上郷地域

歴史的遺産等PR事業

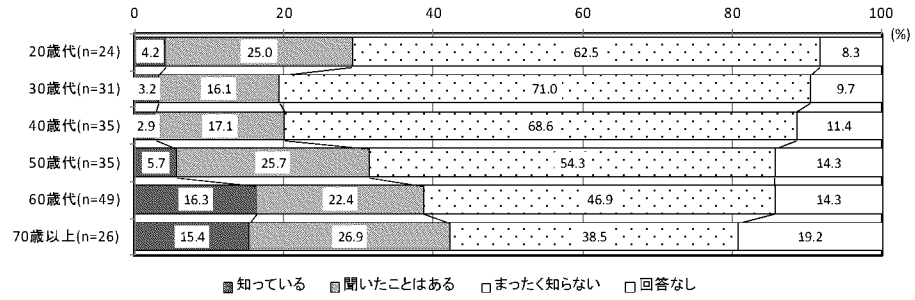


防犯対策事業



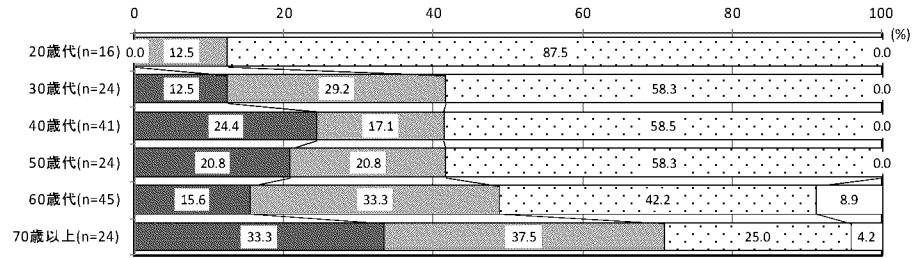
●末野原地域

地域防犯対策事業

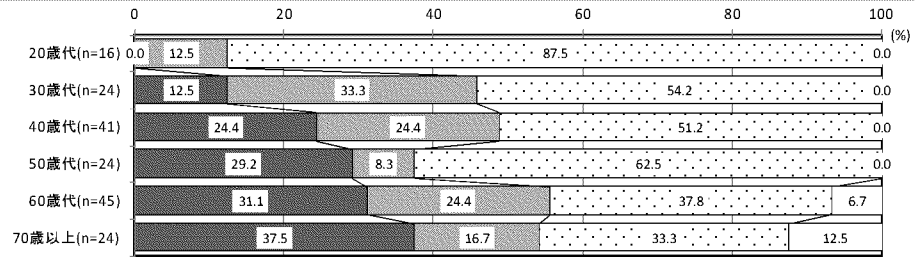


●前林地域

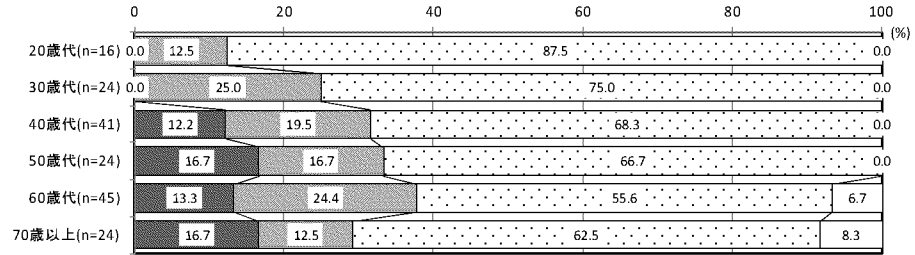
第1期逢妻女川
散策路整備事業



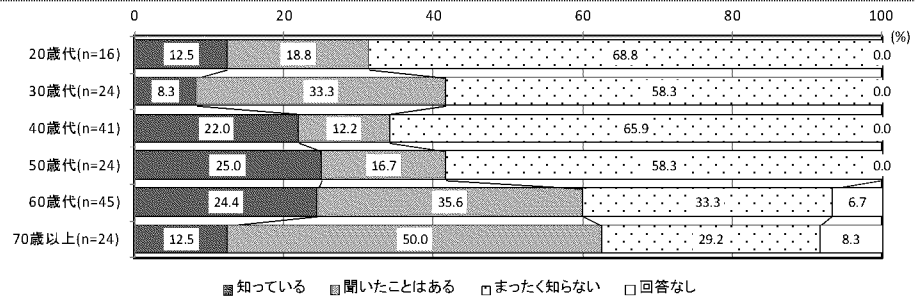
安全のみどり線
設置事業



第2期逢妻女川
散策路整備事業

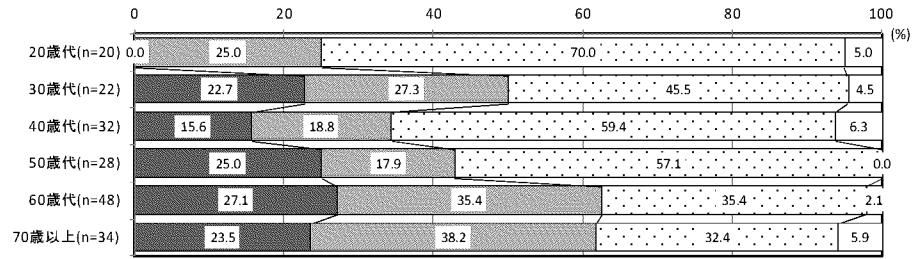


通学路の防犯対策
事業

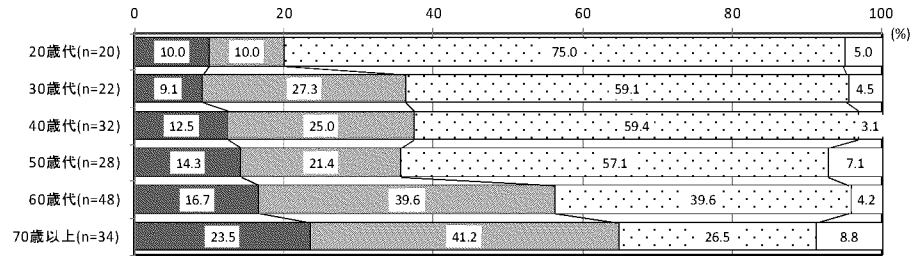


● 竜神地域

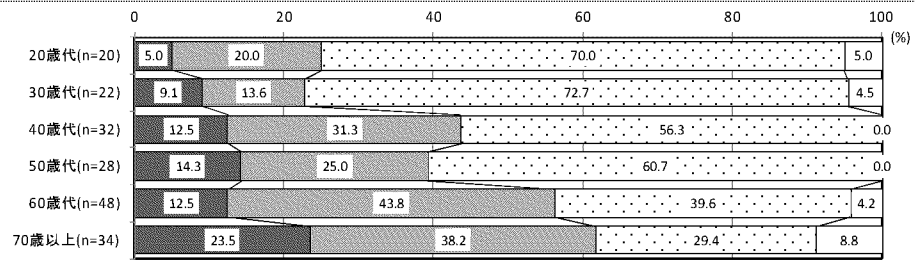
竜神地域
ウォーキング
コース整備事業



地域防犯意識の
向上推進事業

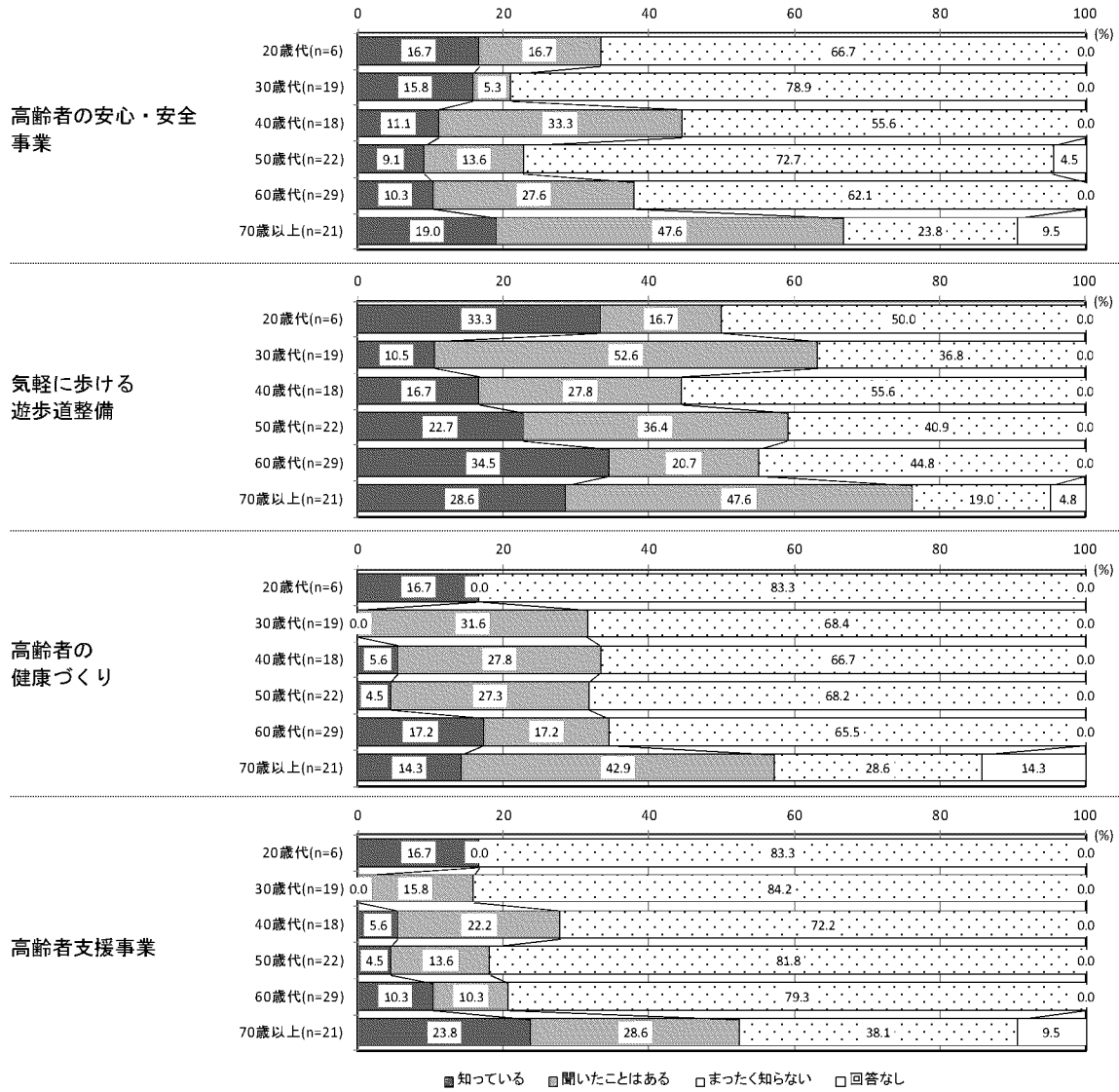


地域の防災対策
事業

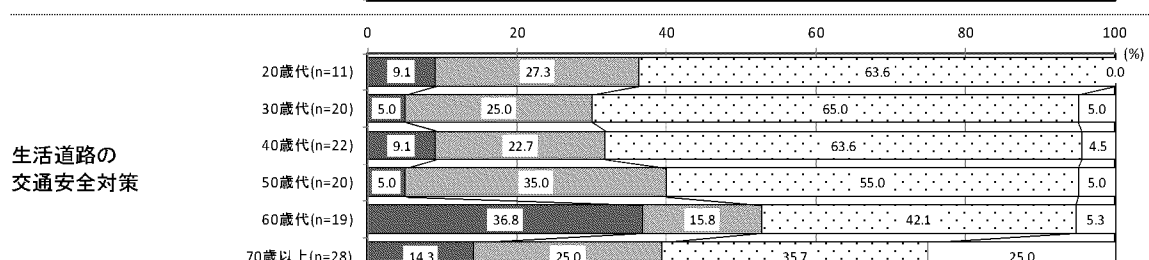
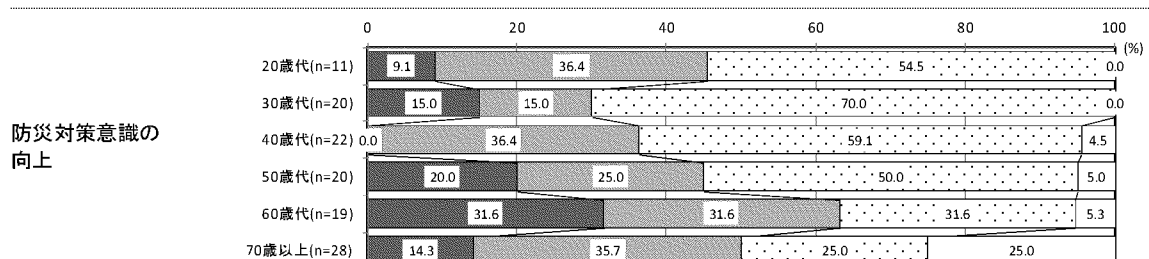
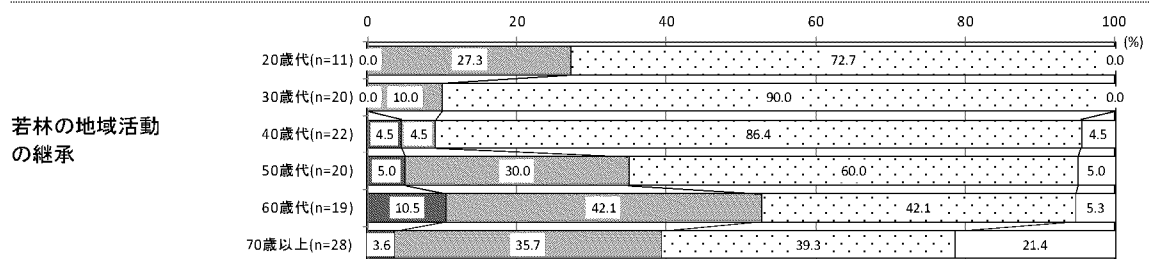
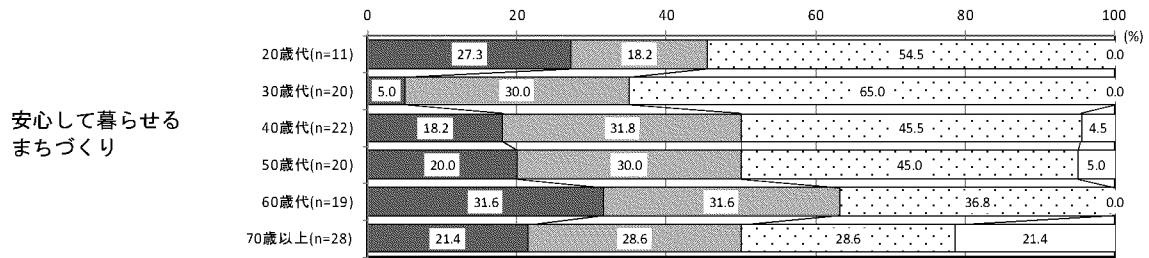
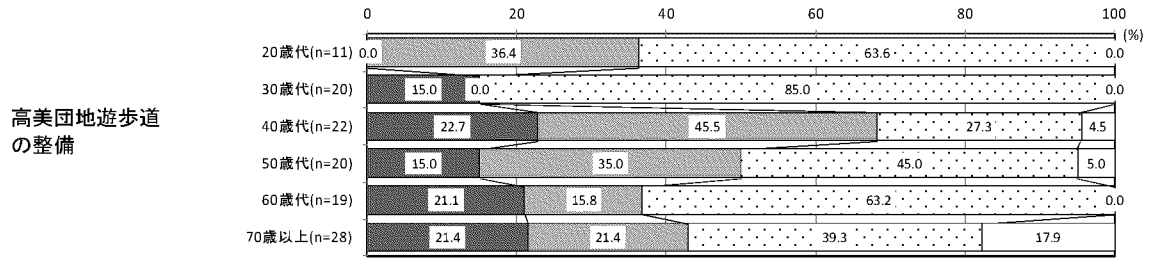


■知っている ■聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●若園地域



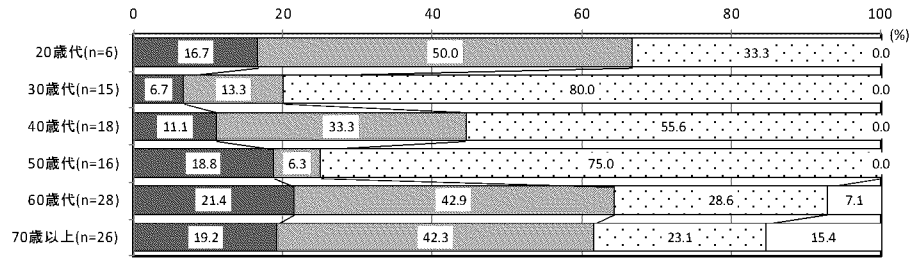
●若林地域



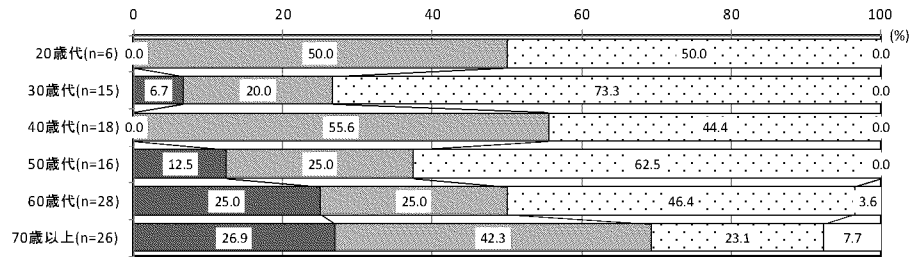
■知っている □聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●井郷地域

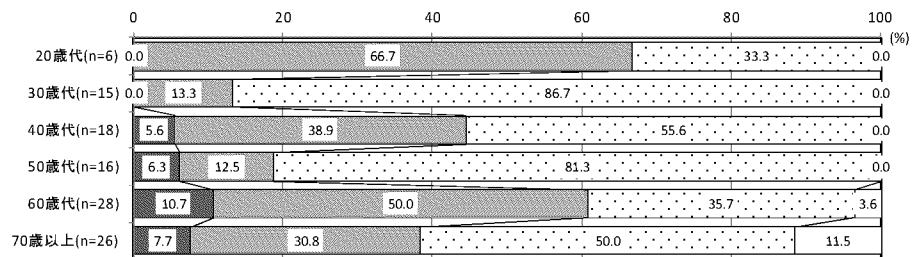
交通弱者を守る
安心・安全事業



高齢者がより元気に
安心して暮らせる事業



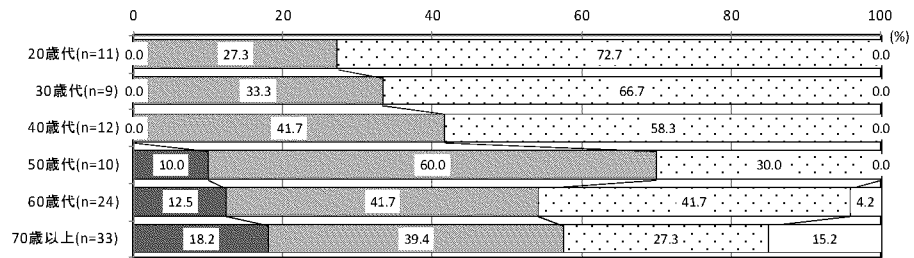
人づくりを通じて
地域活動を活性化
する事業



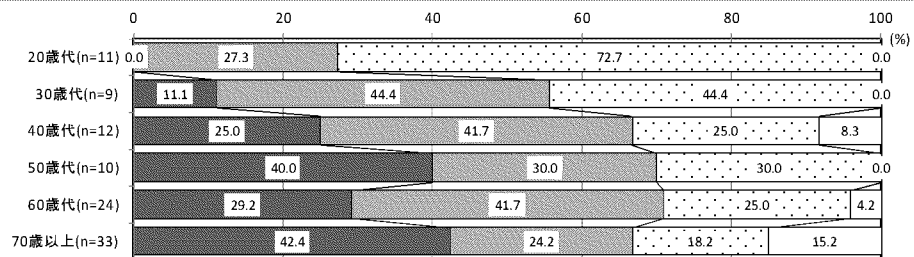
■知っている ■聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●石野地域

石野地区
まちづくり計画
策定支援事業



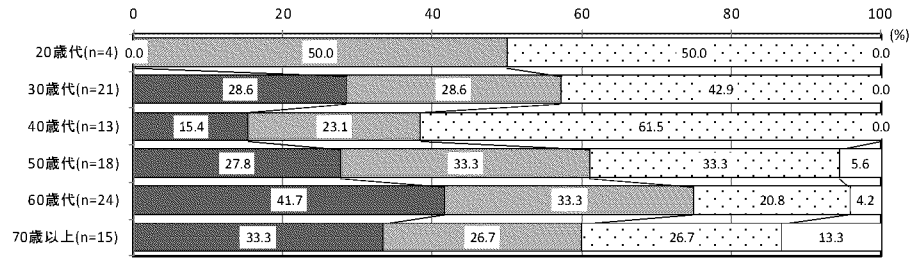
災害時に備える
防災意識向上事業



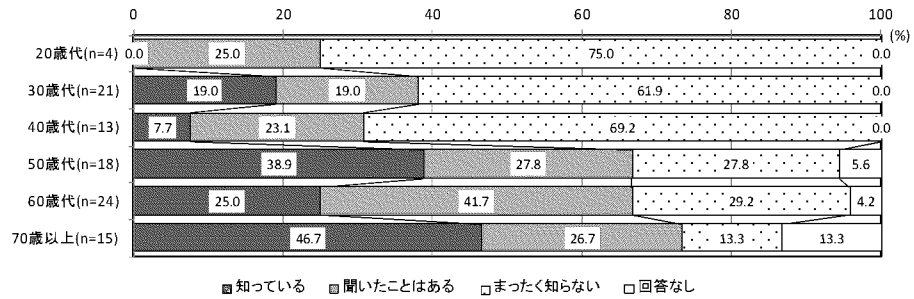
■知っている ■聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●猿投地域

ふれあい豊かな
まちづくり・猿投
事業

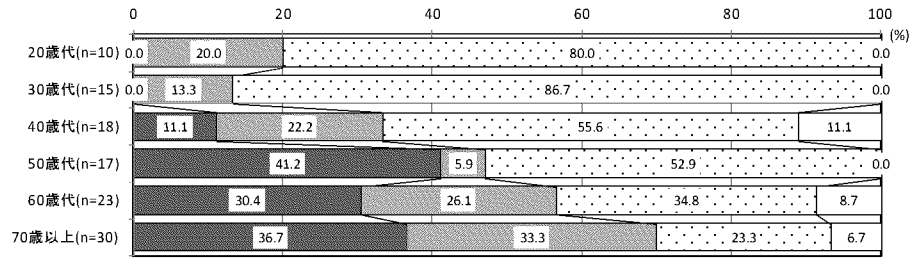


猿投山と籠川を
生かしたまちづく
り事業

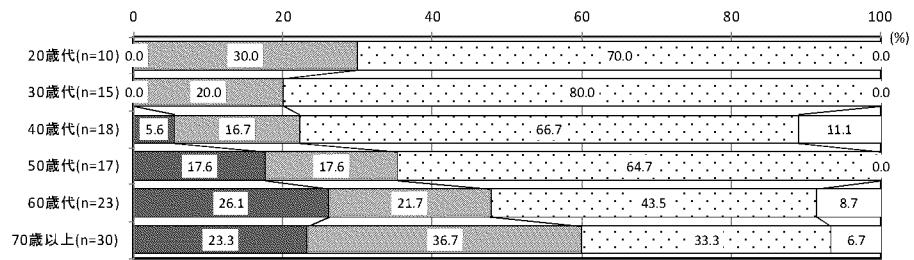


●猿投台地域

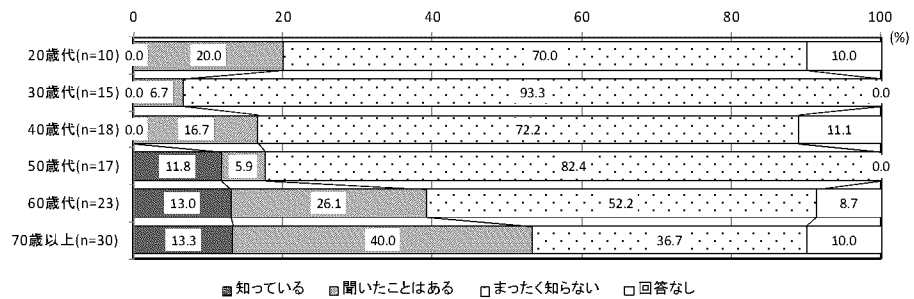
高齢者いきいき・
サポート事業



安心して暮らせる
安全なまちづくり
事業

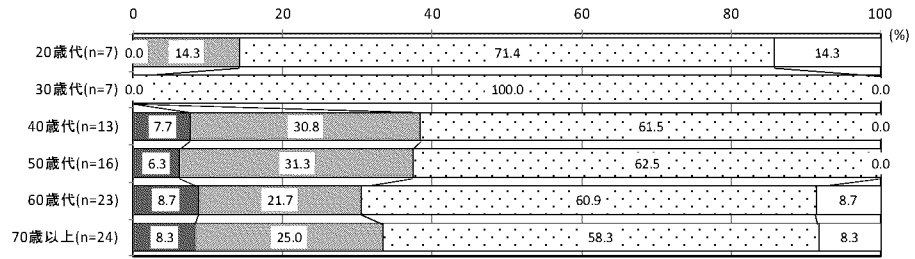


猿投台地域
まちづくりビジョン・
実施計画の策定

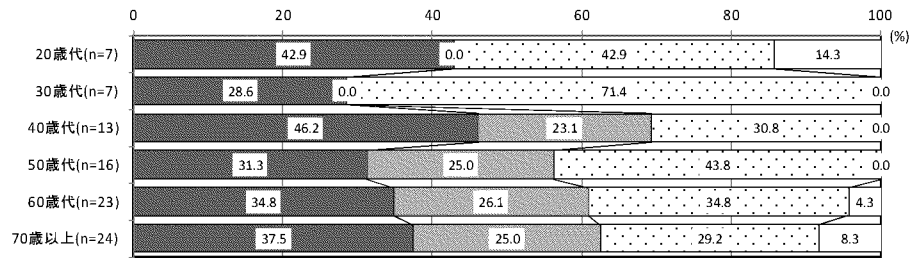


●保見地域

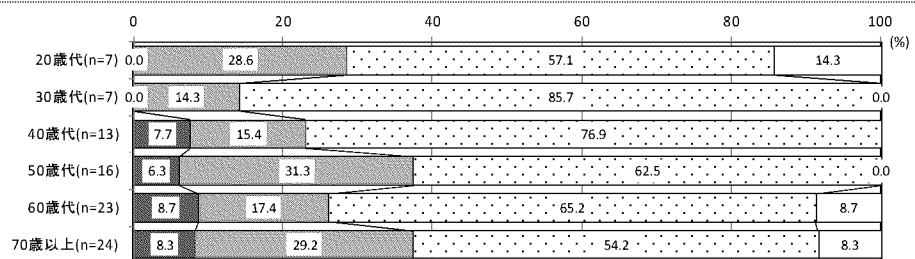
里山の保全活用促進
と歴史紹介事業



地域環境の向上と
ごみ出しマナー、
ルール違反防止事業



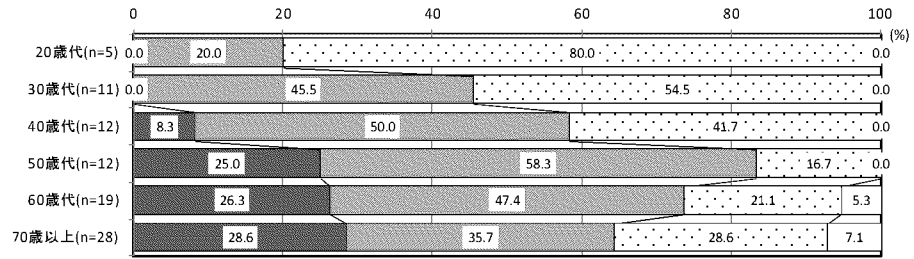
保見地域防災対策
総合コーディネーター
派遣事業



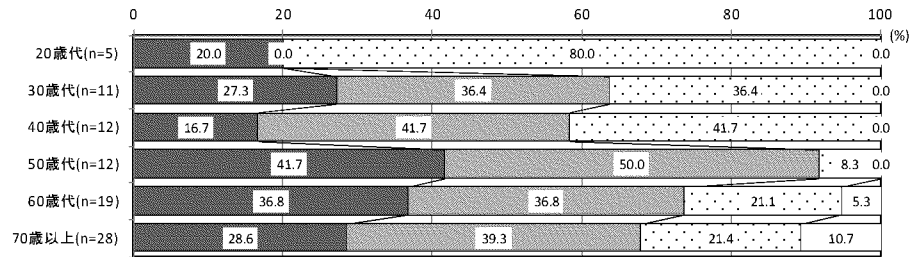
■知っている □聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●松平地域

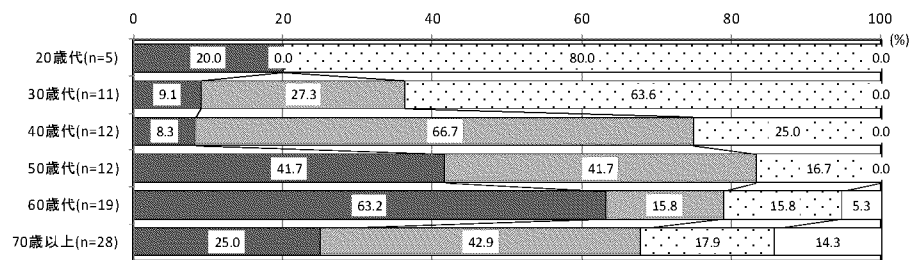
病気を自ら予防し
健康増進を図る事業



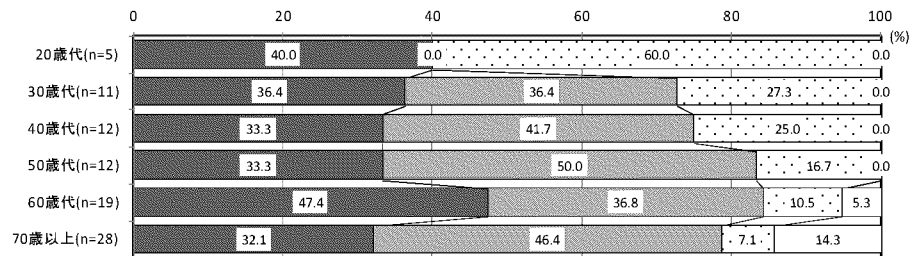
通学路の安心安全
の推進を図る事業



河川・里山の維持・
改善を図る事業

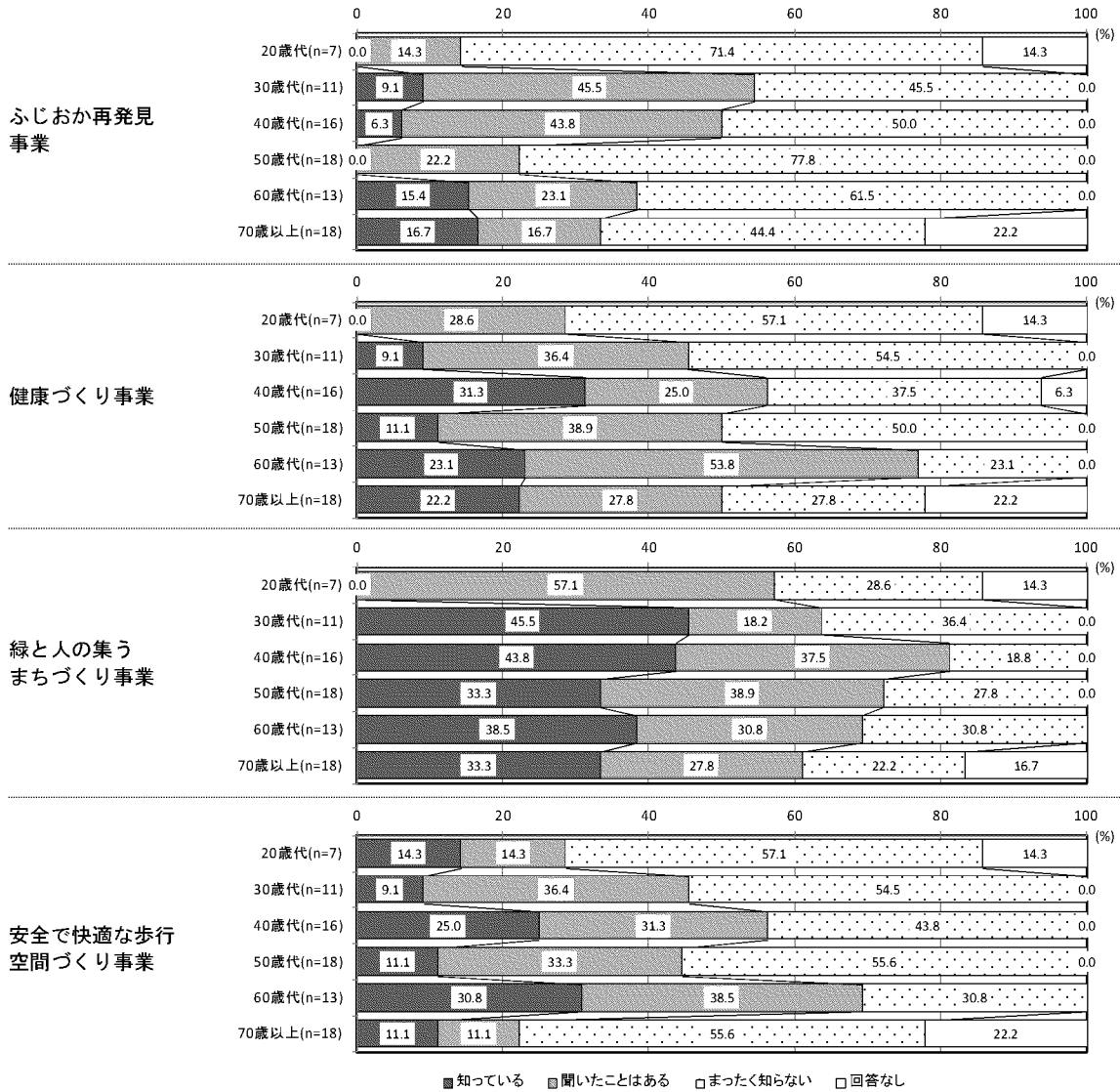


地域生活交通の
充実を図る事業

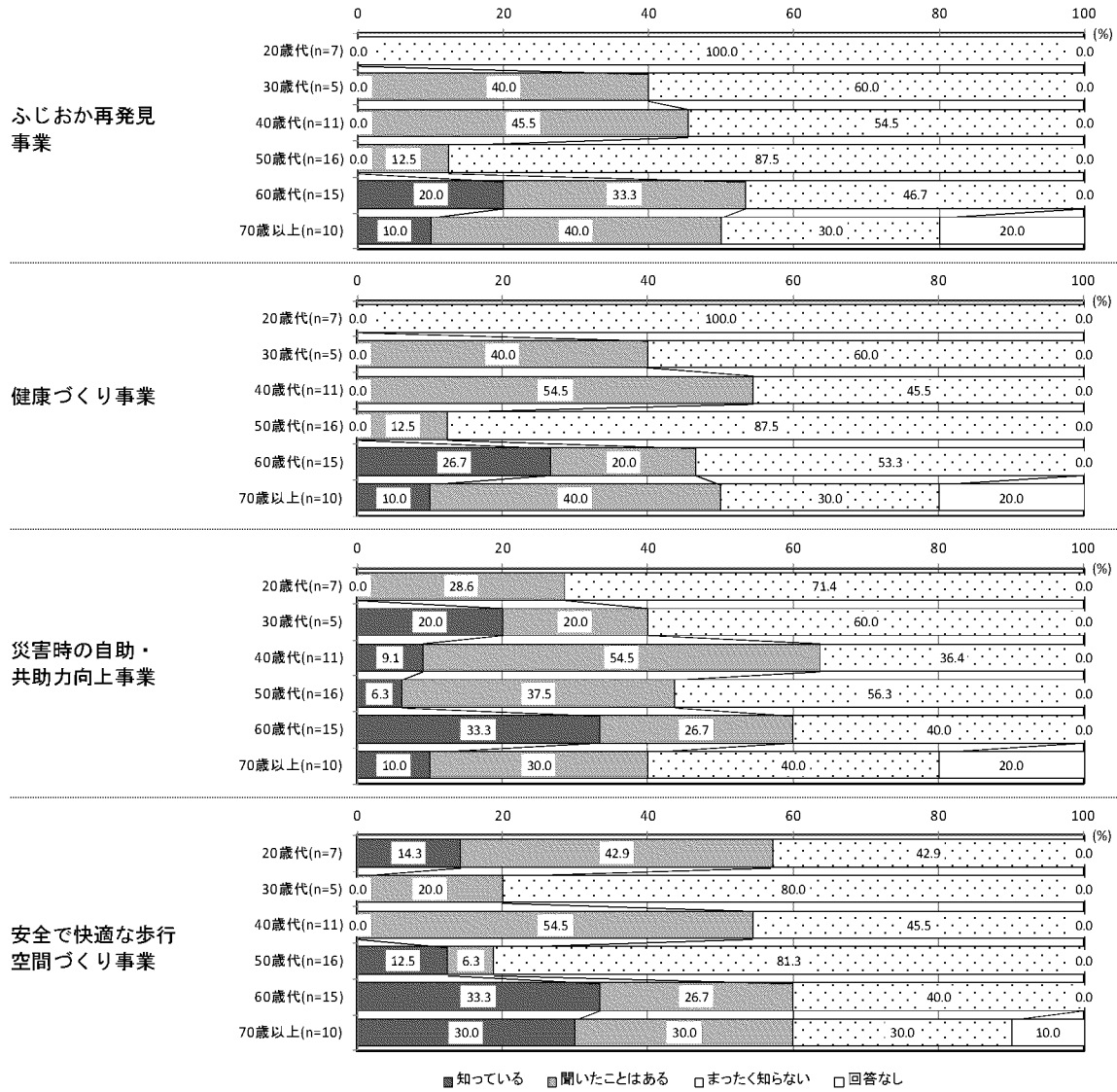


■知っている □聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●藤岡地域

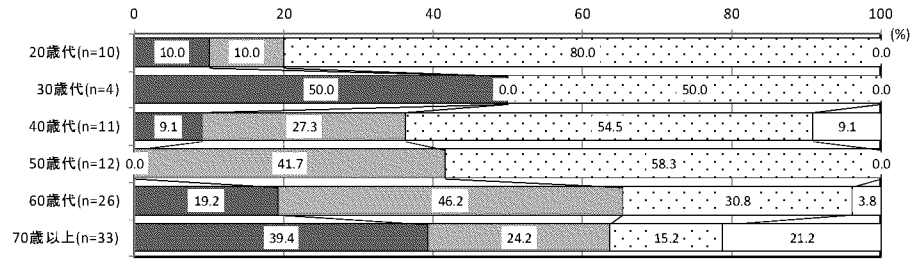


●藤岡南地域

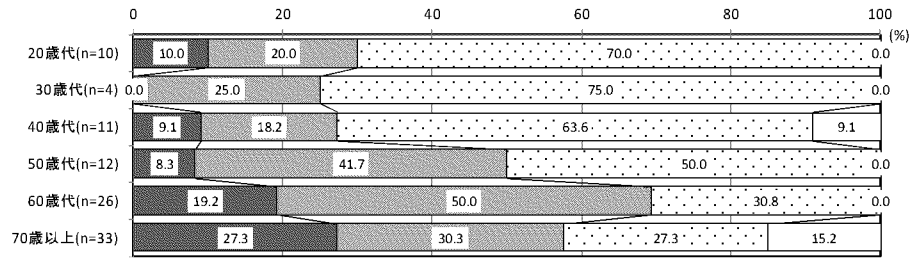


●小原地域

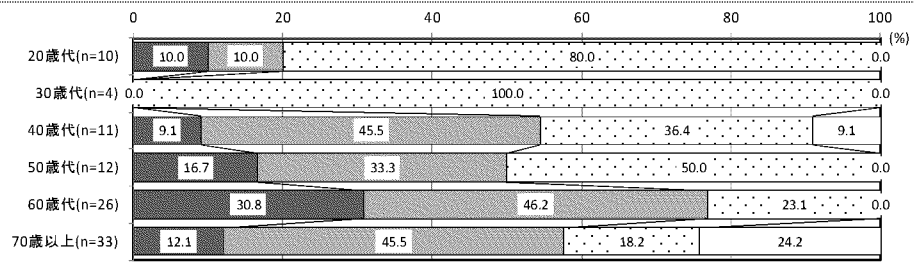
高齢者を地域で
支える体制づくり



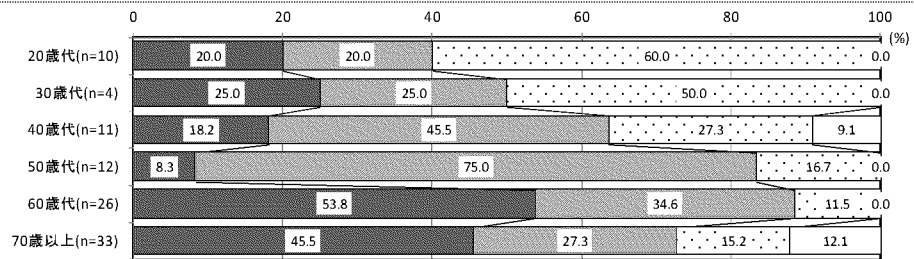
コウゾ植栽による
小原和紙ブランド化
事業



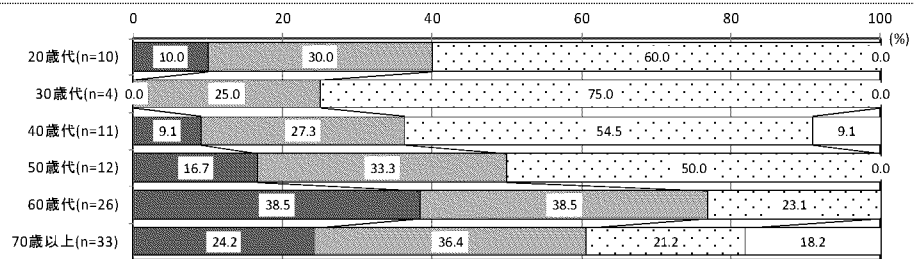
定住促進サポ-ト
事業



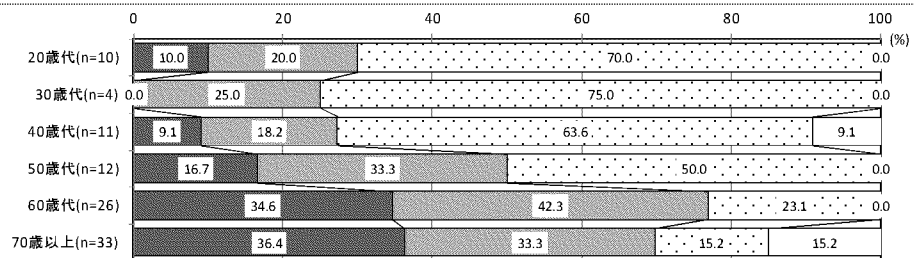
ゴミの不法投棄
防止事業



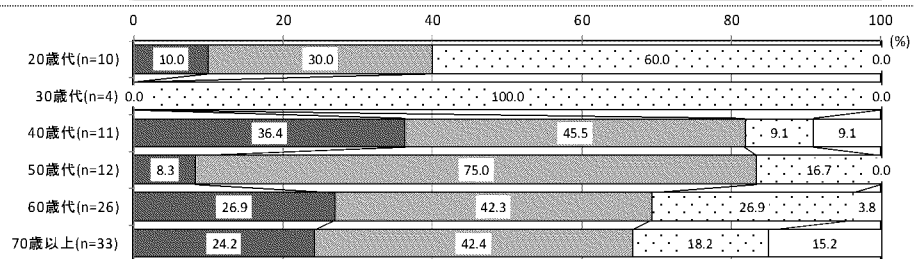
耕作放棄地整備
支援事業



生活道路環境整備
推進事業



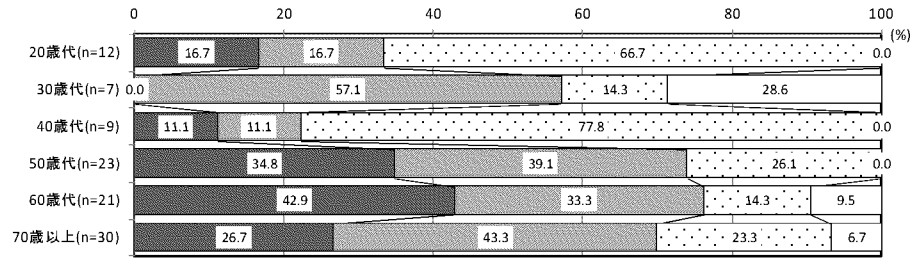
若者のUターン
促進事業



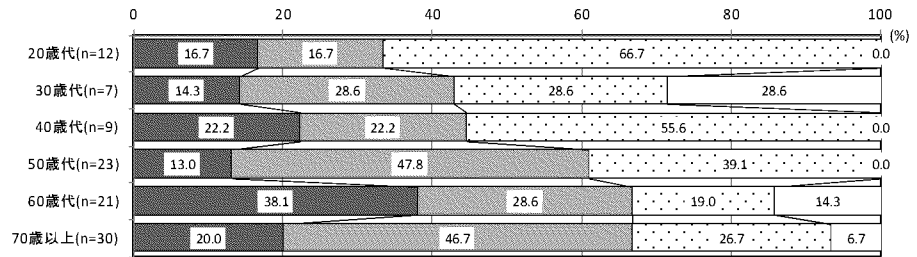
■知っている ■聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●足助地域

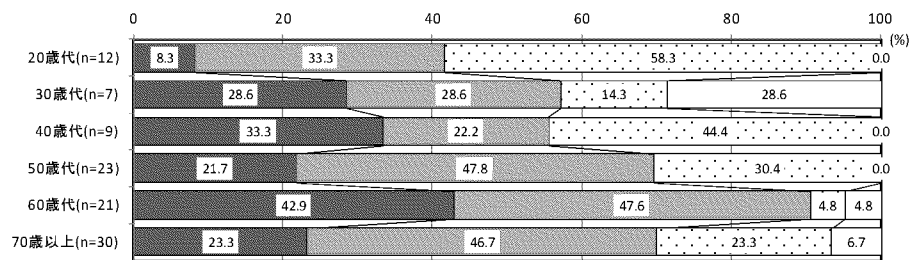
森と緑の里山づくり
推進事業



足助通信による
Uターン促進事業



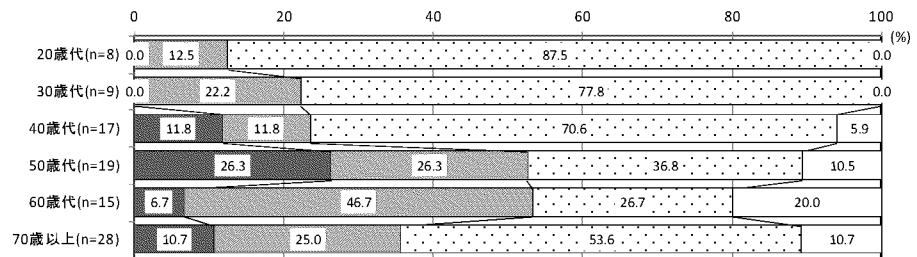
空き家の提供支援
による定住促進事業



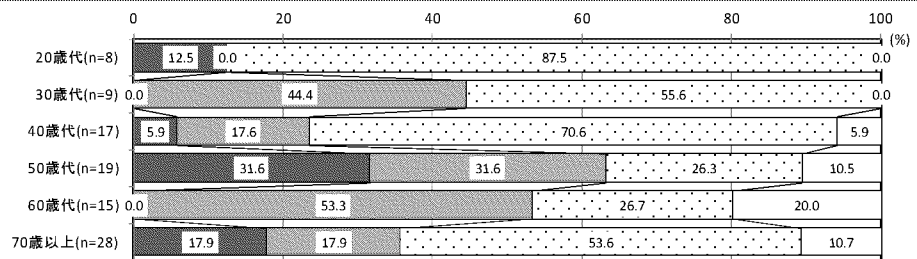
■知っている ■聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●下山地域

しもやま住んで
みりん定住促進事業



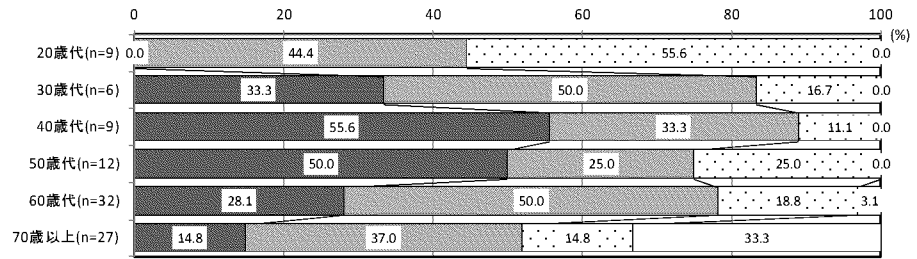
文化を守り語り継ぐ
香恋の里づくり事業



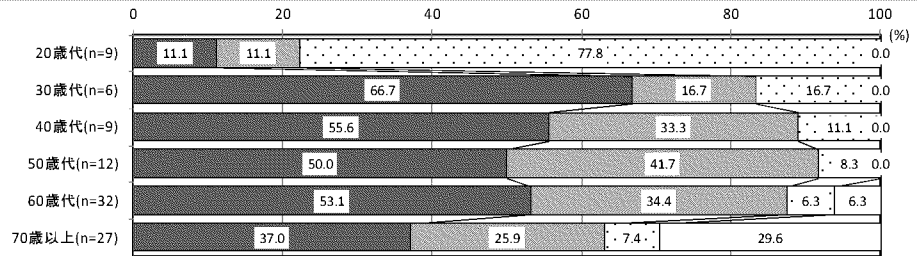
■知っている ■聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

●旭地域

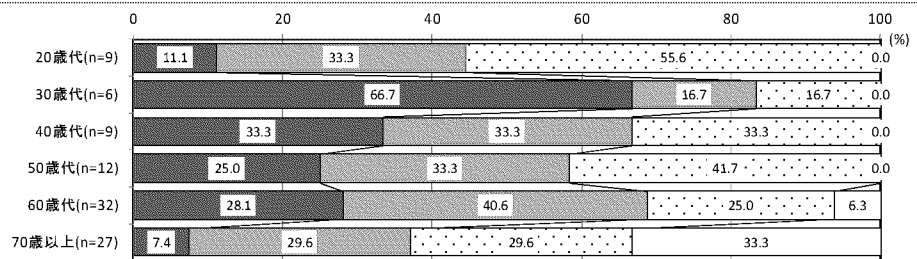
旭ぐらし体験事業



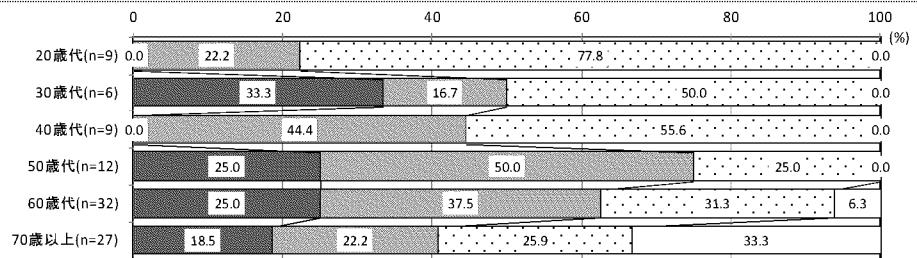
旭木の駅プロジェクト推進事業



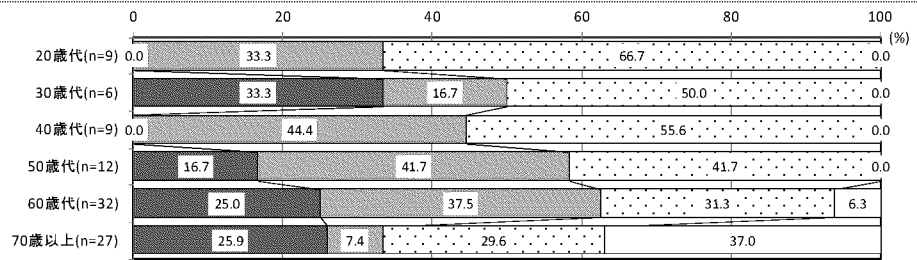
旭地区Uターン者&親密別居者増加事業



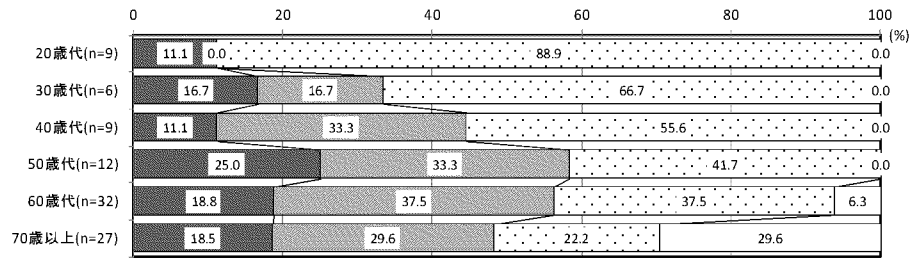
地域資源を活かした「花の里づくり事業」



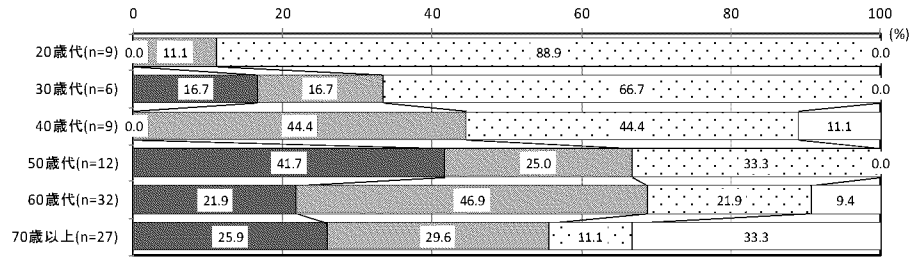
『まち自慢、旭の「あれこれ」ガイドブック』作成事業



通行支障木の伐採支援事業



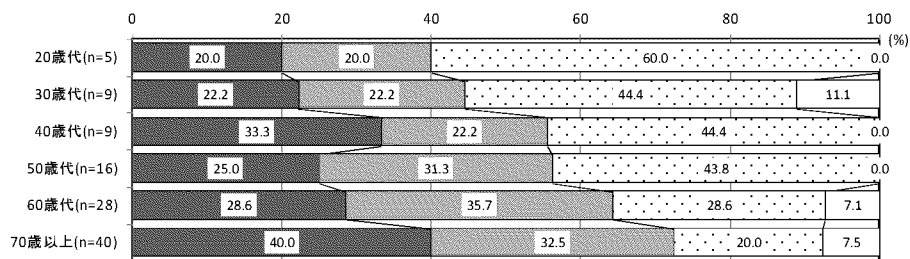
あさひ高齢者見守り事業



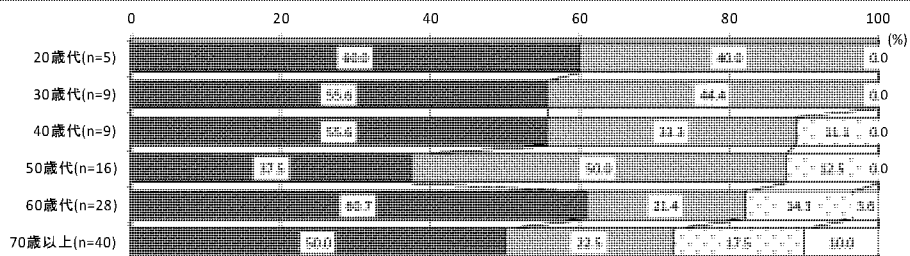
■知っている □聞いたことはある □まったく知らない □回答なし

● 稲武地域

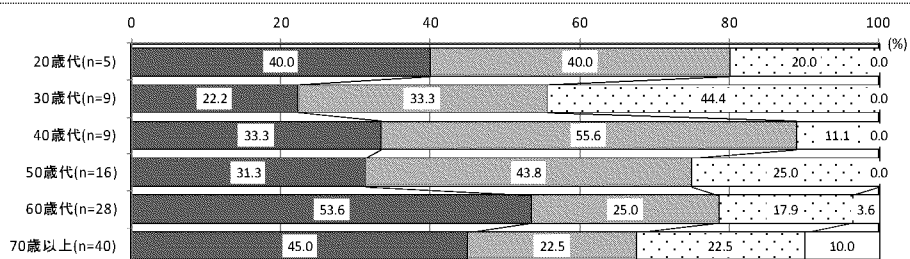
名倉川景観整備事業



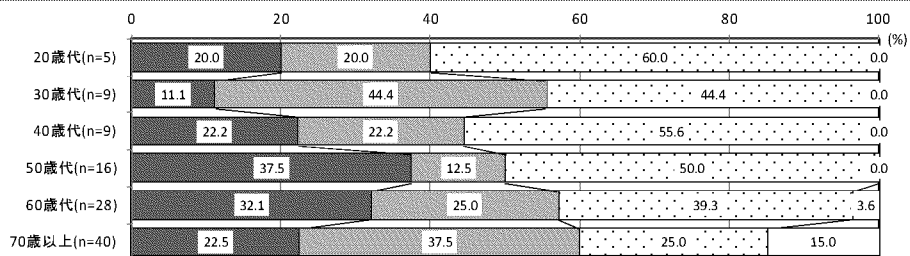
花街道「いなぶ」プロジェクト



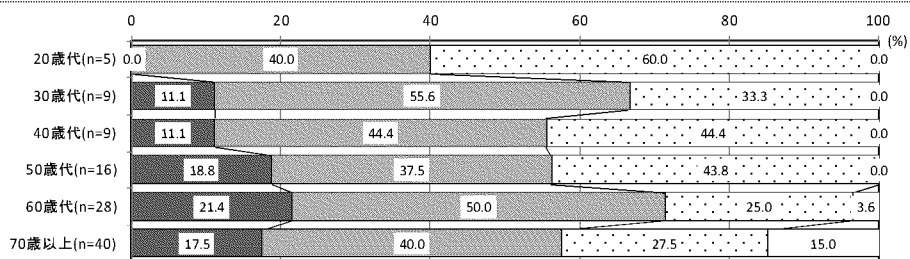
棚田を活かしたまちづくり事業



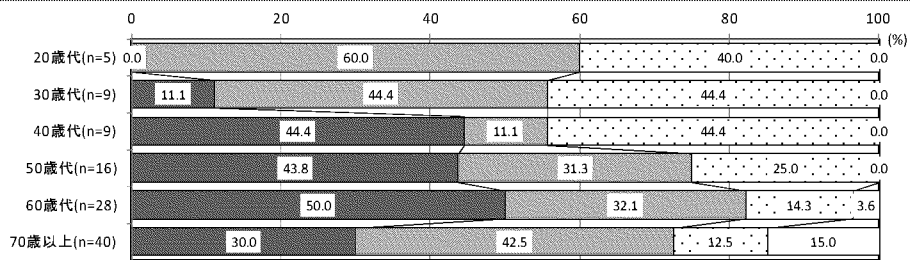
芸術を活かした地域おこし事業



山里定住促進強化事業



夏焼城ヶ山整備事業

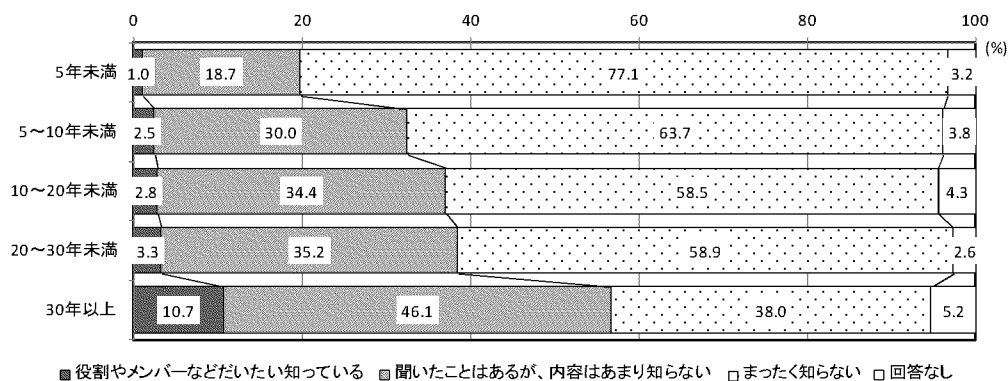


■ 知っている □ 聞いたことはある □ まったく知らない □ 回答なし

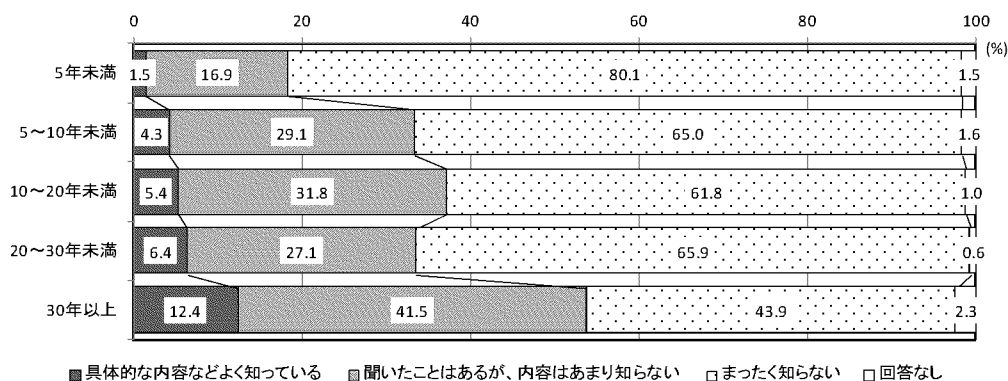
7-5. 居住年数によるクロス集計結果

- ・居住年数が長くなるとともに地域自治システムの各制度・事業の認知度が上がっている。
- ・30年未満の層と30年以上の層で認知度に10ポイント以上差があり、転入者と考えられる居住年数5年未満の層だけでなく、居住年数が30年未満の比較的長い層に対しても周知を図る必要がある。

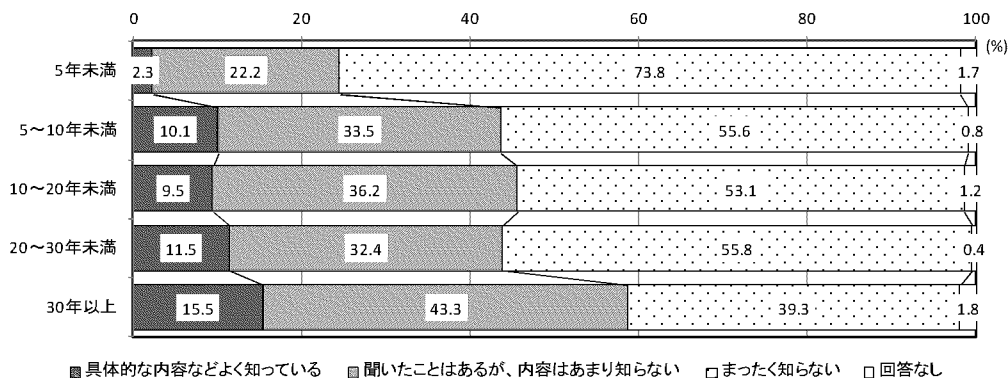
問 11 「地域会議」についてどの程度知っているか



問 14 「わくわく事業」についてどの程度知っているか



問 16 「地域のわくわく事業」の活動についてどの程度知っているか

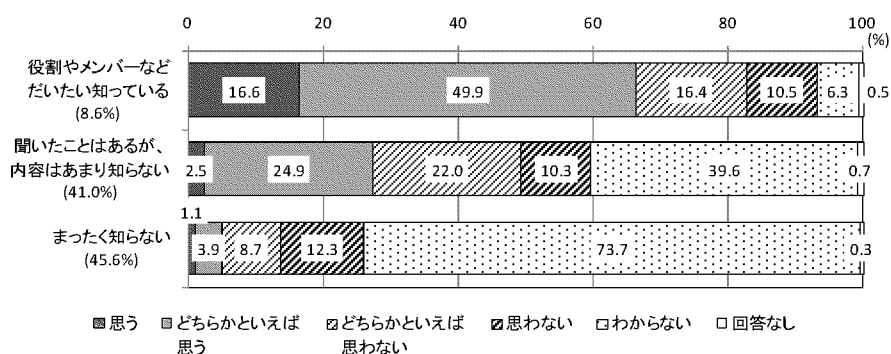


7-6. 地域会議、わくわく事業及び地域予算提案事業の認知度によるクロス集計結果

(1)地域会議の認知度とのクロス集計

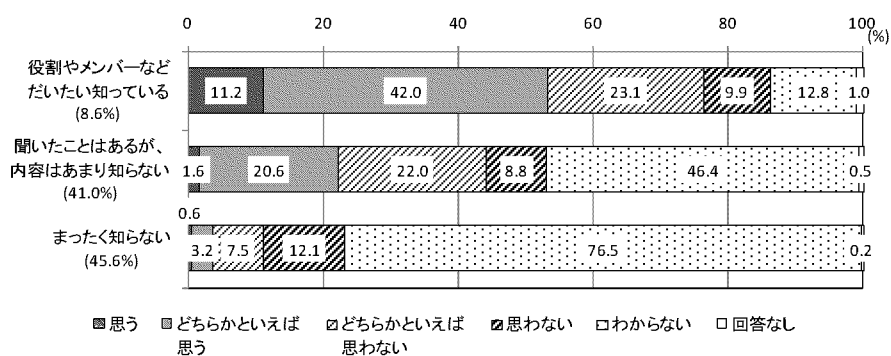
- ・認知度が上がるにつれて「地域会議」がまちづくりの意見を集約し、市の事業に反映されていると思う傾向がある。
- ・会議の役割やメンバーなどを知っている人の過半数は、まちづくりに関する意見の集約や市の事業への反映ができていると認識しており、地域会議について理解している人からは一定の評価を得ている。

問 12 「地域会議」が地域のまちづくりについての意見を集約できていると思うか



※図中、左側の項目のカッコ内に示す%は、市全体での集計における認知度に関する回答割合である。

問 13 「地域会議」の意見が市の事業に反映されていると思うか



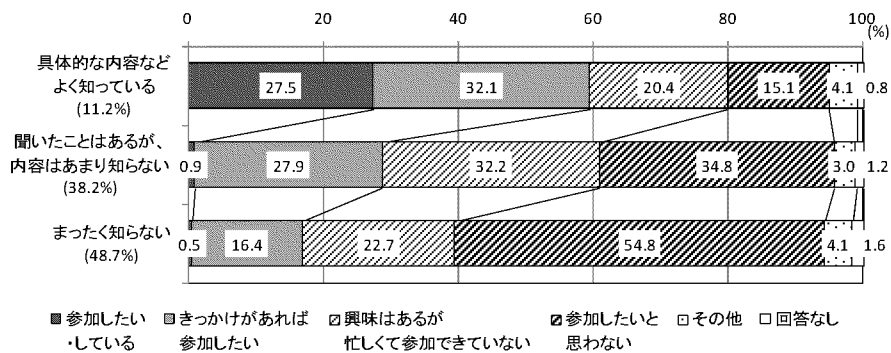
※図中、左側の項目のカッコ内に示す%は、市全体での集計における認知度に関する回答割合である。

(2) わくわく事業の認知度とのクロス集計

- ・認知度が上がるにつれて事業への参加意向を示しており、かつ、活動が地域のためになっていると思う傾向がある。
- ・具体的な内容を知っている人の約6割は事業への参加意向を示している。
- ・具体的な内容を知っている人の5割半ばは活動が地域のためになっていると認識しており、地域のわくわく事業について理解している人からは評価を得ている。

● 「わくわく事業」の認知度とのクロス

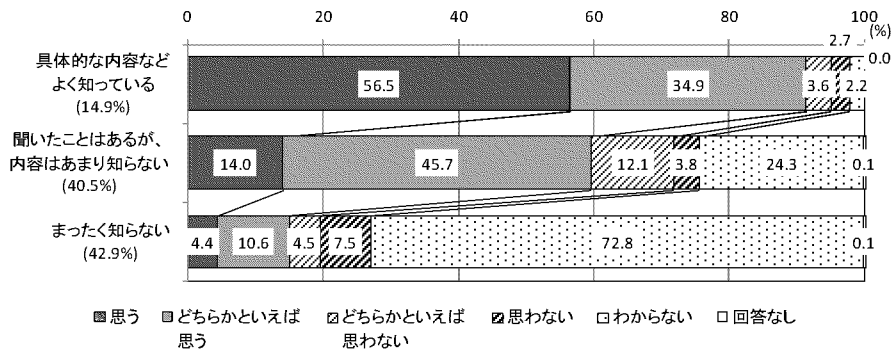
問 15 「わくわく事業」に参加したいと思うか



※図中、左側の項目のカッコ内に示す%は、市全体での集計における認知度に関する回答割合である。

● 「地域のわくわく事業の活動」の認知度とのクロス

問 17 「地域のわくわく事業」の活動が地域のためになっていると思うか



※図中、左側の項目のカッコ内に示す%は、市全体での集計における認知度に関する回答割合である。

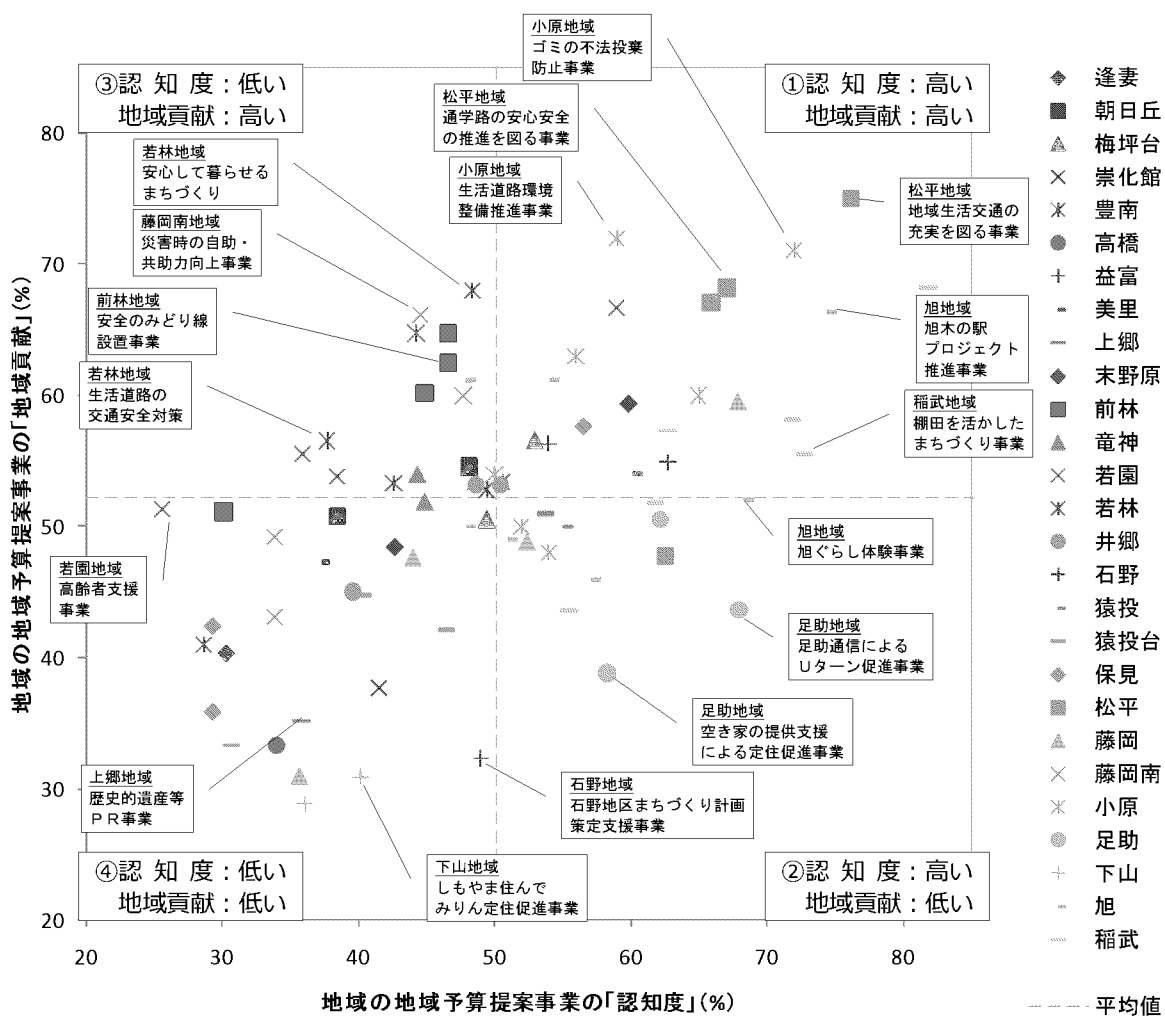
(3)地域予算提案事業の認知度とのクロス集計

問 18 地域で取り組んでいる「地域予算提案事業」について

②活動が地域のためになっていると思うか

ここでは、「①活動していることをどの程度知っているか」で「知っている」もしくは「聞いたことがある」と答えた割合を「認知度」、「②活動が地域のためになっていると思うか」で「思う」もしくは「どちらかといえば思う」と答えた割合を「地域貢献」とし、各事業について算出した認知度と地域貢献の関係を分析する。

- ・認知度が上がるにつれて地域貢献が高くなっており、活動が地域のためになっていると思う傾向が見られる。
- ・松平地域、稲武地域、小原地域、井郷地域における活動は認知度が高い傾向が見られる。
- ・地域貢献が高い活動は、主に、防犯、防災、交通安全など、個人の生活に身近な内容の活動である傾向が見られる。
- ・地域貢献が低い活動は、定住促進やまちづくりなど、住民の生活に直接関わりが感じられにくい内容の活動である傾向が見られる。



自治区	事業名	認知度	地域貢献	分類
逢妻	安全・安心・ゆとりの通学路事業	42.7	48.4	④
	安全・安心・明るい逢妻の防犯事業	59.9	59.4	①
朝日丘	人の絆を強めて、安心して暮らせる朝日丘の防犯事業	38.5	50.8	④
	歴史の香る散策コース、陽だまりづくり事業	48.1	54.5	③
梅坪台	犯罪に強いきれいで明るいまちづくり事業	49.4	50.6	④
	人と人がつながるふれあい豊かで安心なまちづくり事業	53.0	56.5	①
崇化館	あいさつや声かけによる、ふれあい豊かな地域づくり事業	41.5	37.7	④
豊南	豊南の地、絆を深めて人と人が安全安心なまちづくり事業(防犯)	49.4	52.8	③
	子ども・高齢者にやさしいまちづくり事業(交通安全)	50.6	53.4	①
高橋	世代間交流による健康づくり事業	34.0	33.3	④
益富	益富の自然と地域資源を活かした健康・文化交流事業	54.0	56.3	①
美里	神池公園を活用した美里のふれあいと絆づくり事業	37.3	47.3	④
上郷	歴史的遺産等PR事業	35.9	35.2	④
	防犯対策事業	53.8	51.0	①
末野原	地域防犯対策事業	30.3	40.3	④
前林	第1期逢妻女川散策路整備事業	44.9	60.2	③
	安全のみどり線設置事業	46.6	62.5	③
	第2期逢妻女川散策路整備事業	30.1	51.1	④
	通学路の防犯対策事業	46.6	64.8	③
竜神	竜神地域ウォーキングコース整備事業	48.7	53.5	③
	地域防犯意識の向上推進事業	44.4	54.0	③
	地域の防災対策事業	44.9	51.9	④
若園	高齢者の安心・安全事業	38.5	53.8	③
	気軽に歩ける遊歩道整備	59.0	66.7	①
	高齢者の健康づくり	35.9	55.6	③
	高齢者支援事業	25.6	51.3	④
若林	高美団地遊歩道の整備	42.6	53.3	③
	安心して暮らせるまちづくり	48.4	68.0	③
	若林の地域活動の継承	28.7	41.0	④
	防災対策意識の向上	44.3	64.8	③
	生活道路の交通安全対策	37.7	56.6	③
井郷	交通弱者を守る安心・安全事業	48.6	53.2	③
	高齢者がより元気に安心して暮らせる事業	50.5	53.2	①
	人づくりを通じて地域活動を活性化させる事業	39.6	45.0	④
石野	石野地区まちづくり計画策定支援事業	49.0	32.4	④
	災害時に備える防災意識向上事業	62.7	54.9	①
猿投	ふれあい豊かなまちづくり・猿投事業	60.2	54.1	①
	猿投山と籠川を生かしたまちづくり事業	55.1	50.0	①
猿投台	高齢者いきいき・サポート事業	46.5	42.1	④
	安心して暮らせる安全なまちづくり事業	40.4	44.7	④
	猿投台地域まちづくりビジョン・実施計画の策定	30.7	33.3	④

※認知度：問 18(1)「活動していることをどの程度知っているか」で、「知っている」もしくは「聞いたことがある」と答えた割合

※地域貢献：問 18(2)「活動が地域のためになっていると思うか」で「思う」もしくは「どちらかといえば思う」と答えた割合

※分類：P75 の散布図にて平均値で分割した 4 つの象限を意味する。

- ① 認知度：高い、地域貢献：高い、 ② 認知度：高い、地域貢献：低い、
 ③ 認知度：低い、地域貢献：高い、 ④ 認知度：低い、地域貢献：低い、

自治区	事業名	認知度	地域貢献	分類
保見	里山の保全活用促進と歴史紹介事業	29.3	35.9	④
	地域環境の向上とごみ出しマナー、ルール違反防止事業	56.5	57.6	①
	保見地域防災対策総合コーディネーター派遣事業	29.3	42.4	④
松平	病気を自ら予防し健康増進を図る事業	62.5	47.7	②
	通学路の安心安全の推進を図る事業	67.0	68.2	①
	河川・里山の維持・改善を図る事業	65.9	67.0	①
	地域生活交通の充実を図る事業	76.1	75.0	①
藤岡	ふじおか再発見事業	35.7	31.0	④
	健康づくり事業	52.4	48.8	②
	緑と人の集うまちづくり事業	67.9	59.5	①
	安全で快適な歩行空間づくり事業	44.0	47.6	④
藤岡南	ふじおか再発見事業	33.8	43.1	④
	健康づくり事業	33.8	49.2	④
	災害時の自助・共助力向上事業	47.7	60.0	③
	安全で快適な歩行空間づくり事業	44.6	66.2	③
小原	高齢者を地域で支える体制づくり	52.0	50.0	②
	コウゾ植栽による小原和紙ブランド化事業	50.0	54.0	③
	定住促進サポート事業	54.0	48.0	②
	ゴミの不法投棄防止事業	72.0	71.0	①
	耕作放棄地整備支援事業	56.0	63.0	①
	生活道路環境整備推進事業	59.0	72.0	①
	若者のUターン促進事業	65.0	60.0	①
足助	森と緑の里山づくり推進事業	62.1	50.5	②
	足助通信によるUターン促進事業	58.3	38.8	②
	空き家の提供支援による定住促進事業	68.0	43.7	②
下山	しもやま住んでみりん定住促進事業	36.1	28.9	④
	文化を守り語り継ぐ香恋の里づくり事業	40.2	30.9	④
旭	旭ぐらし体験事業	68.4	52.0	②
	旭木の駅プロジェクト推進事業	74.5	66.3	①
	旭地区Uターン者&親密別居者増加事業	57.1	45.9	②
	地域資源を活かした「花の里づくり事業」	51.0	49.0	②
	『まち自慢、旭の「あれこれ」ガイドブック』作成事業	48.0	50.0	④
	通行支障木の伐採支援事業	48.0	61.2	③
	あさひ高齢者見守り事業	54.1	61.2	①
稲武	名倉川景観整備事業	62.7	57.3	①
	花街道「いなぶ」プロジェクト	81.8	68.2	①
	棚田を活かしたまちづくり事業	72.7	55.5	①
	芸術を活かした地域おこし事業	55.5	43.6	②
	山里定住促進強化事業	61.8	51.8	②
	夏焼城ヶ山整備事業	71.8	58.2	①

※認知度：問 18(1)「活動していることをどの程度知っているか」で、「知っている」もしくは「聞いたことがある」と答えた割合

※地域貢献：問 18(2)「活動が地域のためになっていると思うか」で「思う」もしくは「どちらかといえば思う」と答えた割合

※分類：P75 の散布図にて平均値で分割した 4 つの象限を意味する。

- ① 認知度：高い、地域貢献：高い、 ② 認知度：高い、地域貢献：低い、
 ③ 認知度：低い、地域貢献：高い、 ④ 認知度：低い、地域貢献：低い、